

平成 26 年度東京都在宅療養推進区市町村支援事業

「在宅療養推進のための地域包括ケアにおける
医療・介護・予防の重層的連携の調査研究事業」

特定健診結果と医療費の突合分析報告書

平成 27 年 3 月

一般社団法人 多摩市医師会

目次

はじめに	3
背景・調査の目的.....	4
1. 対象データの基礎集計	7
(ア) 多摩市の人口分布と対象者の構成(平成 25 年度).....	7
(イ) 健診・医療費について	10
(1) 健診 受診状況(性年代別)	10
(2) レセプト件数 受診状況(性年代別).....	10
(3) 健診と医療費の突合状況.....	11
(4) 健診受診有無・レセプト有無の状況	12
(5) 対象者の年間医療費の分布	13
2. 性年齢別医療費の分析(平成 20 年度と平成 25 年度の比較)	14
(ア) 医療費全体像の把握 (1 人当たり医療費)	14
(イ) 医療費の疾病構成について.....	18
(ウ) かかりつけ医での診療状況の分析.....	21
(1) 健診受診の有無による医療費の推移	21
(2) かかりつけ医療機関での診療状況の調査	23
(3) 毎年の健診受診者と未受診者の入院者数の推移	24
3. 特定健診項目検査値の関連性分析	26
(ア) 平成 20 年度の検査値の推移と医療費との関連推移	28
(イ) 平成 20 年度と平成 25 年度の検査判定値の推移と医療費の推移	36
(ウ) 初めの 1 年の指導区分の変化が 5 年間の医療費に及ぼす効果の検討.....	42
(エ) 既往歴と服薬状況の推移	47
(オ) メタボリックシンドローム基準と医療費の推移.....	50
(カ) 保健指導レベルと医療費の推移	54
(キ) 喫煙の有無と医療費の推移.....	56
(参考) 未治療者(治療中断者)について	57
4. 医療圏の分析.....	58
(ア) 受診地域別医療費状況	58
(イ) 1 次医療圏完結率の分析	62

5. 考察	69
多摩市国民健康保険の現状と本事業について	71
6. 資料編	
(1) 分析結果補足（検定結果等）	72
各種検定の実施に当たり	72
(参考)1－1 平成 20 年度と平成 25 年度の医療費の差について	73
(参考)1－2 平成 20 年度と平成 25 年度の男女での医療費の差について	73
(参考)1－3 平成 20 年度と平成 25 年度の医療費の差について	74
(参考)1－4 年度と年齢階層別の有意差について	75
(参考)1－5 性年代別の有意差について	77
(参考)2－1 医療費の差について	79
(参考)3－1 各検査値の有意差検定について	81
(参考)3－2 各検査値の推移の検定	84
(2) 委員名簿・検討経過	88

はじめに

この度、前年度に引き続き、多摩市の協力を得て東京都在宅療養推進区市町村支援事業「在宅療養推進のための地域包括ケアにおける医療・介護・予防の重層的連携の調査研究事業」として、今回は「特定健診結果と医療費の突合分析」を実施いたしました。

平成 26 年度は事業分野を分けて進めており、本事業は特定健診結果分析部会を設置し検討を行ってきたものです。前年度実施した介護予防における疾病リスク調査分析等を踏まえつつ、多摩市国民健康保険事業保険者より、個人情報を除いた平成 20 年度及び平成 25 年度の医療費分析データの提供を受け、特定健診の検査項目と医療費との関係を定量的に測定する分析を行いました。

一方、東京都保健医療計画（平成 25 年 3 月改定）及び東京都南多摩保健医療圏地域保健医療推進プラン（平成 25 年 9 月策定）においては、在宅療養の推進をはじめ、介護予防、生活習慣病対策としての特定健診の受診率向上等を掲げております。医療提供者に対しては、本事業を通して市民の医療動向を知るデータとして、あるいは地域医療における現状を再認識するデータとなることを意図いたしました。

医師会では、もとより医療・介護の提供体制の整備における「かかりつけ医」機能の強化を推進しておりますが、各種健診や日常の健康管理を通してリスク回避にむけた患者への助言などが重要といえます。私どもは、誰もが限られた医療資源を効率的で質の高い医療サービスが提供できるよう、多摩市における地域包括的システムの構築に向けてさらなる努力を続けてまいりたいと考えております。

結びに、本事業にご協力いただきました関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月

多摩市医師会 会長 田村 豊

背景・調査の目的

【背景】

メタボリックシンドローム予備群・該当者を早期に把握し、生活習慣病のリスクがある人に対して、保健指導により疾病の発症予防を目指すため、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）に基づき、40歳から74歳までの人を対象とした特定健康診査・特定保健指導が平成20年度から医療保険者に義務づけられています。

この制度によって、加入者の健診結果に加えて、これまで対象者の状況として確認できなかった情報（服薬、喫煙、食生活、アルコールなど）がデータで毎年蓄積されるようになりました。

また、医療費や受診状況、服薬状況などを把握するデータとして診療報酬明細書（レセプト）があります。レセプトは毎月病院・診療所・調剤薬局ごとに、医科（入院・外来）、歯科、調剤ごとに作成され、審査支払機関に提出されます。審査支払機関は内容を審査した上で、全国の病院・診療所・調剤薬局などからの請求をまとめ、月に1度保険者に届けます。平成23年度からは保険者への電子請求が義務化されレセプトの記載内容はすべて電子化された状態で保険者へ届くようになっています。

これら特定健診データからわかるリスク状況と、レセプトからわかる実際の医療費と組み合わせることで、特定健診の検査項目と医療費との関係を定量的に測定することが可能になりました。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）とは、内臓に脂肪が蓄積した肥満（内臓脂肪型肥満）に、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか二つが重複した状態をいい、放置すると、糖尿病の発症や重症化を引き起こす可能性が高いとされています。また、糖尿病は、初期には自覚症状が乏しいですが、糖尿病になり血糖値が高い状態が持続すると、心筋梗塞や脳卒中のリスクが高まるほか、糖尿病腎症による透析、糖尿病網膜症による失明、血管障害、末梢神経障害・壊疽など深刻な合併症につながるおそれがあります。

そのため東京都保健医療計画（平成25年3月改定）では、糖尿病・メタボリックシンドロームの予防として以下の内容を取り組みのポイントとして記載されています。

- 糖尿病・メタボリックシンドロームを予防するための生活習慣に関する普及啓発
- 糖尿病腎症による新規透析導入率の減少
- 糖尿病網膜症による失明発症率の減少
- 特定健康診査実施率・特定保健指導実施率の向上

また、急速な少子高齢社会の進展や疾病構造の変化の下、限られた医療資源の中で、効率的で質の高い医療サービスを提供するためには、病院と診療所の連携をはじめとする地域の医療連携体制の構築が不可欠であり、住民と第一線で接するかかりつけ医師の役割がますます重要となっていると記載されています。

本分析ではこれらのメタボリックシンドロームの対策を中心として、健診データと医療費の経年変化データを組み合わせることで医療費に影響を及ぼしている項目を調査します。

【調査の目的】

今回の分析に当たり、以下の3つを目的とする。

- ・ 基本的な指標である1人当たり医療費を厚生労働省発表の資料（平成23年度（直近公表分））との比較を行い、多摩市における医療費水準を明らかにする。
- ・ 特定健診の検査結果と医療費を突合した分析を行うことで健診のリスク状況と医療費との関連性を明らかにする。
- ・ 受診者の住所・医療機関所在地の情報をもとに診療情報を活用した分析を行い医療提供体制の現状を明らかにする。

○分析の対象となる対象者

多摩市国民健康保険加入者のうち特定健診の対象となる40歳以上の加入者とします。

○分析対象となるデータ

- ・ 健診結果（平成20年度から平成25年度）
- ・ レセプト（平成20年度、平成25年度）

本年度は上記どちらかが存在する方のデータのみ提供のため、健診・レセプトともデータが存在しない方は分析対象外となっています。

○分析にて使用する主な項目

■個人属性情報

- ・ 個住所地コード（多摩市内の居住地区ごとのコード）
- ・ 性別
- ・ 年齢階層5歳刻み（年度末年齢）
- ・ 整理番号（個人特定コード）

■医療費

- ・ 診療区分（入院・外来・歯科・調剤）
- ・ 医療費（10割）
- ・ 診療年月
- ・ 受診医療機関

■健診

- ・受診日
- ・身体計測(身長、体重、BMI、腹囲(内臓脂肪面積))
- ・理学的検査(身体診察)
- ・血圧測定
- ・血液化学検査(中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール)
- ・肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))
- ・血糖検査(空腹時血糖又は HbA1c 検査)、尿検査(尿糖、尿蛋白)
- ・メタボリックシンドローム判定
- ・保健指導レベル

■問診

既往歴

喫煙歴

○分析対象者の主要な切り口

性・年代別(5歳刻み)

多摩市内設定の個住所地コード(医療提供体制分析のみ)

○集計の主な計算方法

加入者1人当たり医療費 = 医療費総額/対象者数

受診者1人当たり医療費 = 医療費総額/受診あり対象者数

医療費については以下の計算式で計算を行っています。

年間医療費 (円) = 個人別の年間医療費の平均値(円)

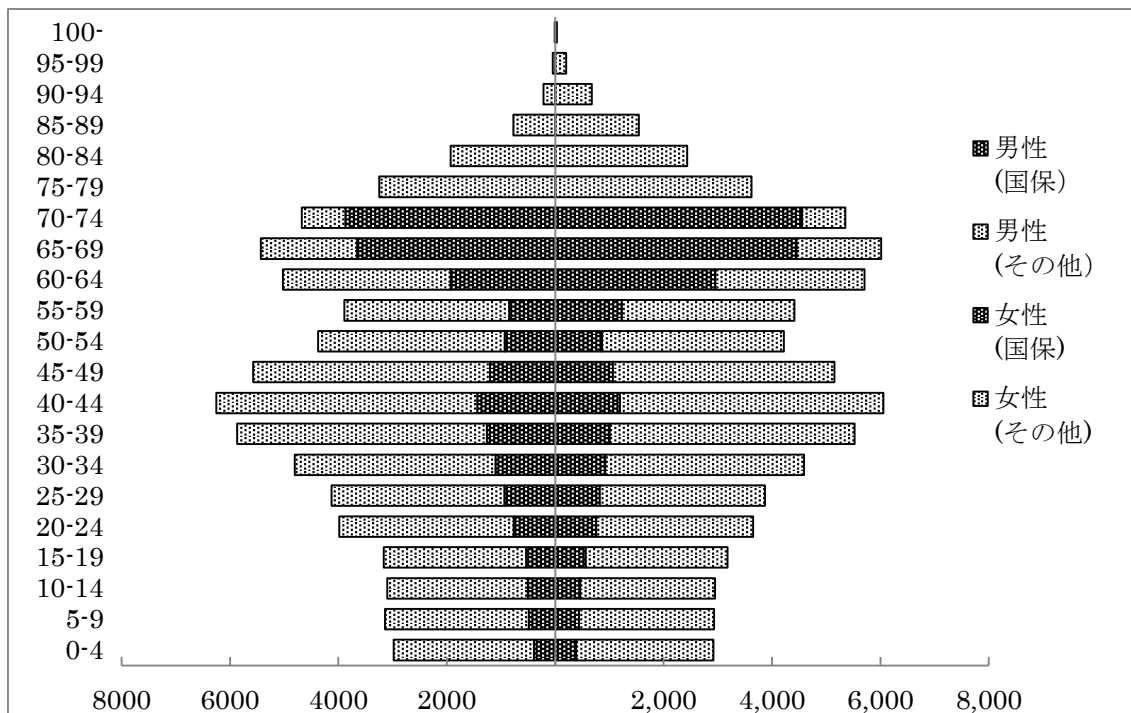
年間医療費の差 (円) = 平成25年度の医療費-平成20年度の医療費

医療費の変化率 (%) = (平成25年度の医療費-平成20年度の医療費) /
平成20年度の医療費

1. 対象データの基礎集計

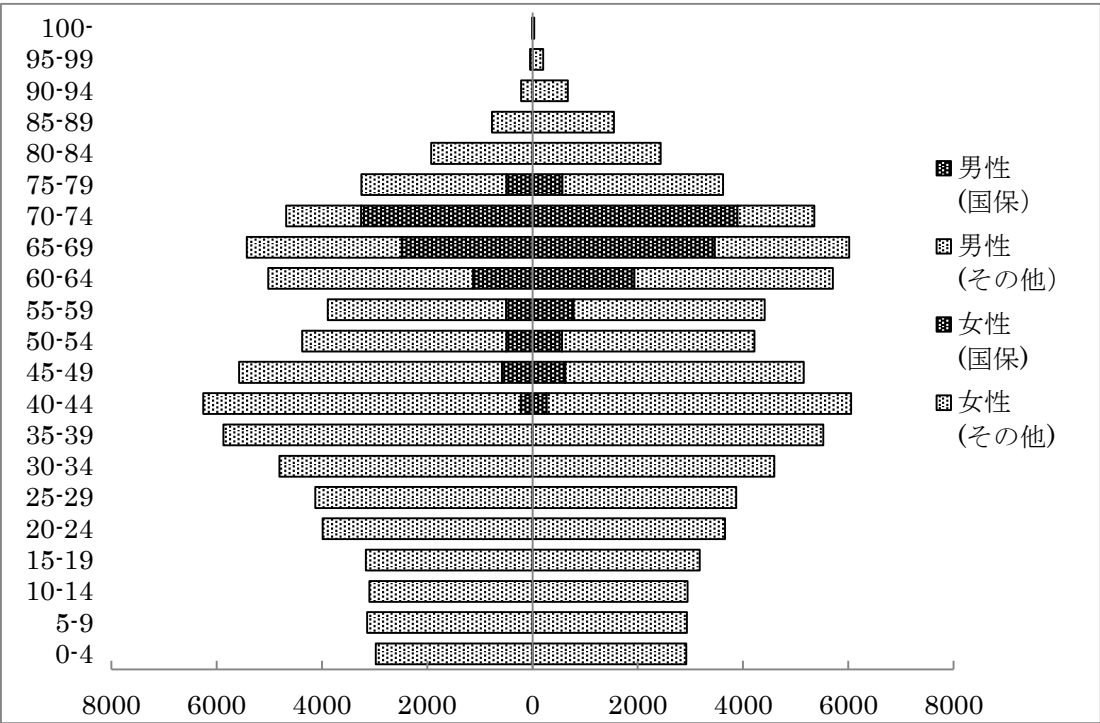
(ア) 多摩市の人口分布と対象者の構成(平成 25 年度)

平成 25 年度末での多摩市内の人口のうち、国民健康保険（以下：国保）加入者は以下のような構成となっています。



	合計	人数				構成比			
		男性 (国保)	男性 (その他)	女性 (国保)	女性 (その他)	男性 (国保)	男性 (その他)	女性 (国保)	女性 (その他)
0-4	5,898	394	2,584	385	2,535	2.0%	4.9%	1.8%	4.8%
5-9	6,071	486	2,652	440	2,493	2.4%	5.0%	2.0%	4.7%
10-14	6,045	505	2,592	462	2,486	2.5%	4.9%	2.1%	4.7%
15-19	6,342	537	2,626	562	2,617	2.7%	5.0%	2.6%	4.9%
20-24	7,638	764	3,220	758	2,896	3.8%	6.1%	3.5%	5.4%
25-29	7,995	935	3,190	825	3,045	4.7%	6.1%	3.8%	5.7%
30-34	9,399	1,101	3,706	926	3,666	5.5%	7.0%	4.3%	6.9%
35-39	11,388	1,264	4,603	1,006	4,515	6.4%	8.7%	4.6%	8.5%
40-44	12,306	1,439	4,813	1,194	4,860	7.2%	9.1%	5.5%	9.1%
45-49	10,723	1,205	4,368	1,063	4,087	6.1%	8.3%	4.9%	7.7%
50-54	8,591	931	3,441	865	3,354	4.7%	6.5%	4.0%	6.3%
55-59	8,300	850	3,037	1,229	3,184	4.3%	5.8%	5.7%	6.0%
60-64	10,727	1,927	3,094	2,952	2,754	9.7%	5.9%	13.6%	5.2%
65-69	11,442	3,652	1,777	4,457	1,556	18.4%	3.4%	20.6%	2.9%
70-74	10,030	3,874	802	4,553	801	19.5%	1.5%	21.0%	1.5%
75-79	6,868	0	3,248	0	3,620	0.0%	6.2%	0.0%	6.8%
80-84	4,362	0	1,926	0	2,436	0.0%	3.7%	0.0%	4.6%
85-89	2,315	0	770	0	1,545	0.0%	1.5%	0.0%	2.9%
90-94	892	0	218	0	674	0.0%	0.4%	0.0%	1.3%
95-99	251	0	47	0	204	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%
100-	44	0	11	0	33	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	147,627	19,864	52,725	21,677	53,361	100%	100%	100%	100%

その中でも今回分析対象者の性年代別分布は以下のようになっています。
対象の中でも 60 歳から 74 歳が圧倒的に多くなっています。



	合計	人数				構成比			
		男性 (対象)	男性 (その他)	女性 (対象)	女性 (その他)	男性 (対象)	男性 (その他)	女性 (対象)	女性 (その他)
0-4	5,898	0	2,978	0	2,920	0.0%	4.7%	0.0%	4.6%
5-9	6,071	0	3,138	0	2,933	0.0%	4.9%	0.0%	4.7%
10-14	6,045	0	3,097	0	2,948	0.0%	4.9%	0.0%	4.7%
15-19	6,342	0	3,163	0	3,179	0.0%	5.0%	0.0%	5.1%
20-24	7,638	0	3,984	0	3,654	0.0%	6.3%	0.0%	5.8%
25-29	7,995	0	4,125	0	3,870	0.0%	6.5%	0.0%	6.1%
30-34	9,399	0	4,807	0	4,592	0.0%	7.6%	0.0%	7.3%
35-39	11,388	0	5,867	0	5,521	0.0%	9.2%	0.0%	8.8%
40-44	12,306	224	6,028	273	5,781	2.4%	9.5%	2.3%	9.2%
45-49	10,723	580	4,993	622	4,528	6.3%	7.9%	5.1%	7.2%
50-54	8,591	493	3,879	565	3,654	5.4%	6.1%	4.7%	5.8%
55-59	8,300	502	3,385	779	3,634	5.5%	5.3%	6.4%	5.8%
60-64	10,727	1,127	3,894	1,938	3,768	12.3%	6.1%	16.0%	6.0%
65-69	11,442	2,486	2,943	3,461	2,552	27.1%	4.6%	28.6%	4.1%
70-74	10,030	3,256	1,420	3,895	1,459	35.5%	2.2%	32.2%	2.3%
75-79	6,868	493	2,755	568	3,052	5.4%	4.3%	4.7%	4.8%
80-84	4,362	0	1,926	0	2,436	0.0%	3.0%	0.0%	3.9%
85-89	2,315	0	770	0	1,545	0.0%	1.2%	0.0%	2.5%
90-94	892	0	218	0	674	0.0%	0.3%	0.0%	1.1%
95-99	251	0	47	0	204	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%
100-	44	0	11	0	33	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	147,627	9,161	63,428	12,101	62,937	100%	100%	100%	100%

また、平成 22 年度国勢調査によると世帯のうちの平均親族人員は 2.3 人で、特に 65 歳以上の世帯員がいる世帯のうち、単独世帯(高齢単身世帯)の割合が 50%、夫婦のみを加えると 62%となっています。

総 括 表					(単位:世帯、人)							
地 域	一般世帯数	一般世帯人員	親族人員	1世帯当たり親族人員	(再掲)65歳以上世帯員がいる一般世帯の家族類型							
					世帯数	うち夫婦のみ	うち夫婦と子供	うち夫婦と子供と両親	うち夫婦と子供とひとり親	うち単身世帯(高齢単身世帯)	単身世帯の割合	夫婦のみまたは単身世帯の割合
東京都	6,382,049	12,978,624	12,727,881	2.0	1,837,074	516,475	269,823	16,635	69,027	622,326	55%	62%
区 部	4,531,864	8,852,324	8,645,296	1.9	1,261,281	331,046	176,271	9,150	43,867	459,968	59%	63%
市 部	1,815,637	4,044,063	4,001,176	2.2	561,095	180,880	91,558	7,102	24,364	158,360	47%	60%
多摩市	64,030	145,216	144,204	2.3	20,421	7,379	3,611	130	634	5,352	50%	62%
島 部	13,639	26,620	26,302	1.9	5,715	1,853	417	29	109	2,261	56%	72%

(イ) 健診・医療費について

分析対象となる健診・レセプトについての平成 20 年度、平成 25 年度の年齢階層別の件数並びに健診レセプトの突合状況については以下のようになっています。

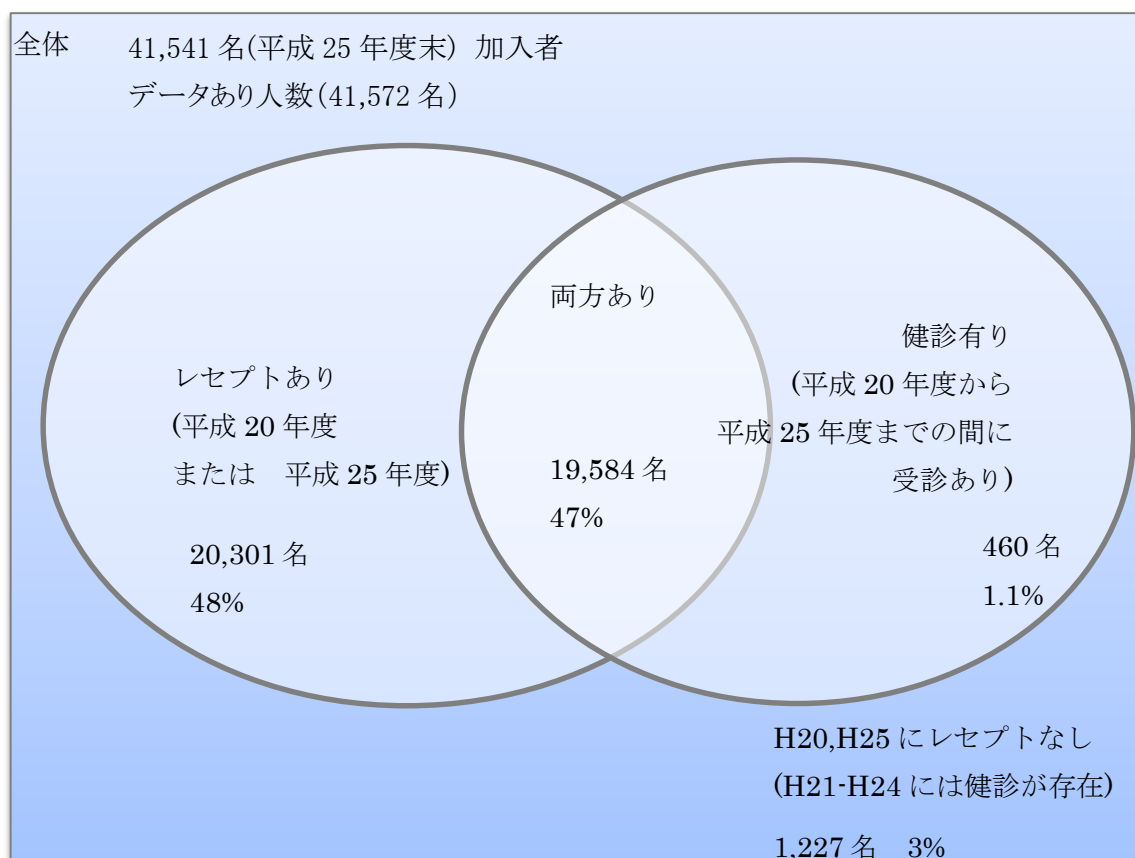
(1) 健診 受診状況(性年代別)

年度末年齢 (5歳刻み)	H20			H25		
	1:男性	2:女性	合計	1:男性	2:女性	合計
40-44	173	195	368	224	273	497
45-49	173	190	363	237	262	499
50-54	167	272	439	225	281	506
55-59	305	623	928	242	441	683
60-64	745	1,492	2,237	740	1,294	2,034
65-69	1,653	2,217	3,870	1,755	2,413	4,168
70-74	1,661	1,927	3,588	2,170	2,747	4,917
75-	173	171	344	215	237	452
合計	5,050	7,087	12,137	5,808	7,948	13,756

(2) レセプト件数 受診状況(性年代別)

年度末年齢 (5歳刻み)	H20			H25		
	男	女	合計	男	女	合計
40-44	1,027	1,015	2,042	1,250	1,313	2,563
45-49	679	756	1,435	853	935	1,788
50-54	684	935	1,619	752	859	1,611
55-59	1,186	1,986	3,172	768	1,235	2,003
60-64	2,221	3,255	5,476	2,121	3,264	5,385
65-69	3,287	3,660	6,947	3,482	4,375	7,857
70-74	2,633	3,036	5,669	3,665	4,147	7,812
75-79	12	19	31	63	93	156
合計	11,729	14,662	26,391	12,954	16,221	29,175

(3) 健診と医療費の突合状況



人数	レセプト		
健診	あり	なし	合計
あり	19,584	460	20,044
なし	20,301	1,227	21,528
合計	39,885	1,687	41,572
割合	レセプト		
健診	あり	なし	合計
あり	47.1%	1.1%	48.2%
なし	48.8%	3.0%	51.8%
合計	95.9%	4.1%	100.0%

(4) 健診受診有無・レセプト有無の状況

		H20レセプト有無	あり		なし		合計
H20年受診	H25受診	H25レセプト有無	あり	なし	あり	なし	
あり	あり		5,598	71	158	22	5,849
	なし		1,758	4,293	82	155	6,288
なし	あり		2,577	65	4,982	283	7,907
	なし		5,748	6,281	8,272	1,227	21,528
合計			15,681	10,710	13,494	1,687	41,572

参考) 平成 25 年のデータなしとなる理由について

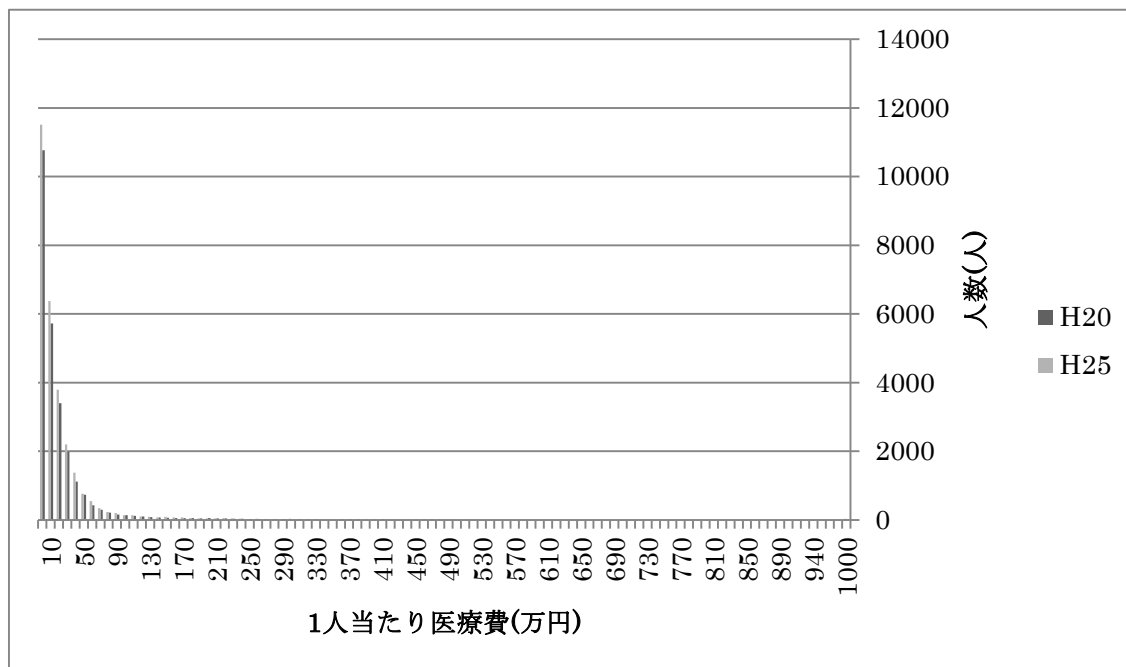
平成 20 年度にデータあり、平成 25 年度にデータなしとなる方の平成 20 年度の 5 歳ごとの年齢階層別にみると以下になります。70 歳以上についての数値が大きいことは 75 歳加入時に強制的に後期高齢者医療制度に移行するため、資格喪失してしまうためです。

年齢階層	人数	割合
40-44	234	3.7%
45-49	174	2.8%
50-54	227	3.6%
55-59	356	5.7%
60-64	658	10.5%
65-69	1,003	16.0%
70-74	3,292	52.4%
75-79	344	5.5%
合計	6,288	100%

（５）対象者の年間医療費の分布

加入者の１年間の医療費の分布は以下の通り。大半は１０万円以下となりますが、１,０００万を超える方は４５名（平成２０年度１３名、平成２５年度で３２名）存在しています。

○対象者の年間医療費の分布



○対象者の分析

レセプト年度 1人当たり 年間医療費	H20		H25	
	人数	割合	人数	割合
合計	26391	63.48%	29175	70.18%
10000000-	13	0.03%	32	0.08%
1000000-	1594	3.83%	1822	4.38%
100000-	14022	33.73%	15811	38.03%
10000-	9452	22.74%	10061	24.20%
1000-	1297	3.12%	1445	3.48%
100-	13	0.03%	4	0.01%

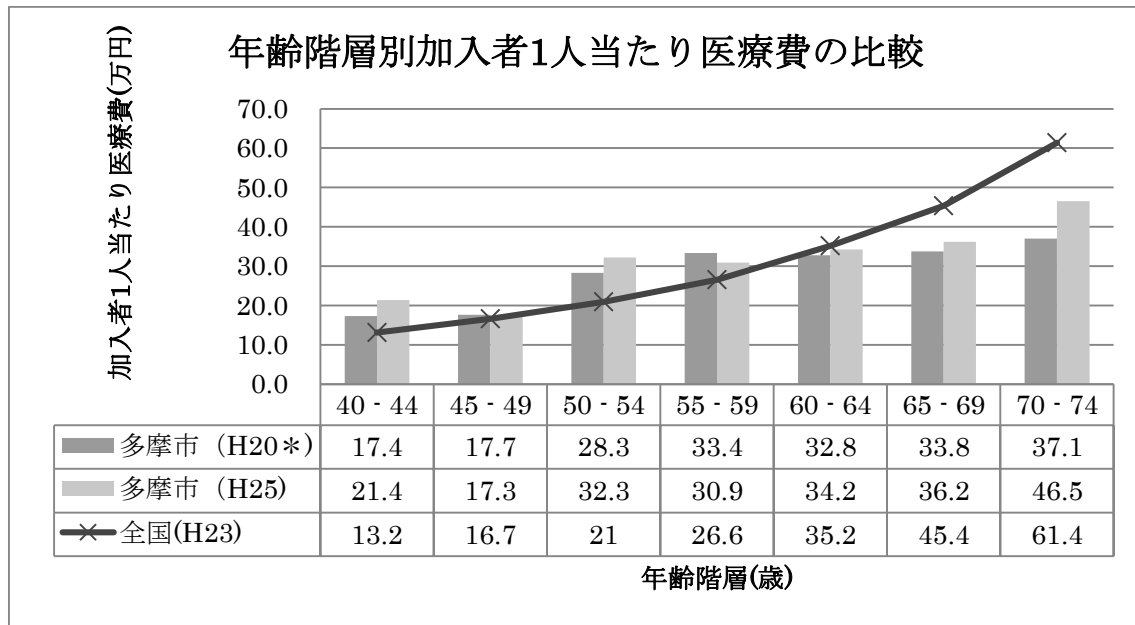
○年間医療費の基礎統計数値

1人当たり年間医療費	
平均値	354,215
標準偏差	869,484
最小値	400
最大値	27,885,590
25%値	53,460
中央値	139,285
75%(上位25%)値	301,865

2. 性年齢別医療費の分析(平成 20 年度と平成 25 年度の比較)

(ア) 医療費全体像の把握 (1 人当たり医療費)

性年齢別医療費を厚生労働省の資料と比較します。50 歳から 59 歳は全国平均を上回っていますが、65 歳以上は全国平均よりも下回っています。



(出典： 厚生労働省作成資料医療保険に関する基礎資料～平成 23 年度の医療費等の状況～)

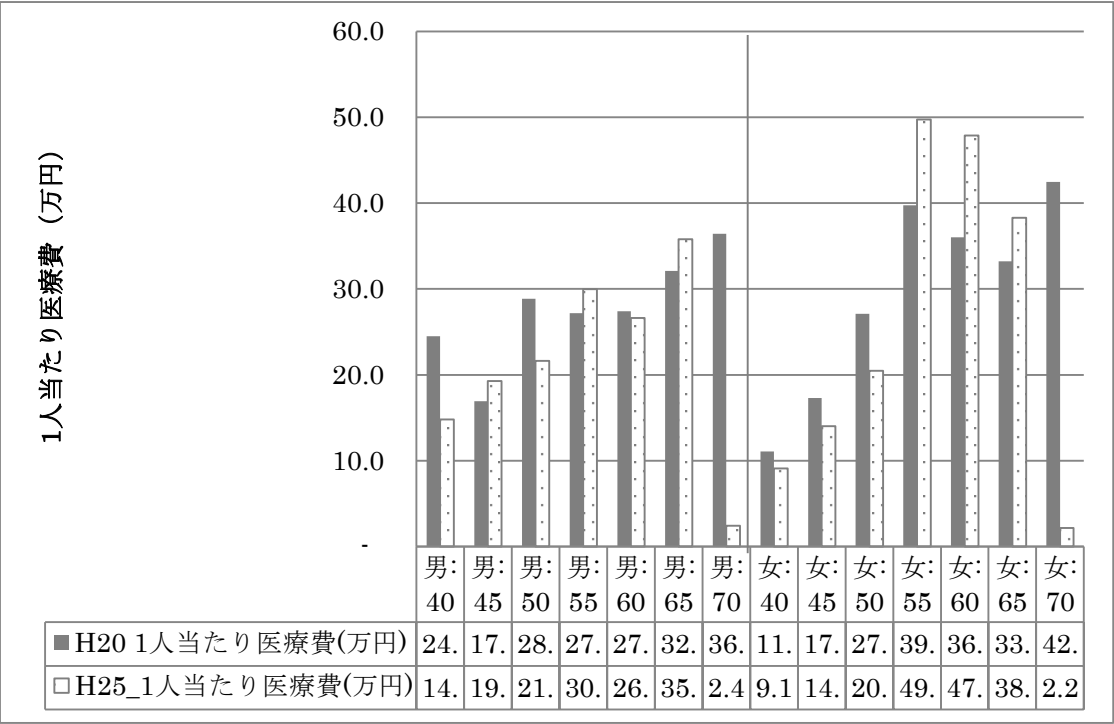
○年代ごとの医療費の変化

性別・年齢階層ごとの1人当たり医療費について平成20年度受診者の1人当たり医療費の変化を比較し、さらに診療区分別として医科（入院・外来）・歯科・調剤で全国資料(国保平均)と把握を行いました。

男女とも年齢とともに医療費が上昇していますが、特に女性の場合は55歳以上で急激に上昇しています。

70歳の医療費が平成25年度に減少しているのは後期高齢者制度加入による資格喪失が影響していることが影響しています。

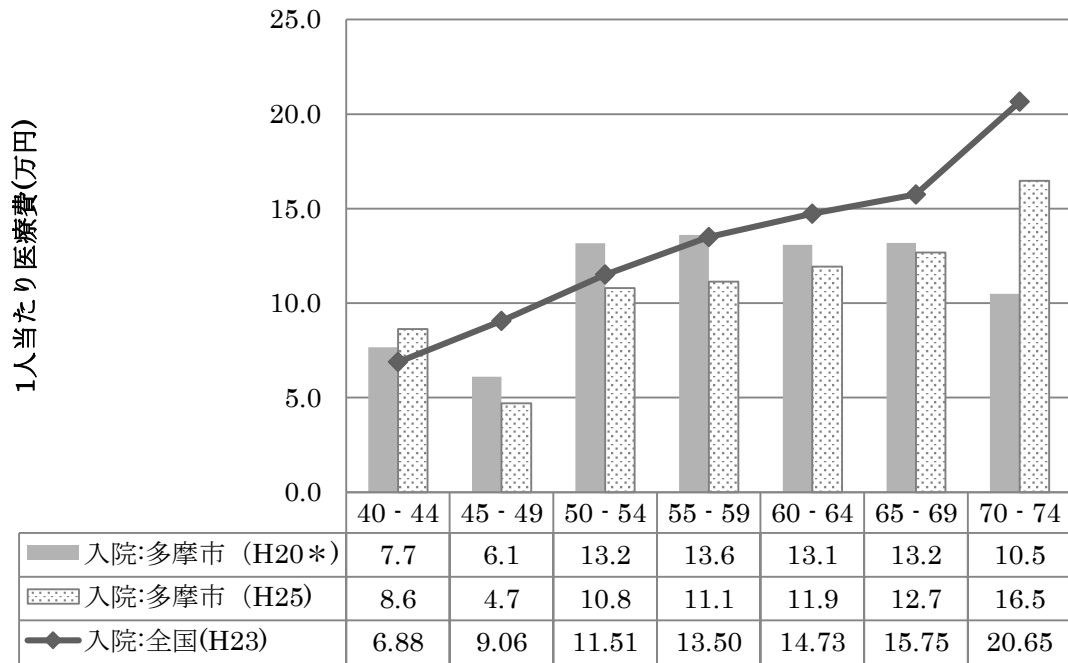
また、診療区分別で見ると60歳以上の入院・入院外医療費が全国平均より低くなっています。



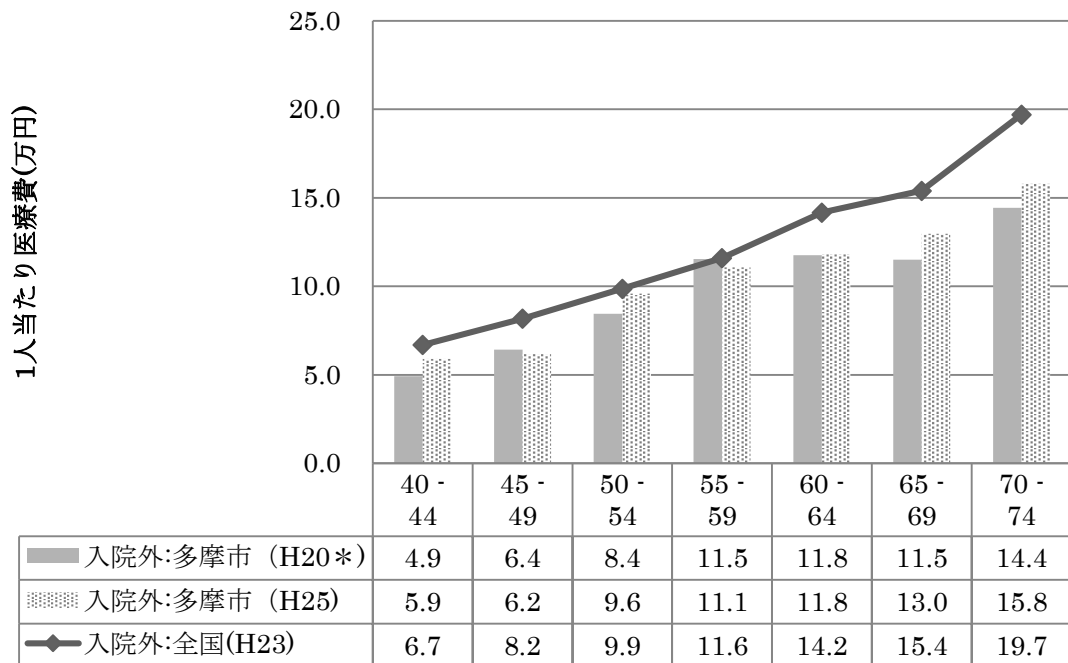
平成20年度と平成25年度の医療費の差については同次性別年齢階層でも有意差があり医療費の構成に関しては54歳以下と55歳以降で医療費の傾向が異なっていることがわかります。また性年代別では60歳から64歳で医療費の変化に有意差があることがわかります。

((参考) 1－1 ～(参考) 1－5)

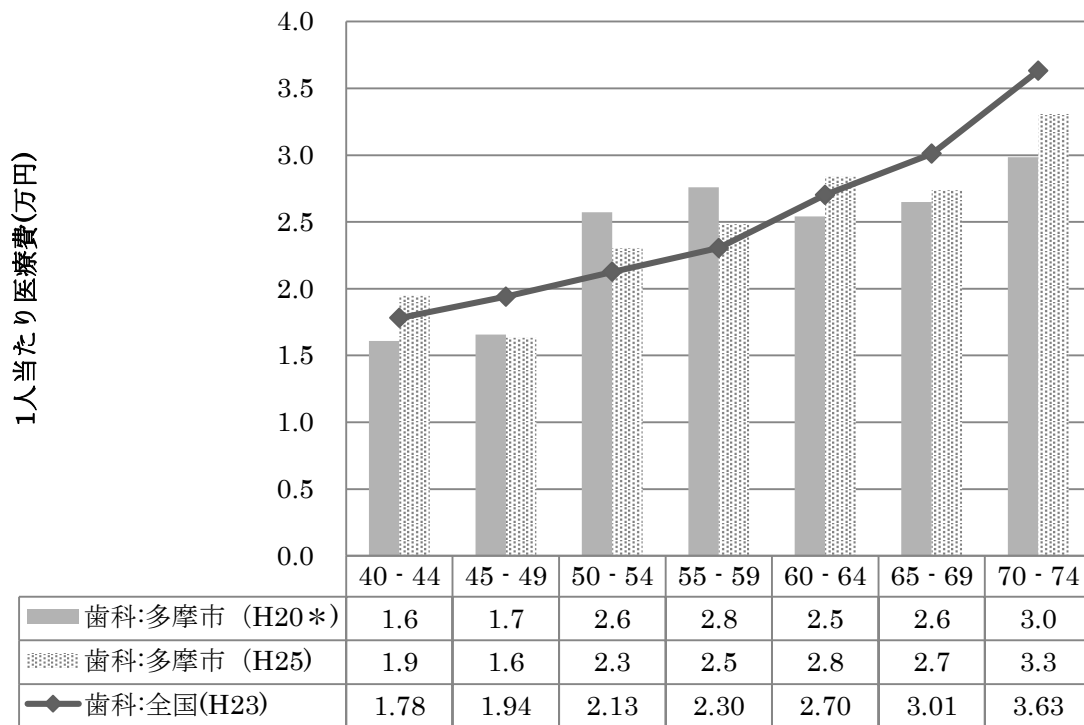
1人当たり医療費の比較(入院)



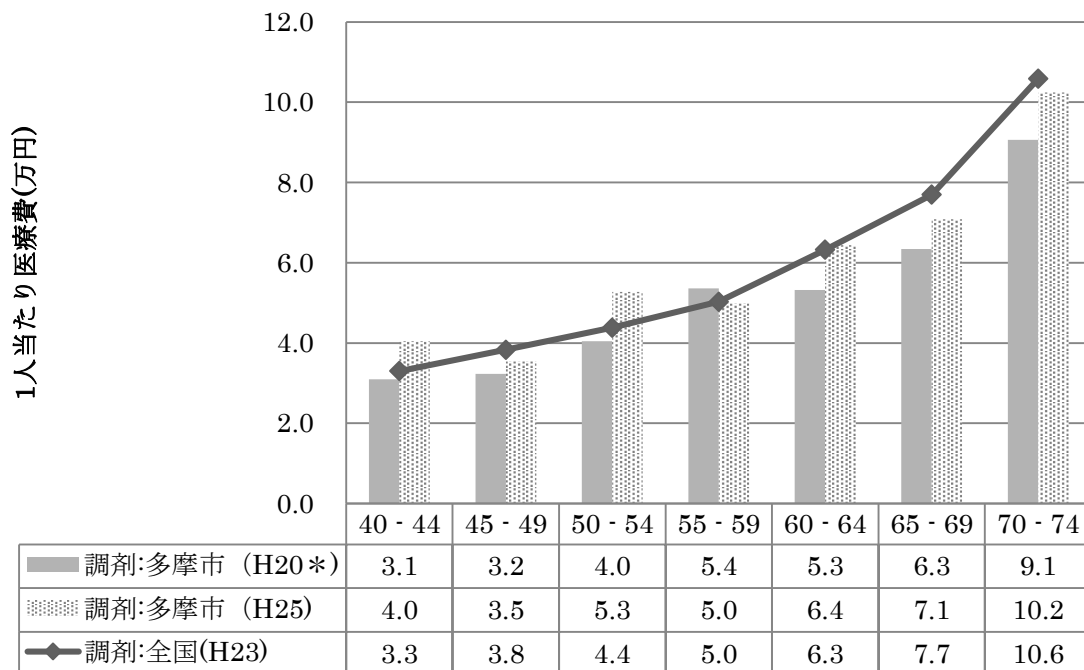
1人当たり医療費の比較(入院外)



1人当たり医療費の比較(歯科)



1人当たり医療費の比較(調剤)

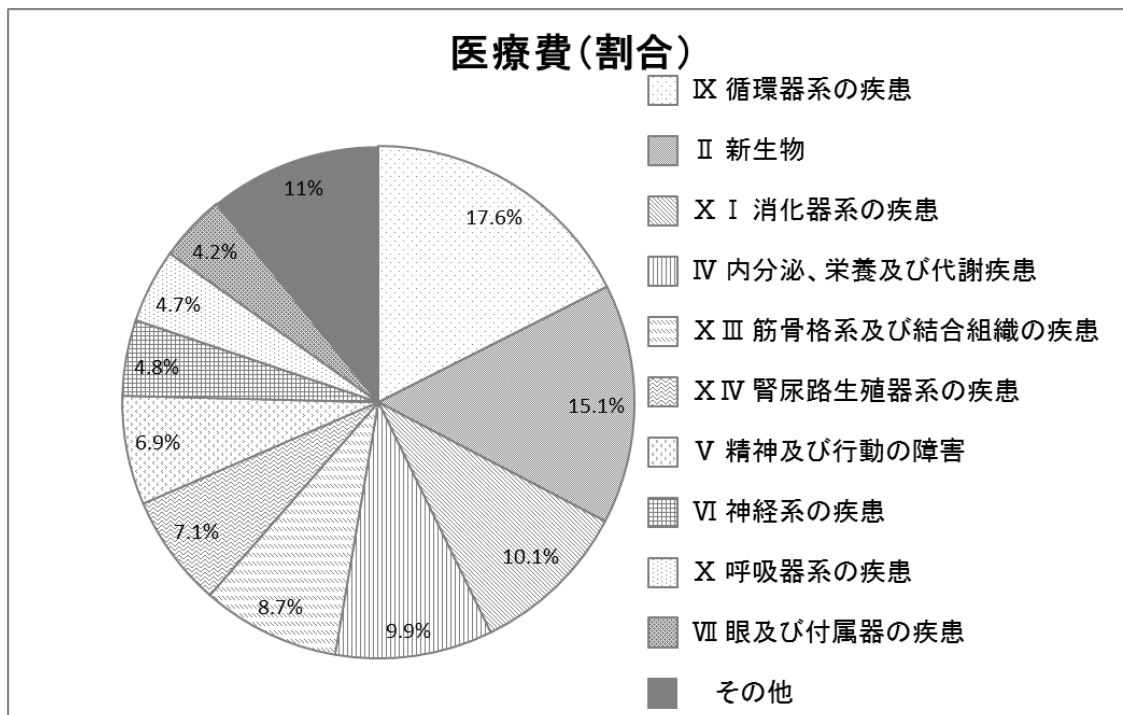


(イ) 医療費の疾病構成について

診療年月平成 25 年 6 月～9 月診療分（4 か月分）の大分類別医療費は以下になります。

全体ではⅨ 循環器系の疾患、Ⅱ 新生物、ⅩⅠ 消化器系の疾患の順番となっています。

また、中分類では 901 高血圧性疾患、210 その他の悪性新生物、403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患の順で高くなっています。また、1402 腎不全は患者が 327 名しかいませんが医療費では 4 位となっており、1 人当たりでも月平均 47.2 万円、年間にすると 567 万円の医療費となっています。



中分類による疾病別医療費上位10疾病					
順位	中分類疾病項目	(参考 大分類)	医療費(円)	患者数(人)	1人当たり医療費(円)
1	901 高血圧性疾患	循環器系の疾患	187,944,054	8,763	21,447
2	210 その他の悪性新生物	新生物	180,107,756	2,468	72,977
3	403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌、栄養及び代謝疾患	164,220,826	9,009	18,229
4	1402 腎不全	腎尿路生殖器系の疾患	154,594,287	327	472,765
5	1112 その他の消化器系の疾患	消化器系の疾患	147,642,624	5,587	26,426
6	402 糖尿病	内分泌、栄養及び代謝疾患	134,335,098	5,672	23,684
7	903 その他の心疾患	循環器系の疾患	118,996,802	3,264	36,457
8	503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	精神及び行動の障害	106,384,872	757	140,535
9	606 その他の神経系の疾患	神経系の疾患	94,707,340	4,929	19,214
10	902 虚血性心疾患	循環器系の疾患	78,386,417	2,219	35,325

大分類による疾病別医療費(上位10疾病は主な中分類)							
順位		大分類	中分類	医療費(円)	患者数(人)	医療費(割合)	患者数(割合)
1	IX	循環器系の疾患		560,929,443	11,379	17.6%	12.5%
			高血圧性疾患	(187,944,054)	(8,763)	5.9%	9.6%
			虚血性心疾患	(78,386,417)	(2,219)	2.5%	2.4%
			脳梗塞	(60,140,964)	(1,598)	1.9%	1.8%
2	II	新生物		483,500,493	5,056	15.1%	5.6%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物	(57,774,174)	(414)	1.8%	0.5%
			胃の悪性新生物	(41,269,231)	(763)	1.3%	0.8%
			結腸の悪性新生物	(40,166,953)	(974)	1.3%	1.1%
3	X I	消化器系の疾患		322,206,827	11,494	10.1%	12.6%
			胃炎及び十二指腸炎	(55,737,765)	(5,515)	1.7%	6.1%
			胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	(44,617,595)	(3,452)	1.4%	3.8%
			胆石症及び胆のう炎	(23,493,760)	(586)	0.7%	0.6%
4	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患		317,620,373	10,770	9.9%	11.8%
			糖尿病	(134,335,098)	(5,672)	4.2%	6.2%
			甲状腺障害	(19,064,449)	(1,562)	0.6%	1.7%
			その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	(164,220,826)	(9,009)	5.1%	9.9%
5	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患		278,754,266	8,403	8.7%	9.2%
			関節症	(58,944,806)	(2,209)	1.8%	2.4%
			脊椎障害(脊椎症を含む)	(52,491,026)	(2,739)	1.6%	3.0%
			骨の密度及び構造の障害	(44,582,224)	(2,194)	1.4%	2.4%
6	X IV	腎尿路生殖器系の疾患		226,639,248	3,607	7.1%	4.0%
			腎不全	(154,594,287)	(327)	4.8%	0.4%
			前立腺肥大	(21,554,956)	(883)	0.7%	1.0%
			糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	(8,752,708)	(387)	0.3%	0.4%
7	V	精神及び行動の障害		219,649,053	2,756	6.9%	3.0%
			統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	(106,384,872)	(757)	3.3%	0.8%
			気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	(52,893,470)	(1,169)	1.7%	1.3%
			神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	(20,095,308)	(1,486)	0.6%	1.6%
8	VI	神経系の疾患		153,013,169	5,451	4.8%	6.0%
			てんかん	(21,476,624)	(510)	0.7%	0.6%
			パーキンソン病	(16,182,225)	(289)	0.5%	0.3%
			アルツハイマー病	(10,377,347)	(118)	0.3%	0.1%
9	X	呼吸器系の疾患		149,394,821	6,841	4.7%	7.5%
			喘息	(34,756,369)	(1,840)	1.1%	2.0%
			アレルギー性鼻炎	(21,366,754)	(2,519)	0.7%	2.8%
			肺炎	(16,189,342)	(486)	0.5%	0.5%
10	VII	眼及び付属器の疾患		135,726,997	5,500	4.2%	6.0%
			白内障	(40,935,015)	(2,457)	1.3%	2.7%
			屈折及び調節の障害	(15,844,339)	(4,371)	0.5%	4.8%
			結膜炎	(9,038,483)	(2,085)	0.3%	2.3%
11	I	感染症及び寄生虫症		83,344,029	3,999	2.6%	4.4%
12	X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響		73,927,168	2,281	2.3%	2.5%
13	X II	皮膚及び皮下組織の疾患		65,884,025	4,939	2.1%	5.4%
14	X VIII	病状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		59,572,346	3,854	1.9%	4.2%
15	III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		28,969,967	1,897	0.9%	2.1%
16	VIII	耳及び乳様突起の疾患		19,544,622	1,395	0.6%	1.5%
17	X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		11,782,731	1,020	0.4%	1.1%
18		分類外		2,560,439	89	0.1%	0.1%
19	X VII	先天奇形、変形及び染色体異常		1,575,527	295	0.0%	0.3%
20	X V	妊娠、分娩及び産じょく		649,316	13	0.0%	0.0%
21	X VI	周産期に発生した病態		4,330	1	0.0%	0.0%
	X X II	特殊目的用コード		0	0	0.0%	0.0%
		合計		3,195,249,190	91,040		
		※対象診療年月は、平成25年6月～9月診療分(4か月分)					
		※対象年齢は40歳以上					
		※患者数は延べ人数					

○年齢階層分析について

40 歳～49 歳は精神及び行動の障害が上位となり国保特有の状況となっています、
55 歳以上で循環器系の疾患が増加し、60 歳以上では循環器系の疾患・新生物が 1， 2 位を占めている状態となっています。

年齢階層別医療費 大分類上位10疾病												
年齢階層	1		2		3		4		5			
40歳～44歳	V	精神及び行動の障害	VI	神経系の疾患	X I	消化器系の疾患	X	呼吸器系の疾患	II	新生物		
		26,400,903円 322人		14,369,386円 317人		13,587,150円 465人		12,374,748円 435人		11,678,228円 193人		
45歳～49歳	V	精神及び行動の障害	X I	消化器系の疾患	II	新生物	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	X	呼吸器系の疾患		
		24,436,255円 224人		13,195,630円 456人		11,784,489円 177人		8,587,127円 311人		8,124,190円 356人		
50歳～54歳	II	新生物	V	精神及び行動の障害	IX	循環器系の疾患	X I	消化器系の疾患	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患		
		19,620,427円 177人		16,487,335円 188人		15,044,161円 318人		14,226,348円 468人		13,268,730円 340人		
55歳～59歳	IX	循環器系の疾患	X IV	腎尿路生殖器系の疾患	V	精神及び行動の障害	X I	消化器系の疾患	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患		
		27,915,586円 561人		23,541,599円 218人		22,811,553円 200人		18,880,958円 635人		18,095,104円 555人		
60歳～64歳	IX	循環器系の疾患	II	新生物	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	X I	消化器系の疾患	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患		
		90,214,260円 1,843人		78,353,918円 791人		52,043,218円 1,811人		49,144,793円 1,877人		42,874,590円 1,326人		
65歳～69歳	II	新生物	IX	循環器系の疾患	X I	消化器系の疾患	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患		
		179,530,641円 1,529人		173,006,483円 3,659人		100,014,786円 3,381人		99,014,541円 3,385人		75,103,116円 2,410人		
70歳～	IX	循環器系の疾患	II	新生物	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	X I	消化器系の疾患		
		240,855,605円 4,567人		167,200,266円 1,918人		124,388,631円 3,293人		120,406,192円 4,088人		113,157,163円 4,212人		
合計	IX	循環器系の疾患	II	新生物	X III	消化器系の疾患	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患		
		560,929,443円 11,379人		483,500,493円 5,056人		322,206,827円 11,494人		317,620,373円 10,770人		278,754,266円 8,403人		

年齢階層	6		7		8		9		10	
40歳～44歳	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患 8,086,870円 278人	IX	循環器系の疾患 7,310,119円 192人	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患 6,435,406円 279人	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 6,303,741円 185人	X II	皮膚及び皮下組織の疾患 5,296,970円 352人
45歳～49歳	VI	神経系の疾患 7,543,159円 283人	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 7,476,293円 189人	IX	循環器系の疾患 6,583,229円 239人	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患 6,514,446円 299人	I	感染症及び寄生虫症 4,635,352円 195人
50歳～54歳	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 12,151,233円 181人	IV	内分泌、栄養及び代謝疾患 11,387,322円 342人	VI	神経系の疾患 9,370,410円 258人	X	呼吸器系の疾患 6,357,044円 350人	I	感染症及び寄生虫症 5,197,862円 178人
55歳～59歳	II	新生物 15,332,526円 271人	VI	神経系の疾患 10,486,999円 302人	X III	筋骨格系及び結合組織の疾患 10,169,346円 456人	X	呼吸器系の疾患 6,994,422円 417人	X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響 6,933,000円 143人
60歳～64歳	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 41,221,825円 550人	V	精神及び行動の障害 31,979,350円 413人	VI	神経系の疾患 23,878,585円 777人	X	呼吸器系の疾患 20,410,961円 1,107人	I	感染症及び寄生虫症 20,261,295円 644人
65歳～69歳	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 59,709,384円 961人	V	精神及び行動の障害 44,299,155円 648人	VII	眼及び付属器の疾患 38,394,213円 1,641人	X	呼吸器系の疾患 38,265,441円 1,860人	VI	神経系の疾患 33,004,809円 1,512人
70歳～	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 76,235,173円 1,323人	VII	眼及び付属器の疾患 64,732,295円 2,194人	X	呼吸器系の疾患 56,868,015円 2,316人	VI	神経系の疾患 54,359,820円 2,002人	V	精神及び行動の障害 53,234,501円 761人
合計	X IV	腎尿路生殖器系の疾患 226,639,248円 3,607人	V	精神及び行動の障害 219,649,053円 2,756人	VI	神経系の疾患 153,013,169円 5,451人	X	呼吸器系の疾患 149,394,821円 6,841人	VII	眼及び付属器の疾患 135,726,997円 5,500人

(ウ) かかりつけ医での診療状況の分析

(1) 健診受診の有無による医療費の推移

平成 20 年度から平成 25 年度の間健診受診状況によって以下の群に分類しました。

- 1：未受診：健診を 1 回も受けていない群
- 2：隔年以下：健診を 3 回未満受けている方
- 3：3 回以上：健診を 3 回以上受けている方
- 4：毎回受診：毎年同じ健診を受けている方

それぞれの区分ごとの医療費は以下になります。

	医療費単位:万円						
かかりつけ医有無	全体						
	人数	年間平均医療費		入院医療機関数		入院医療費	
	H20	H20	H25	H20	H25	H20	H25
1:未受診	15,915	37.6	33.9	1.2	1.1	136.9	123.1
2:特定健診受診者(隔年以下)	11,786	32.6	33.9	1.1	1.1	103.0	112.4
3:特定健診受診者(3回以上)	10,651	25.5	34.9	1.1	1.1	68.9	98.0
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	3,008	22.4	31.7	1.1	1.1	53.5	68.0

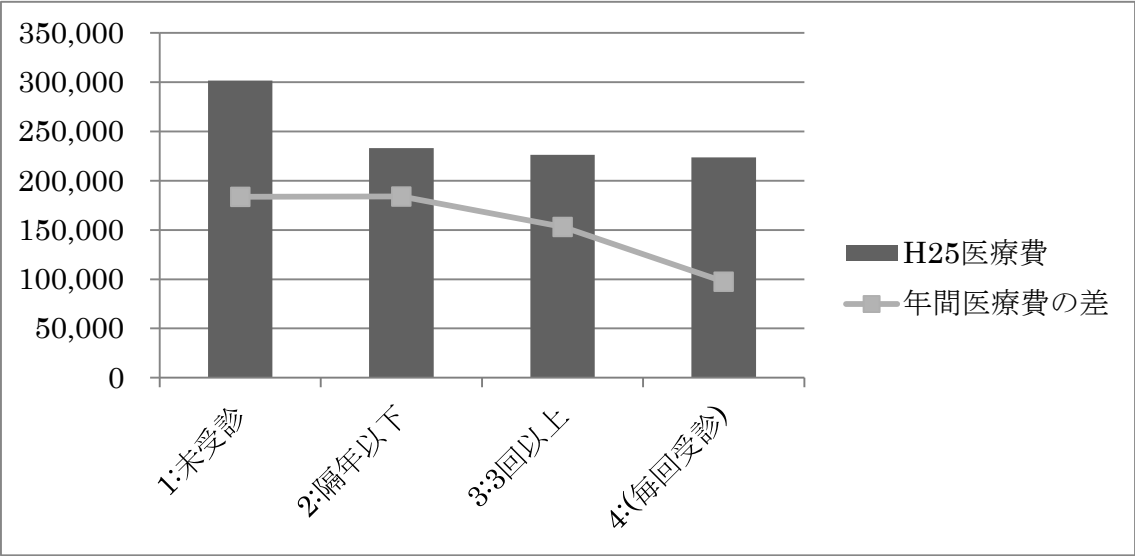
	入院診療月数		外来+調剤医療費		外来診療月数		外来医療機関数	
	H20	H25	H20	H25	H20	H25	H20	H25
1:未受診	2.3	2.0	22.0	23.2	6.0	5.9	3.7	3.8
2:特定健診受診者(隔年以下)	2.0	1.9	23.0	22.8	7.4	7.1	4.7	4.8
3:特定健診受診者(3回以上)	1.6	1.8	20.7	25.2	7.8	8.2	5.1	5.4
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	1.5	1.4	19.3	25.7	8.1	9.0	4.9	5.7

	外来+調剤医療費		外来診療月数		外来医療機関数		健診年度末年齢	
	H20	H25	H20	H25	H20	H25		
1:未受診	21.97	23.18	6.0	5.9	3.7	3.8		
2:特定健診受診者(隔年以下)	23.05	22.77	7.4	7.1	4.7	4.8		67.3
3:特定健診受診者(3回以上)	20.67	25.17	7.8	8.2	5.1	5.4		64.8
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	19.28	25.74	8.1	9.0	4.9	5.7		64.2

* 未受診者については 入院期間が一定以上（6 か月以上）などは除外しています。

平成 25 年度との医療費の変化についてかかりつけ医有の 4 つの群で分析したところ、
 4：健診を毎年受診している 4 つの群それぞれに有意に差があることが分かりました。また、医療費の変化については 1：未受診が最も標準偏差が大きくなり、逆に毎年健診を受けている群の医療費の変化が少なくなっています。これは毎年健診を受けることにより、正しいヘルスリテラシーが醸成されている方がいる、体調の少しの変化等でも医療機関に受診することで、重篤な疾患の早期発見等に役立っているということが考えられます。

・・・（参考）2－1



	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
	1:未受診	10,950	338,657	301,453	183,546	54%
	2:特定健診受診者(隔年以下)	7,168	338,744	233,125	184,057	54%
	3:特定健診受診者(3回以上)	8,368	349,135	226,153	153,110	44%
	4:特定健診受診者(毎回受診)	3,008	317,136	223,596	97,513	31%
	合計	41,572	367,341	339,704	156,697	43%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:未受診	5,265	354,073	382,671	232,301	66%
	2:特定健診受診者(隔年以下)	3,209	280,945	387,866	220,563	79%
	3:特定健診受診者(3回以上)	3,458	248,476	417,139	220,825	89%
	4:特定健診受診者(毎回受診)	1,196	245,466	346,627	108,052	44%
	合計	13,128	284,241	389,615	204,484	72%
女	1:未受診	5,685	255,349	297,985	140,764	55%
	2:特定健診受診者(隔年以下)	3,959	197,245	299,234	156,807	79%
	3:特定健診受診者(3回以上)	4,910	211,479	302,001	109,211	52%
	4:特定健診受診者(毎回受診)	1,812	209,446	297,815	90,718	43%
	合計	16,366	218,954	299,467	121,596	56%

(2) かかりつけ医療機関での診療状況の調査

平成 20 年度から平成 25 年度年の間での健診実施医療機関のうち最も多いもののかかりつけ医と仮定し、かかりつけ医のありなしでの診療状況などを比較します。

1:かかりつけ医						
入院外来区分	入院・入所					
	医療費		診療月数		医療機関数	
レセプト年度	H20	H25	H20	H25	H20	H25
健診受診状況						
1:未受診	-	-	-	-	-	-
2:特定健診受診者(隔年以下)	107	38	1.4	1.6	1.0	1.0
3:特定健診受診者(3回以上)	80	434	1.4	1.8	1.0	1.0
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	48	0	1.0	1.3	1.0	1.0
	外来					
	医療費		診療月数		医療機関数	
レセプト年度	H20	H25	H20	H25	H20	H25
健診受診状況						
1:未受診	-	-	-	-	-	-
2:特定健診受診者(隔年以下)	41.1	26.8	6.9	6.2	1.0	1.0
3:特定健診受診者(3回以上)	51.1	24.1	6.1	6.1	1.0	1.0
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	49.2	13.5	6.6	7.2	1.0	1.0
2:その他						
	入院・入所					
	医療費		診療月数		医療機関数	
レセプト年度	H20	H25	H20	H25	H20	H25
健診受診状況						
1:未受診	253	180	2.3	2.0	1.2	1.1
2:特定健診受診者(隔年以下)	192	181	2.0	1.9	1.1	1.1
3:特定健診受診者(3回以上)	165	129	1.6	1.8	1.1	1.1
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	141	0	1.5	1.4	1.1	1.1
	外来					
	医療費		診療月数		医療機関数	
レセプト年度	H20	H25	H20	H25	H20	H25
健診受診状況						
1:未受診	49.0	21.6	6.0	5.9	3.7	3.8
2:特定健診受診者(隔年以下)	48.0	23.7	7.3	7.0	4.5	4.6
3:特定健診受診者(3回以上)	50.8	25.4	7.3	7.8	4.6	4.8
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	54.9	9.2	7.4	8.3	4.3	4.9

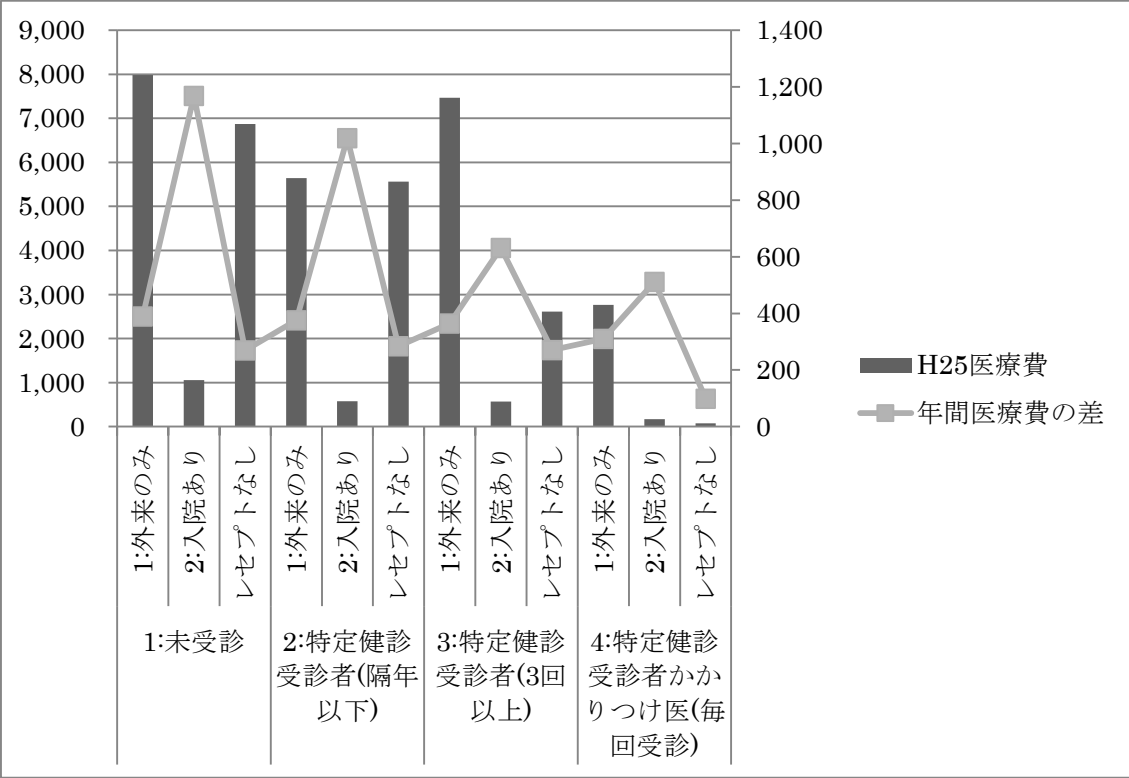
(3) 毎年の健診受診者と未受診者の入院者数の推移

入院ありを重症と定義し、平成 20 年度と平成 25 年度の入院の有無によって重症化の有無を判断します。平成 20 年度に入院があった方はどの群でも平成 25 年度には 7.9%~16%は入院ありとなっています。入院ありに推移する割合をみるとかかりつけ医あり群が 8.7%と最も高く未受診群は 6.2%となっています。ただし、平成 20 年度の入院ありの方のうち 16%が入院ありとなっており。もともと入院をしていたと考えられるため、その影響で大きな違いは見えません。

かかりつけ医有	H20 \ H25	人数				割合			
		1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計
1.未受診	1:外来のみ	3,371	348	4,262	7,981	42.2%	4.4%	53.4%	100.0%
	2:入院あり	260	97	703	1,060	24.5%	9.2%	66.3%	100.0%
	レセプトなし	6,334	540	0	6,874	92.1%	7.9%	0.0%	100.0%
	合計	9,965	985	4,965	15,915	62.6%	6.2%	31.2%	100.0%
2.特定健診受診者(隔年以下)	1:外来のみ	2,338	283	3,025	5,646	41.4%	5.0%	53.6%	100.0%
	2:入院あり	140	49	391	580	24.1%	8.4%	67.4%	100.0%
	レセプトなし	3,766	358	1,436	5,560	67.7%	6.4%	25.8%	100.0%
	合計	6,244	690	4,852	11,786	53.0%	5.9%	41.2%	100.0%
3.特定健診受診者(3回以上)	1:外来のみ	4,885	568	2,014	7,467	65.4%	7.6%	27.0%	100.0%
	2:入院あり	313	59	198	570	54.9%	10.4%	34.7%	100.0%
	レセプトなし	2,183	190	241	2,614	83.5%	7.3%	9.2%	100.0%
	合計	7,381	817	2,453	10,651	69.3%	7.7%	23.0%	100.0%
4.特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	1:外来のみ	2,504	231	26	2,761	90.7%	8.4%	0.9%	100.0%
	2:入院あり	141	27	1	169	83.4%	16.0%	0.6%	100.0%
	レセプトなし	65	3	10	78	83.3%	3.8%	12.8%	100.0%
	合計	2,710	261	37	3,008	90.1%	8.7%	1.2%	100.0%

それぞれの医療費の差については以下になります。

医療費の差についてみると1：未受診群の1：外来のみ、1：未受診群のレセプトなし、並びに3：特定健診受診者の1：外来のみが医療費が高くなっています。また入院をすることでももちろん医療費の差はどの群も大きくなりますが、特に未受診では医療費の差が大きくなっています。



		(千円)							
かかりつけ医有	H20	H25医療費				年間医療費の差			
	H25	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計
1:未受診	1:外来のみ	228	2,037	0	389	163	369	179	181
	2:入院あり	650	2,753	0	1,168	1,495	1,896	1,997	1,867
	レセプトなし	155	1,613	0	270	0	0	0	0
	合計	193	1,861	0	339	257	675	437	376
2:特定健診受診者(隔年以下)	1:外来のみ	210	1,737	0	375	138	225	242	198
	2:入院あり	572	2,300	0	1,020	1,395	1,554	1,635	1,570
	レセプトなし	172	1,469	0	284	0	0	0	0
	合計	195	1,638	0	339	209	421	401	326
3:特定健診受診者(3回以上)	1:外来のみ	227	1,545	0	364	162	232	252	191
	2:入院あり	347	2,139	0	631	972	1,736	1,096	1,094
	レセプトなし	194	1,142	0	270	0	0	0	0
	合計	222	1,494	0	349	211	373	327	255
4:特定健診受診者かかりつけ医(毎回受診)	1:外来のみ	234	1,145	0	311	176	226	38	179
	2:入院あり	359	1,309	0	511	926	1,038	1,757	949
	レセプトなし	79	547	0	99	0	0	0	0
	合計	236	1,155	0	317	216	311	102	224

3. 特定健診項目検査値の関連性分析

特定健診の検査項目の中からメタボリックシンドロームを中心とした疾病のリスク保有状況と医療費の関係を分析しました。

以下の検査項目についてグループごとにリスクの高さによって分析しました。

- ① 糖尿病 (HbA1c (NGSP), 空腹時血糖)
- ② 血圧 (血圧(最高)、血圧(最低))
- ③ 脂質 (LDL, HDL, 中性脂肪)
- ④ 肝機能 (AST, ALT, γ -GT)
- ⑤ 肥満判定 (腹囲、BMI)

リスクの高さについては、「特定健診保健指導対象者基準値」に基づき各健診項目リスク(1:正常、2:保健指導判定値、3、受診勧奨判定値、4ハイリスク判定値)の中で最も高いものにてリスクの評価を行い評価しています。

(肥満のみ肥満・非肥満にて判定)

また、分析に当たっては以下の切り口で医療費の変化に影響を及ぼすような検査項目を分析しています。

- ・平成20年度の各疾患におけるリスク状況と平成25年度の医療費との関係
- ・平成20年度から平成21年におけるリスクの推移と平成25年度の医療費との関係
- ・平成20年度から平成25年におけるリスクの推移と平成25年度の医療費との関係
- ・メタボリックシンドローム判定・保健指導レベルなど複数のリスク保有状況と医療費

特定健診保健指導対象者基準値

	健診検査項目	保健指導 判定値	受診勧奨判定値 (受診が必要な値)	ハイリスク判定 値 (緊急に受診が必要 な値)	単位
血圧	血圧（最高値）	130以上	140以上	160以上	mmHg
	血圧（最低値）	85以上	90以上	100以上	mmHg
脂質	中性脂肪	150以上	300以上	500以上	mg/dl
	HDL コレステロール	39以下	34以下	30以下	mg/dl
	LDL コレステロール	120以上	140以上	180以上	mg/dl
糖尿	空腹時血糖	100以上	126以上	140以上	mg/dl
	HbA1C（JDS）	5.2以上	6.1以上	6.5以上	%
	HbA1C（NGSP）	5.6以上	6.5以上	6.9以上	%
肝機能	AST（GOT）	31以上	51以上	100以上	U/I
	ALT（GPT）	31以上	51以上	100以上	U/I
	γ-GT （γ-GTP）	51以上	101以上	300以上	U/I

※ハイリスク値は、人間ドック学会を参考に独自に設定した数値となっています。

*肥満判定については、腹囲 男性 85cm 以上、女性 90cm 以上もしくは BMI 25 以上での方を肥満該当とします。

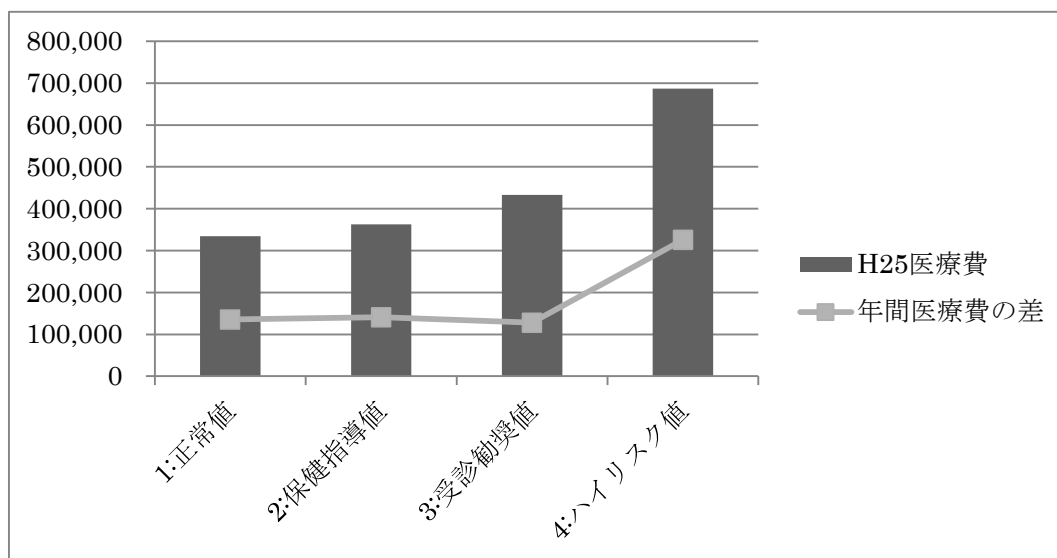
(ア) 平成 20 年度の検査値の推移と医療費との関連推移

検査項目グループごとに平成 20 年度の検査値のリスク状況と 5 年後の医療費並びに医療費の増加率を調べています。

○糖尿病判定と医療費の推移

*有意差あり

糖尿病のハイリスク値群の医療費の伸びが著しく高くなっています。また、特に男性でその傾向が著しく、女性のハイリスク値群の伸びはあまりありません。

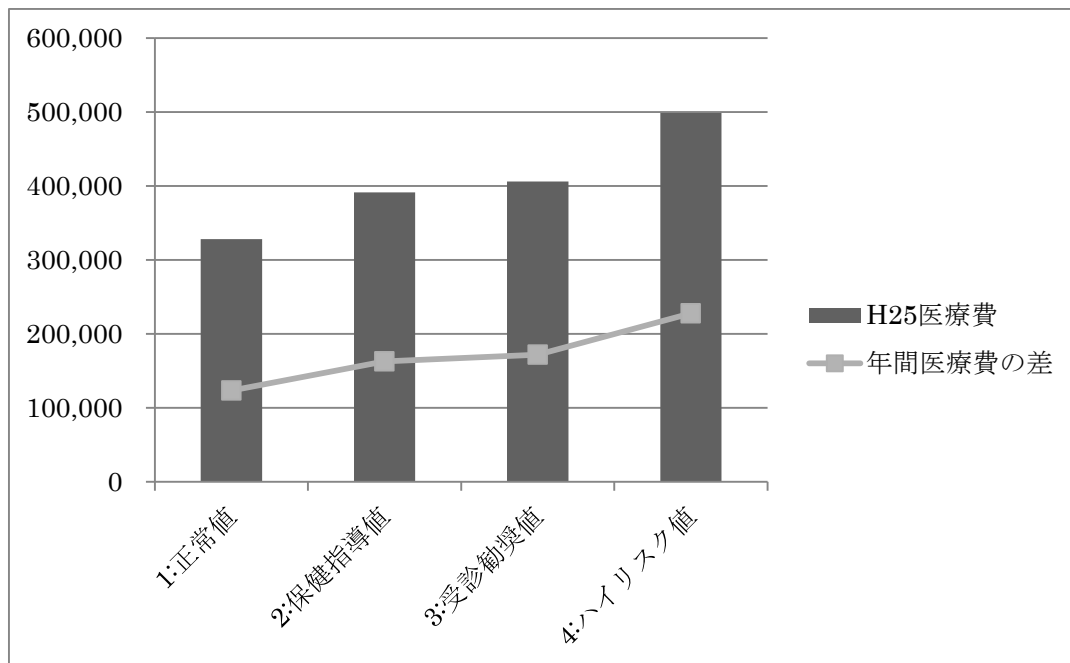


	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
全体	1:正常値	4,199	203,373	334,350	135,401	67%
	2:保健指導値	2,796	223,470	362,904	140,606	63%
	3:受診勧奨値	271	307,700	432,855	128,271	42%
	4:ハイリスク値	422	364,532	686,587	326,286	90%
	合計	7,688	223,560	367,830	147,896	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	1,619	230,626	390,082	164,701	71%
	2:保健指導値	1,011	244,433	446,227	210,190	86%
	3:受診勧奨値	154	316,684	438,184	124,211	39%
	4:ハイリスク値	236	345,948	680,619	341,183	99%
	合計	3,020	249,093	434,678	192,417	77%
女	1:正常値	2,580	186,619	300,132	117,682	63%
	2:保健指導値	1,785	211,712	315,629	101,518	48%
	3:受診勧奨値	117	295,929	425,885	133,591	45%
	4:ハイリスク値	186	387,938	694,160	307,525	79%
	合計	4,668	207,265	325,044	119,699	58%

○血圧判定と医療費の推移

＊有意差あり

リスクの増加に伴い医療費の伸びが大きくなっていますが、ハイリスク値群の医療費の伸びが男女とも大きく、また、特に男性でその傾向が著しくなっています。

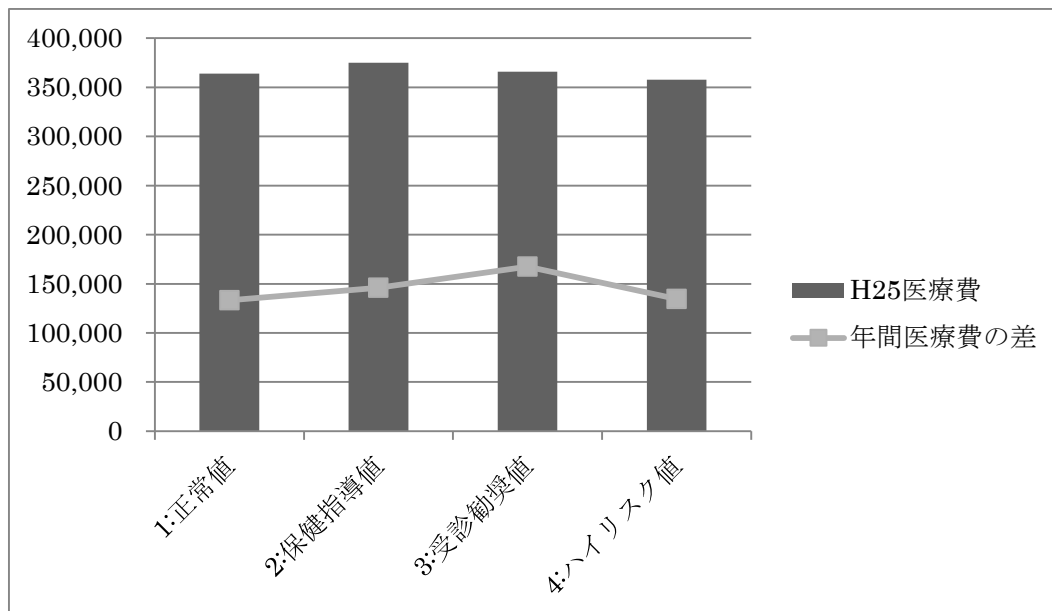


	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
全体	1:正常値	3,911	210,202	328,427	123,284	59%
	2:保健指導値	1,847	229,191	391,369	162,872	71%
	3:受診勧奨値	1,549	236,056	406,365	171,754	73%
	4:ハイリスク値	381	281,799	498,700	227,602	81%
	合計	7,688	223,571	367,851	147,908	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	1,384	241,424	370,770	136,739	57%
	2:保健指導値	759	247,207	454,912	209,231	85%
	3:受診勧奨値	704	243,871	485,508	249,534	102%
	4:ハイリスク値	172	341,072	646,979	325,108	95%
	合計	3,019	249,141	434,798	192,495	77%
女	1:正常値	2,527	193,360	305,554	116,101	60%
	2:保健指導値	1,088	216,742	347,378	130,991	60%
	3:受診勧奨値	845	229,650	341,210	108,570	47%
	4:ハイリスク値	209	234,091	377,380	149,121	64%
	合計	4,669	207,261	325,027	119,684	58%

○脂質判定と医療費の推移

*有意差なし

リスクの増加と医療費の伸びはあまり関係が見られず、糖尿病や血圧に比較し、ハイリスク値群の医療費の伸びは他と比べて大きくありません。

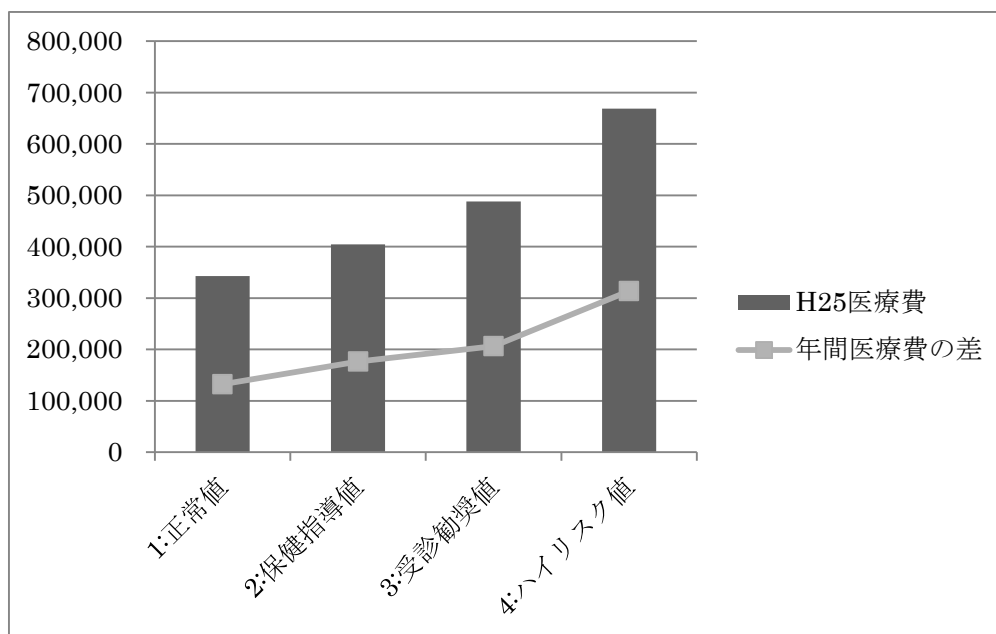


	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
全体	1:正常値	2,442	234,570	364,086	133,173	57%
	2:保健指導値	2,472	232,357	375,000	146,048	63%
	3:受診勧奨値	2,346	200,537	366,054	167,428	83%
	4:ハイリスク	428	237,484	357,689	134,492	57%
	合計	7,688	223,581	367,846	147,892	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	1,000	271,235	414,917	150,508	55%
	2:保健指導値	1,021	241,911	413,018	181,164	75%
	3:受診勧奨値	854	215,631	471,767	255,076	118%
	4:ハイリスク	144	347,903	509,959	195,497	56%
	合計	3,019	249,165	434,784	192,456	77%
女	1:正常値	1,442	209,181	329,130	121,249	58%
	2:保健指導値	1,451	225,762	348,423	121,841	54%
	3:受診勧奨値	1,492	192,048	306,572	118,868	62%
	4:ハイリスク	284	183,286	281,825	104,893	57%
	合計	4,669	207,261	325,027	119,684	58%

○肝機能判定と医療費の推移

＊有意差あり

リスクの増加に伴い医療費の伸びが大きくなっていますが、糖尿病や血圧に比較し、ハイリスク値群の医療費の伸びは他と比べて大きくはありません。

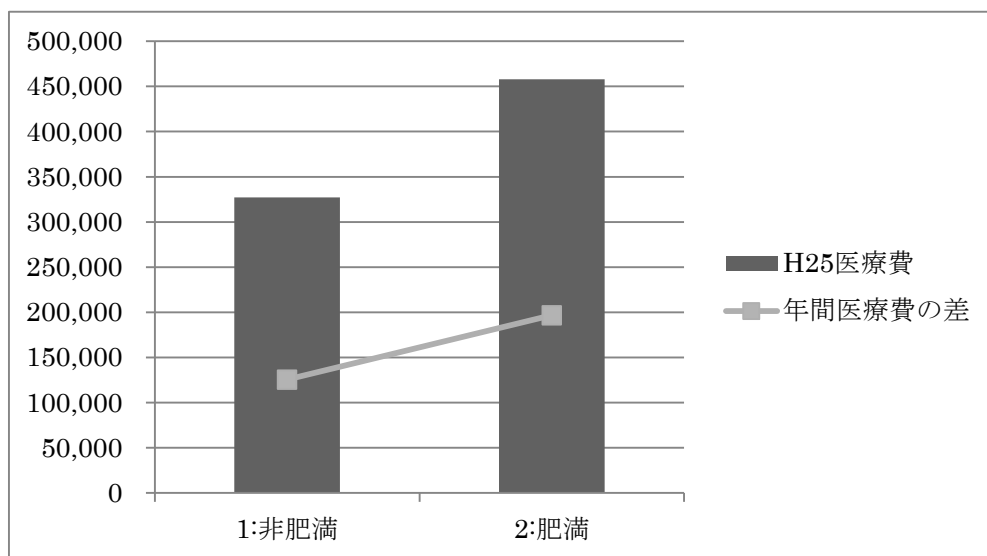


	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
全体	1:正常値	5,547	213,845	342,627	132,177	62%
	2:保健指導値	1,563	235,774	404,206	176,367	75%
	3:受診勧奨値	481	274,337	488,044	206,114	75%
	4:ハイリスク	84	361,104	669,025	313,591	87%
	合計	7,675	223,717	367,909	147,826	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	1,785	245,614	403,739	166,331	68%
	2:保健指導値	836	236,285	449,849	224,168	95%
	3:受診勧奨値	322	284,691	506,887	211,086	74%
	4:ハイリスク	69	343,806	704,010	367,639	107%
	合計	3,012	249,460	434,698	192,084	77%
女	1:正常値	3,762	198,983	314,052	116,380	58%
	2:保健指導値	727	235,194	352,115	122,166	52%
	3:受診勧奨値	159	253,964	449,877	196,301	77%
	4:ハイリスク	15	439,520	508,093	68,573	16%
	合計	4,663	207,316	325,231	119,843	58%

○肥満判定と医療費の推移

＊有意差あり

肥満のリスクの増加に伴い医療費の伸びが大きくなっており、特に男性医療費は平成 20 年度年度に比べて 74%増加していますが、非肥満でもリスクをもっている方がいるため医療費は増加をしています。



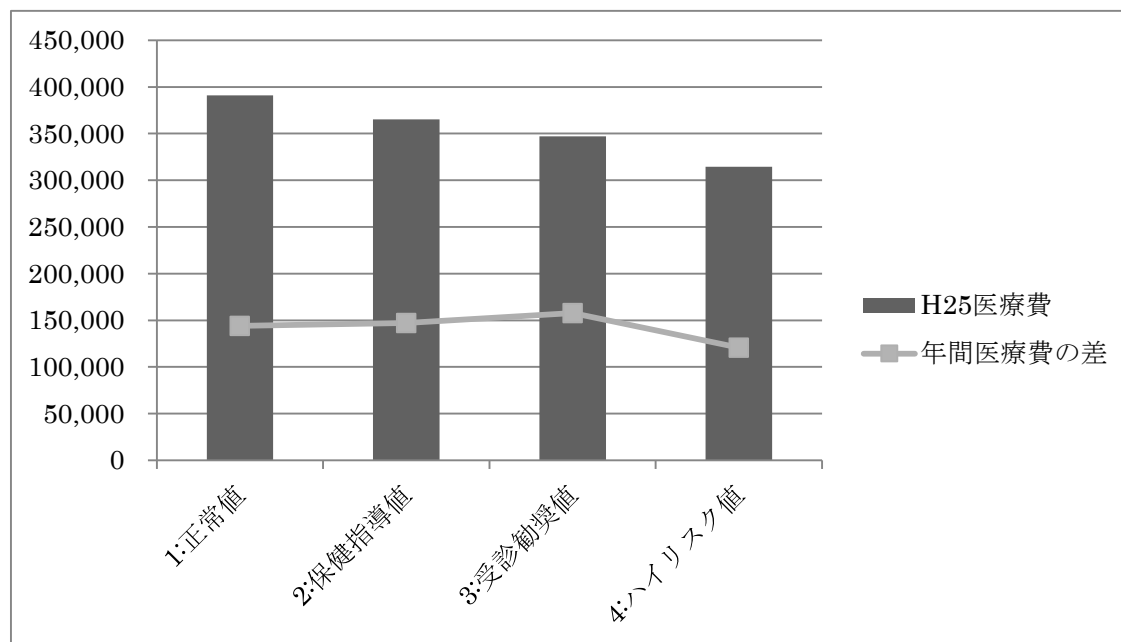
	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
全体	1:非肥満	5,304	203,710	327,085	125,733	62%
	2:肥満	2,385	267,409	457,898	196,607	74%
	合計	7,689	223,556	367,813	147,883	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:非肥満	1,628	226,192	389,021	167,274	74%
	2:肥満	1,392	275,747	487,442	221,392	80%
	合計	3,020	249,093	434,678	192,417	77%
女	1:非肥満	3,676	193,875	300,063	107,763	56%
	2:肥満	993	255,998	416,864	162,890	64%
	合計	4,669	207,261	325,027	119,684	58%

参考) 脂質の各項目の内訳

脂質については全体的にはリスクの増加と関係が見られませんでした、各検査値項目で見ると特徴が異なっています。

○LDL コレステロールと医療費の推移

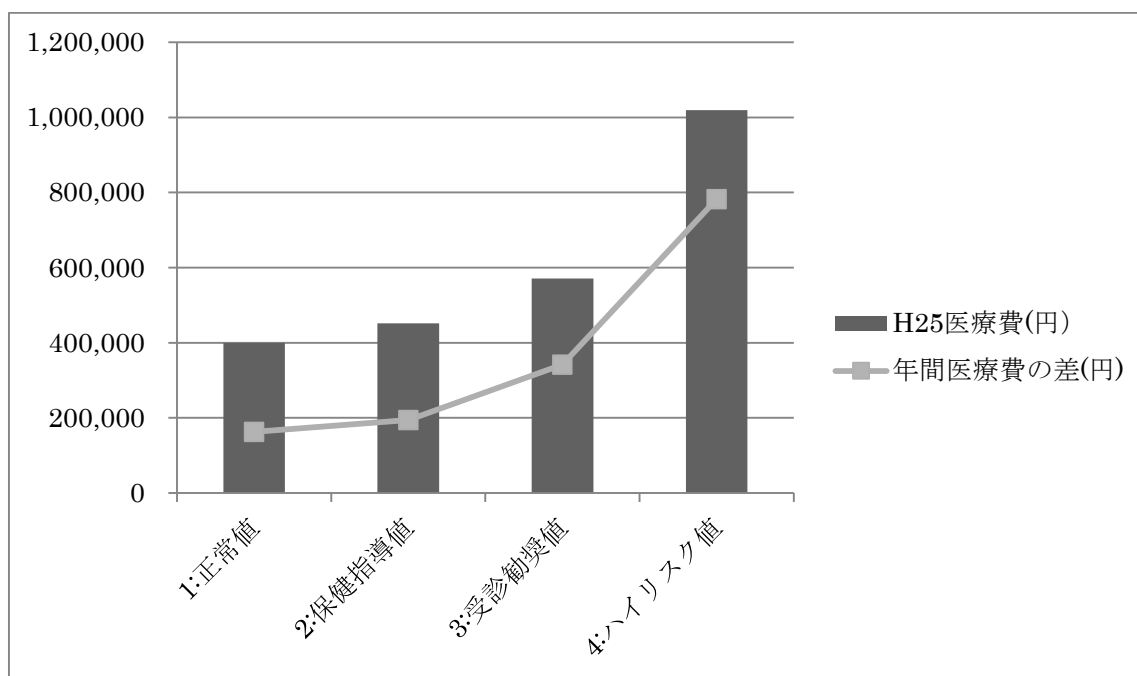
リスクの増加と医療費の伸びはあまり関係が見られません。これは特に女性ではリスクの高い方が多いですが、医療費の変化には差が見られないことが関係していると思われます。



	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
全体	1:正常値	3,040	251,371	390,912	143,993	57%
	2:保健指導値	2,065	220,881	365,125	147,203	67%
	3:受診勧奨値	2,204	190,880	347,116	157,634	83%
	4:ハイリスク値	372	206,675	314,388	120,826	58%
	合計	7,681	223,642	367,696	147,697	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	1,400	286,110	451,542	173,608	61%
	2:保健指導値	765	230,408	412,794	193,014	84%
	3:受診勧奨値	751	195,388	428,073	229,320	117%
	4:ハイリスク値	100	280,387	407,794	160,884	57%
	合計	3,016	249,282	434,386	191,954	77%
女	1:正常値	1,640	221,931	339,721	119,061	54%
	2:保健指導値	1,300	215,366	337,130	120,657	56%
	3:受診勧奨値	1,453	188,591	305,937	121,816	65%
	4:ハイリスク値	272	180,692	281,053	107,008	59%
	合計	4,665	207,284	325,041	119,678	58%

○中性脂肪（TG）判定と医療費の推移

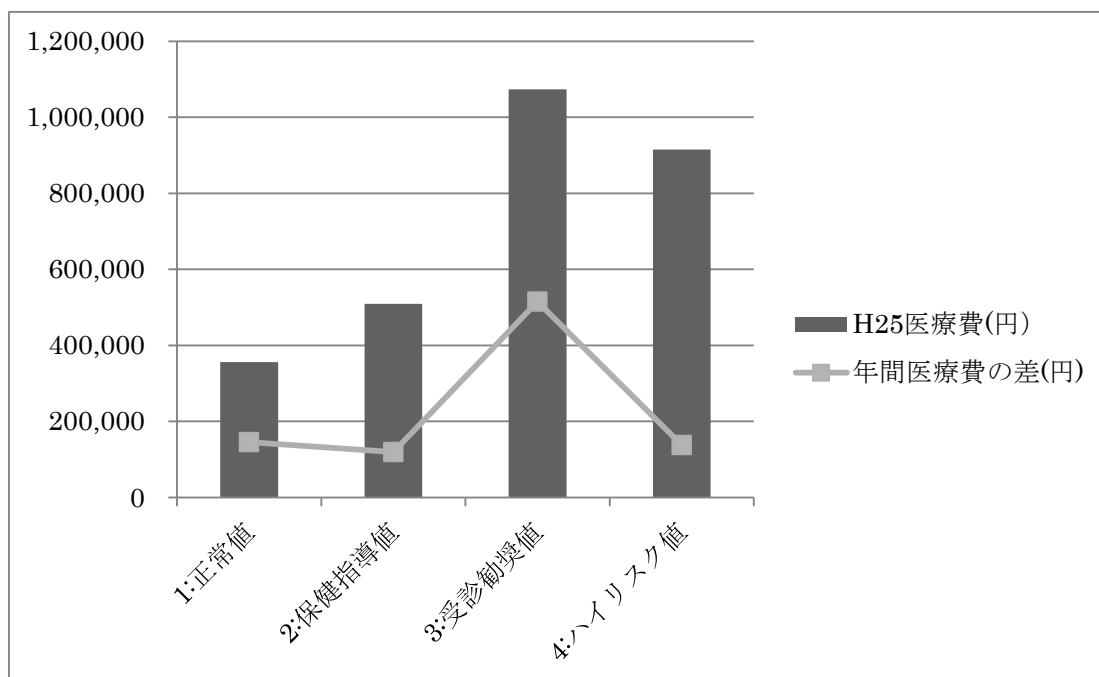
糖尿病同様ハイリスク値群の医療費の伸びが著しく高くなっています。メタボリックシンドロームの評価であるため糖尿病等のリスクも合わせて持っていることが考えられます。



	H20判定	人数	H20医療費(円)	H25医療費(円)	年間医療費の差(円)	医療費の変化率
全体	1:正常値	6,139	218,213	353,429	139,425	64%
	2:保健指導値	1,353	249,141	417,051	167,758	67%
	3:受診勧奨値	153	204,411	468,353	271,492	133%
	4:ハイリスク値	41	263,873	540,730	311,645	118%
	合計	7,686	223,614	367,890	147,906	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	2,154	251,290	412,913	170,092	68%
	2:保健指導値	726	251,862	475,797	223,468	89%
	3:受診勧奨値	108	184,399	542,178	373,599	203%
	4:ハイリスク値	30	266,847	625,814	417,381	156%
	合計	3,018	249,212	434,810	192,438	77%
女	1:正常値	3,985	200,475	321,642	123,129	61%
	2:保健指導値	627	246,085	349,616	105,484	43%
	3:受診勧奨値	45	249,772	292,178	37,109	15%
	4:ハイリスク値	11	256,573	308,684	52,111	20%
	合計	4,668	207,288	325,088	119,720	58%

○HDL 判定と医療費の推移

受診勧奨値群が医療費の差が大きくなるなど、リスクの増加と医療費の伸びはあまり関係が見られません。また、HDL の判定と中性脂肪が高い方と同じになる場合があります。



	H20判定	人数	H20医療費(円)	H25医療費(円)	年間医療費の差(円)	医療費の変化率
全体	1:正常値	7,386	214,612	356,066	145,407	68%
	2:保健指導値	213	374,040	509,661	119,952	32%
	3:受診勧奨値	68	576,585	1,073,333	515,301	89%
	4:ハイリスク	18	777,592	915,507	137,915	18%
	合計	7,685	223,599	367,931	147,963	66%
性別	H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
男	1:正常値	2,785	232,921	410,818	185,733	80%
	2:保健指導値	159	337,222	521,069	163,967	49%
	3:受診勧奨値	55	629,418	1,253,447	634,999	101%
	4:ハイリスク	17	820,141	957,940	137,799	17%
	合計	3,016	249,239	435,069	192,684	77%
女	1:正常値	4,601	203,681	323,256	121,494	60%
	2:保健指導値	54	476,993	477,128	134	0%
	3:受診勧奨値	13	338,837	325,165	-13,367	-4%
	4:ハイリスク	1	54,260	194,150	139,890	258%
	合計	4,669	207,261	325,027	119,684	58%

(イ) 平成 20 年度と平成 25 年度の検査判定値の推移と医療費の推移
各検査値の平成 20 年度と平成 25 年度の変化と 5 年後の医療費を比較しました。

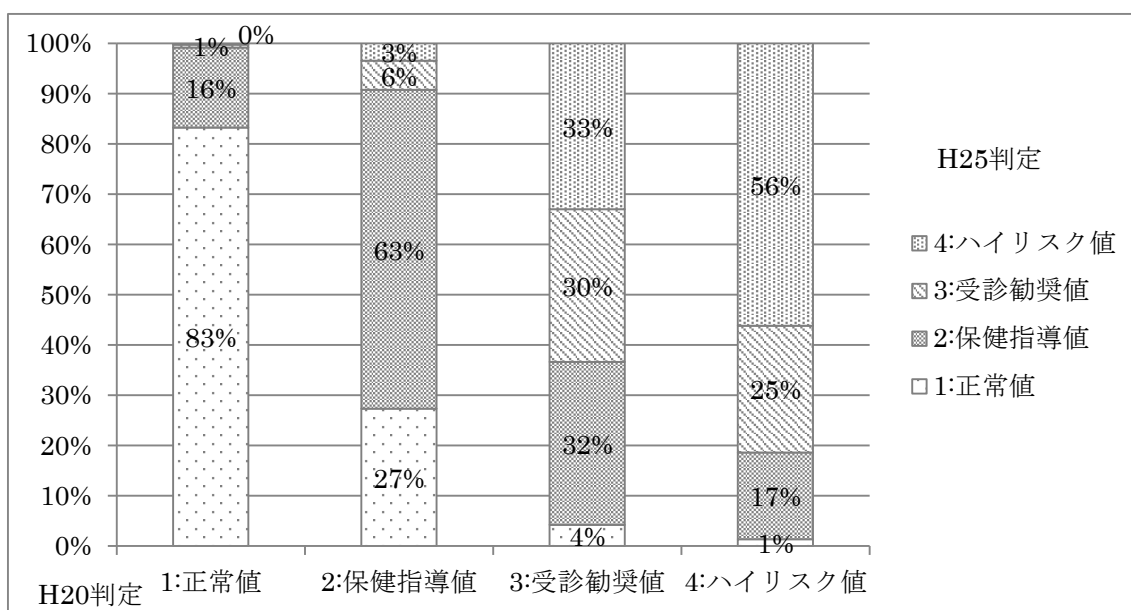
○糖尿病判定と医療費の推移

*有意差あり

糖尿病判定ではハイリスク値群については 56%が引き続きハイリスク値のままとなっており、医療費も高くなっています。早期の重症化予防対策が必要になると考えます。特に受診勧奨値群の方は 5 年後に保健指導値群への推移（改善）、受診勧奨値群（維持）、ハイリスク群（悪化）への推移がそれぞれ 1/3 ずつの割合となっており、受診勧奨値群への適切なアプローチが必要になると考えます。

医療費の推移：平成 20 年度が保健指導値群について、改善あるいは維持が医療費の伸びの抑制をもたらしているようです。

また、平成 20 年度が受診勧奨値群については改善が医療費の伸びの抑制をもたらしているのに対し、受診勧奨値のままの群では医療費の大きな増加がみられます。



○人数の推移

	H25判定						
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計	
1:正常値	2,694	515	18	8	3,191	6,426	
2:保健指導値	580	1,345	123	73	2,395	4,516	
3:受診勧奨値	8	62	58	63	268	459	
4:ハイリスク値	4	52	76	169	433	734	
5:未受診等	4,650	2,493	320	445	21,529	29,437	
合計	7,936	4,467	595	758	27,816	41,572	
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計	
1:正常値	83%	16%	1%	0%		100%	
2:保健指導値	27%	63%	6%	3%		100%	
3:受診勧奨値	4%	32%	30%	33%		100%	
4:ハイリスク値	1%	17%	25%	56%		100%	
5:未受診等	59%	32%	4%	6%		100%	
合計	58%	32%	4%	6%		100%	

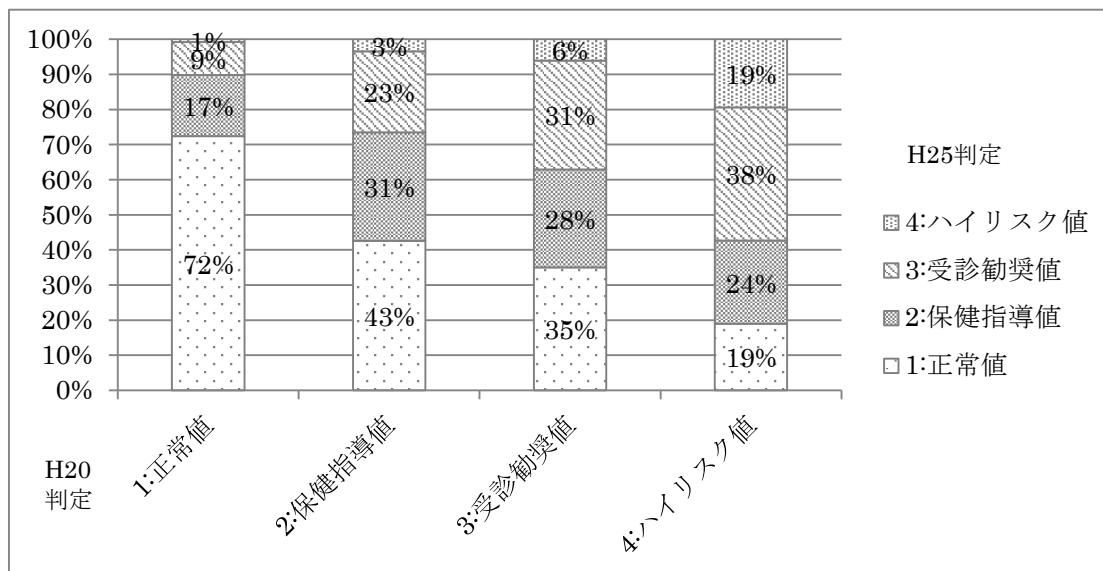
○医療費の推移

	H25判定							
	1:正常値		2:保健指導値		3:受診勧奨値		4:ハイリスク値	
H20判定	H20	H25	H20	H25	H20	H25	H20	H25
1:正常値	185,195	282,000	220,361	294,635	603,184	826,804	194,409	297,771
2:保健指導値	216,668	307,474	213,770	321,052	258,357	481,459	280,538	286,177
3:受診勧奨値	273,976	295,267	275,383	360,529	273,835	515,988	327,661	438,719
4:ハイリスク値	420,870	578,165	413,110	681,543	377,452	628,020	321,892	548,507
5:未受診等	195,606	249,745	240,712	300,467	404,640	433,913	469,262	587,481

○血圧判定

*有意差あり

血圧判定について、平成 20 年度受診勧奨値群で平成 25 年度に正常値群となった群の医療費の伸びが大きくなっています。これは受診行動（治療）に結びついたためと考えられます。



人数の推移

	H25判定					
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計
1:正常値	2,168	521	281	25	2,900	5,895
2:保健指導値	612	443	331	50	1,592	3,028
3:受診勧奨値	405	323	359	71	1,451	2,609
4:ハイリスク値	49	61	98	50	346	604
5:未受診等	4,444	1,680	1,420	363	21,529	29,436
合計	7,678	3,028	2,489	559	27,818	41,572
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計
1:正常値	72%	17%	9%	1%		100%
2:保健指導値	43%	31%	23%	3%		100%
3:受診勧奨値	35%	28%	31%	6%		100%
4:ハイリスク値	19%	24%	38%	19%		100%
5:未受診等	56%	21%	18%	5%		100%
合計	56%	22%	18%	4%		100%

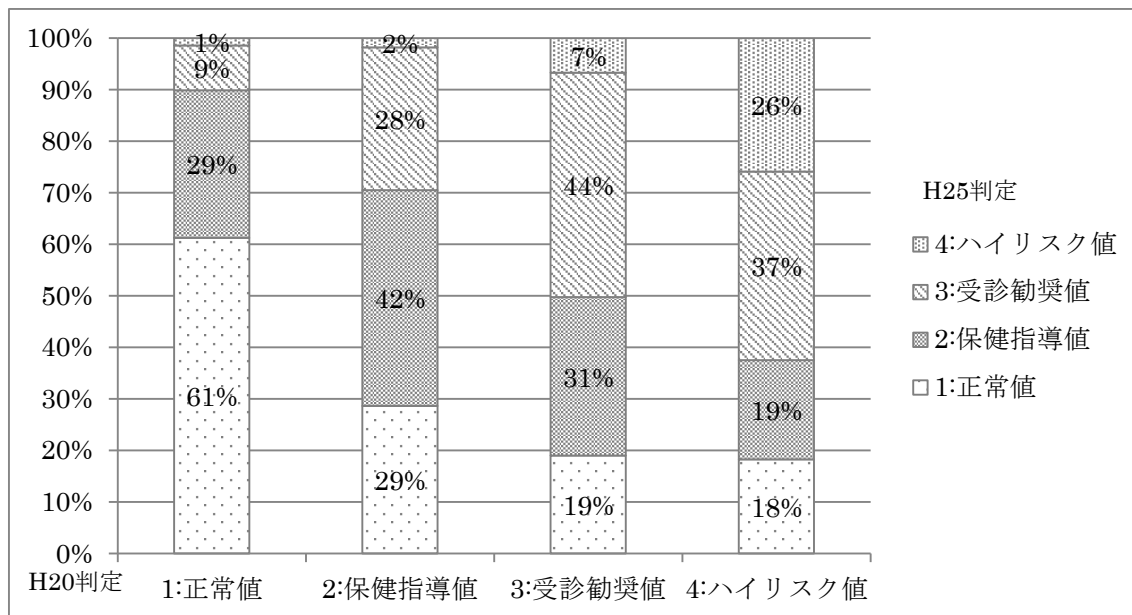
医療費の推移

	H25判定							
	1:正常値		2:保健指導値		3:受診勧奨値		4:ハイリスク値	
H20判定	H20	H25	H20	H25	H20	H25	H20	H25
1:正常値	199,471	299,331	208,526	282,923	236,162	295,565	230,681	363,725
2:保健指導値	219,514	350,254	226,051	383,333	217,888	288,735	188,645	265,538
3:受診勧奨値	222,037	394,970	236,039	296,504	214,544	313,191	187,436	258,069
4:ハイリスク値	234,948	427,286	200,876	467,385	212,122	306,860	484,677	664,205
5:未受診等	231,659	277,211	260,106	298,100	235,135	288,481	257,759	473,028

○脂質判定

*有意差なし

どの層でも平成 25 年度では 70%程度にリスク度の改善が見られます。比較的风险コントロールができていない状況が見受けられます。



人数の推移

	H25判定					
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計
1:正常値	1,138	532	162	26	2,113	3,971
2:保健指導値	542	792	524	34	2,076	3,968
3:受診勧奨値	342	553	783	120	1,783	3,581
4:ハイリスク値	55	58	110	78	315	616
5:未受診等	2,799	2,477	2,176	455	21,529	29,436
合計	4,876	4,412	3,755	713	27,816	41,572
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計
1:正常値	61%	29%	9%	1%		100%
2:保健指導値	29%	42%	28%	2%		100%
3:受診勧奨値	19%	31%	44%	7%		100%
4:ハイリスク値	18%	19%	37%	26%		100%
5:未受診等	35%	31%	28%	6%		100%
合計	35%	32%	27%	5%		100%

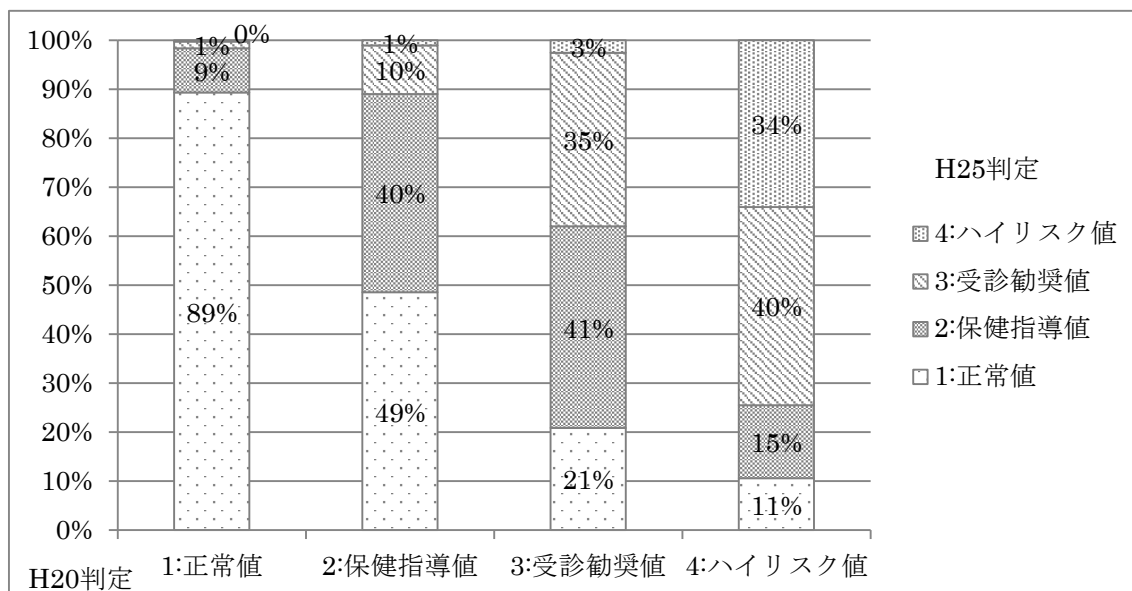
医療費の推移

	H25判定							
	1:正常値		2:保健指導値		3:受診勧奨値		4:ハイリスク値	
H20判定	H20	H25	H20	H25	H20	H25	H20	H25
1:正常値	221,380	334,414	214,854	318,988	206,265	314,741	241,192	305,985
2:保健指導値	243,518	382,121	231,415	307,369	215,977	317,920	257,274	455,747
3:受診勧奨値	222,992	446,103	213,722	296,067	167,886	251,402	180,656	289,884
4:ハイリスク値	244,731	345,382	246,654	413,851	219,224	274,850	154,629	221,287
5:未受診等	271,861	311,223	220,744	292,235	227,779	257,256	212,759	351,926

○肝機能判定

*有意差なし

ハイリスク値では34%がハイリスク値のままとなっている一方それ以外の66%はリスク度の改善がみられます。それ以外の層では平成25年度では80%程度にリスク度の改善が見られます。比較的风险コントロールができていない状況が見受けられます。



人数の推移

	H25判定					
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計
1:正常値	3,821	387	57	13	4,484	8,762
2:保健指導値	566	472	116	12	1,285	2,451
3:受診勧奨値	73	144	124	9	435	785
4:ハイリスク値	5	7	19	16	75	122
5:未受診等	5,842	1,467	523	83	21,537	29,452
合計	10,307	2,477	839	133	27,816	41,572
H20判定	1:正常値	2:保健指導値	3:受診勧奨値	4:ハイリスク値	5:未受診等	合計
1:正常値	89%	9%	1%	0%		100%
2:保健指導値	49%	40%	10%	1%		100%
3:受診勧奨値	21%	41%	35%	3%		100%
4:ハイリスク値	11%	15%	40%	34%		100%
5:未受診等	74%	19%	7%	1%		100%
合計	75%	18%	6%	1%		100%

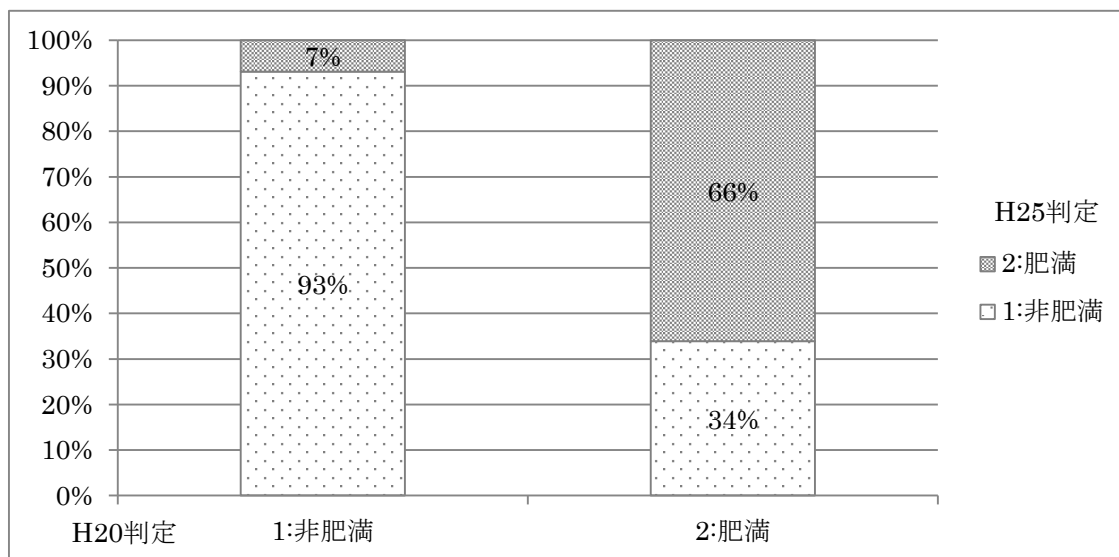
医療費の推移

	H25判定							
	1:正常値		2:保健指導値		3:受診勧奨値		4:ハイリスク値	
H20判定	H20	H25	H20	H25	H20	H25	H20	H25
1:正常値	200,794	299,145	227,818	296,737	277,197	522,974	263,331	325,035
2:保健指導値	252,834	351,888	212,984	341,057	291,732	344,616	164,250	535,759
3:受診勧奨値	276,986	451,961	239,265	480,307	234,639	430,397	244,463	262,180
4:ハイリスク値	640,974	622,324	299,439	778,619	276,054	413,847	189,483	308,297
5:未受診等	232,237	272,258	234,330	329,968	333,731	401,806	220,956	397,934

○肥満判定

*有意差なし

肥満については66%の方が5年後も肥満を維持しており、肥満からの改善は容易ではないということがわかります。



人数の推移

	H25判定			
H20判定	1:非肥満	2:肥満	3:未受診等	合計
1:非肥満	3,803	283	4,037	8,123
2:肥満	597	1,165	2,250	4,012
3:未受診等	5,727	2,177	21,533	29,437
合計	10,127	3,625	27,820	41,572
H20判定	1:非肥満	2:肥満	3:未受診等	合計
1:非肥満	93%	7%		100%
2:肥満	34%	66%		100%
3:未受診等	72%	28%		100%
合計	74%	26%		100%

医療費の推移

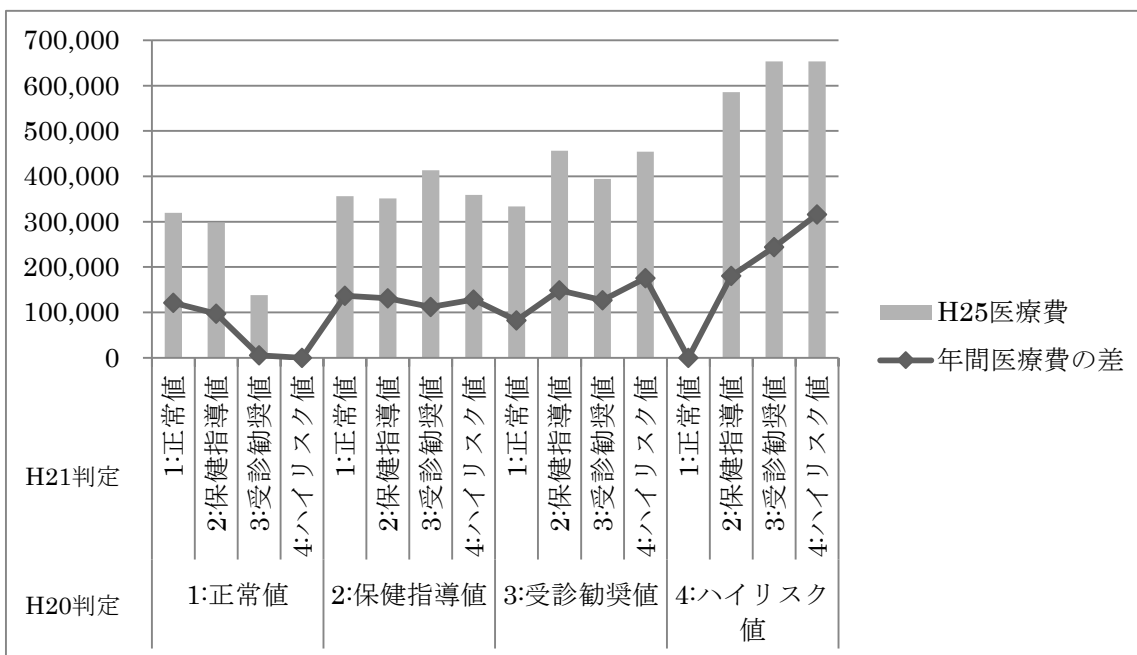
	H25判定			
	1:非肥満		2:肥満	
H20判定	H20	H25	H20	H25
1:非肥満	194,825	291,529	236,150	328,079
2:肥満	225,787	367,789	266,689	393,392
3:未受診等	208,523	270,082	316,159	351,896

(ウ) 初めの1年の指導区分の変化が5年間の医療費に及ぼす効果の検討

平成20年度と平成21年度の指導区分の変化が5年間の医療費の変化に及ぼす効果を検証しました。

○糖尿病判定

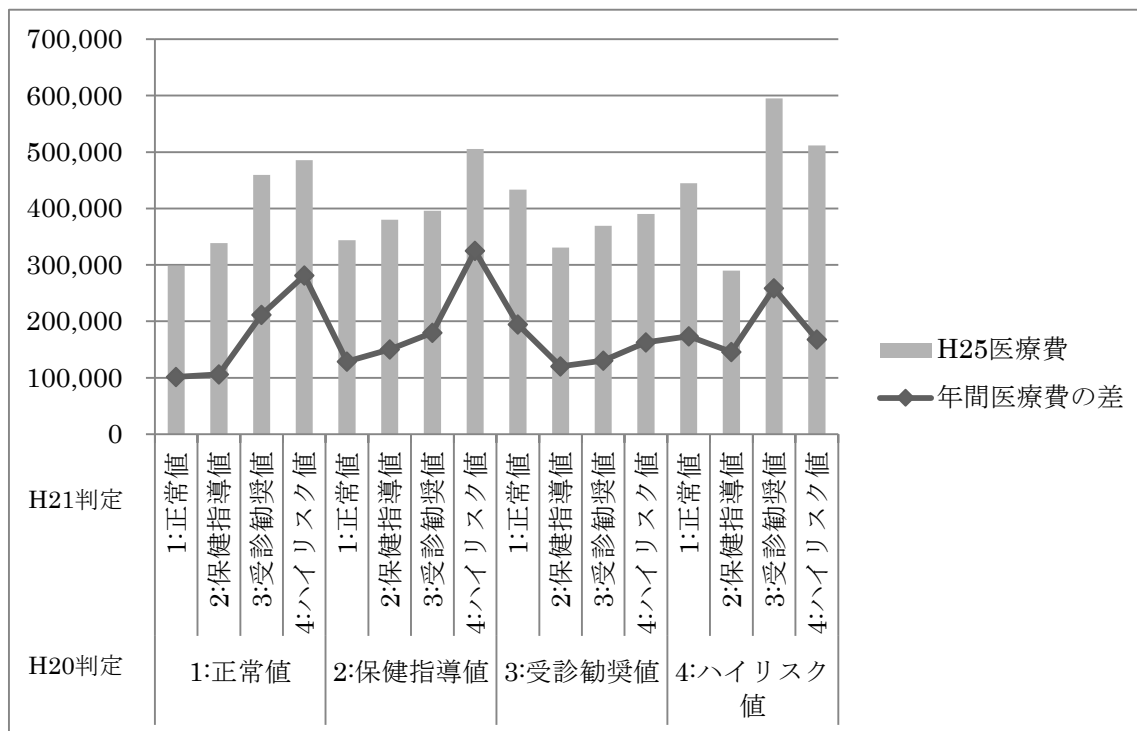
平成20年度ハイリスク値の平成25年度の医療費は他と比べて大きくなっています。



H20判定	H21判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
1: 正常値	1: 正常値	2,694	201,632	319,398	121,565	60%
	2: 保健指導値	636	208,051	297,846	97,184	47%
	3: 受診勧奨値	4	133,175	138,488	5,313	4%
	4: ハイリスク値	0	0	0	0	0%
	5: 未受診等	865	205,761	408,644	209,067	102%
2: 保健指導値	1: 正常値	337	220,712	356,569	136,724	62%
	2: 保健指導値	1,804	223,022	350,991	131,422	59%
	3: 受診勧奨値	105	301,284	413,549	112,265	37%
	4: ハイリスク値	35	237,202	358,880	128,651	54%
	5: 未受診等	515	209,313	398,909	183,638	88%
3: 受診勧奨値	1: 正常値	5	251,163	333,650	82,488	33%
	2: 保健指導値	64	307,543	456,246	148,703	48%
	3: 受診勧奨値	83	271,971	394,493	127,015	47%
	4: ハイリスク値	68	278,683	454,040	175,357	63%
	5: 未受診等	51	410,485	445,466	43,804	11%
4: ハイリスク値	1: 正常値	37	404,986	585,565	180,579	45%
	2: 保健指導値	54	409,614	653,517	243,903	60%
	3: 受診勧奨値	236	341,334	653,534	315,757	93%
	4: ハイリスク値	95	380,631	826,841	458,585	120%

○血圧判定

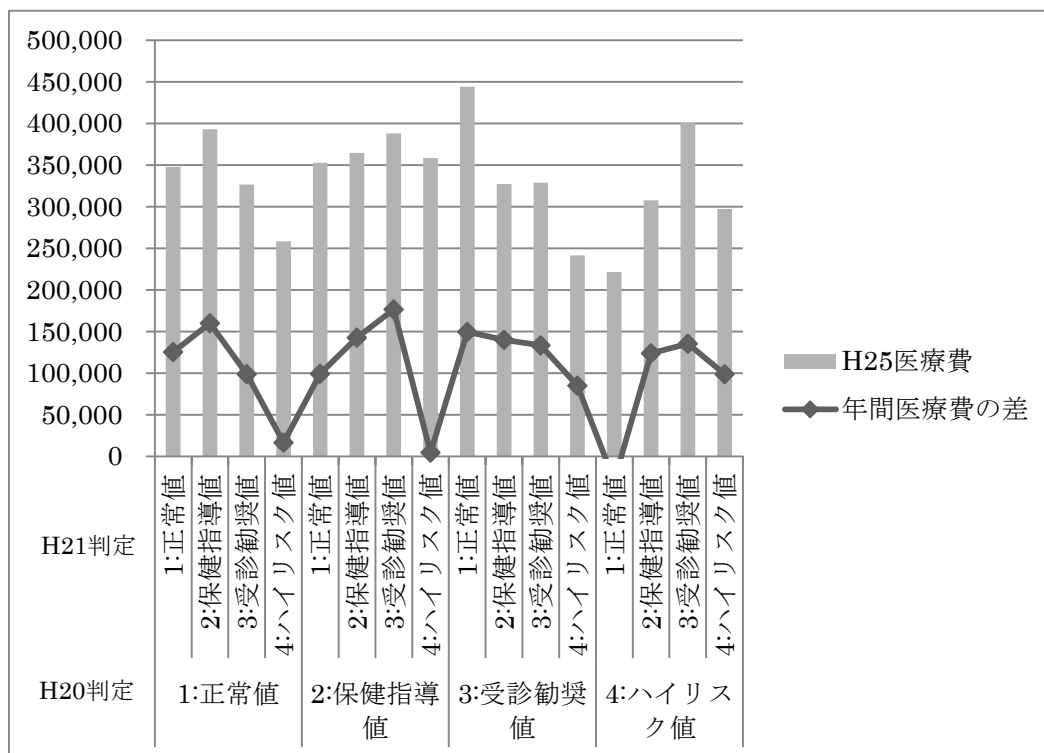
平成 20 年度ハイリスク値かつ平成 21 年度受診勧奨値である場合に平成 25 年度の医療費は最も大きくなっています。



H20判定	H21判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
1:正常値	1:正常値	2,292	202,465	298,465	101,273	50%
	2:保健指導値	574	236,622	338,880	105,900	45%
	3:受診勧奨値	252	253,541	459,435	211,715	84%
	4:ハイリスク値	21	195,502	485,659	281,144	144%
	5:未受診等	772	199,193	362,700	169,363	85%
2:保健指導値	1:正常値	553	220,977	343,831	128,814	58%
	2:保健指導値	546	228,456	380,261	150,268	66%
	3:受診勧奨値	357	219,759	396,083	179,528	82%
	4:ハイリスク値	41	197,708	505,718	324,938	164%
	5:未受診等	350	257,643	465,387	201,885	78%
3:受診勧奨値	1:正常値	239	239,755	433,111	194,531	81%
	2:保健指導値	390	213,246	330,512	120,405	56%
	3:受診勧奨値	513	240,560	369,458	130,450	54%
	4:ハイリスク値	109	232,665	390,061	162,925	70%
	5:未受診等	298	257,199	554,359	299,681	117%
4:ハイリスク値	1:正常値	31	271,029	444,655	173,625	64%
	2:保健指導値	48	150,367	289,981	145,457	97%
	3:受診勧奨値	118	345,438	595,118	258,713	75%
	4:ハイリスク値	78	351,343	511,756	168,120	48%

○脂質判定

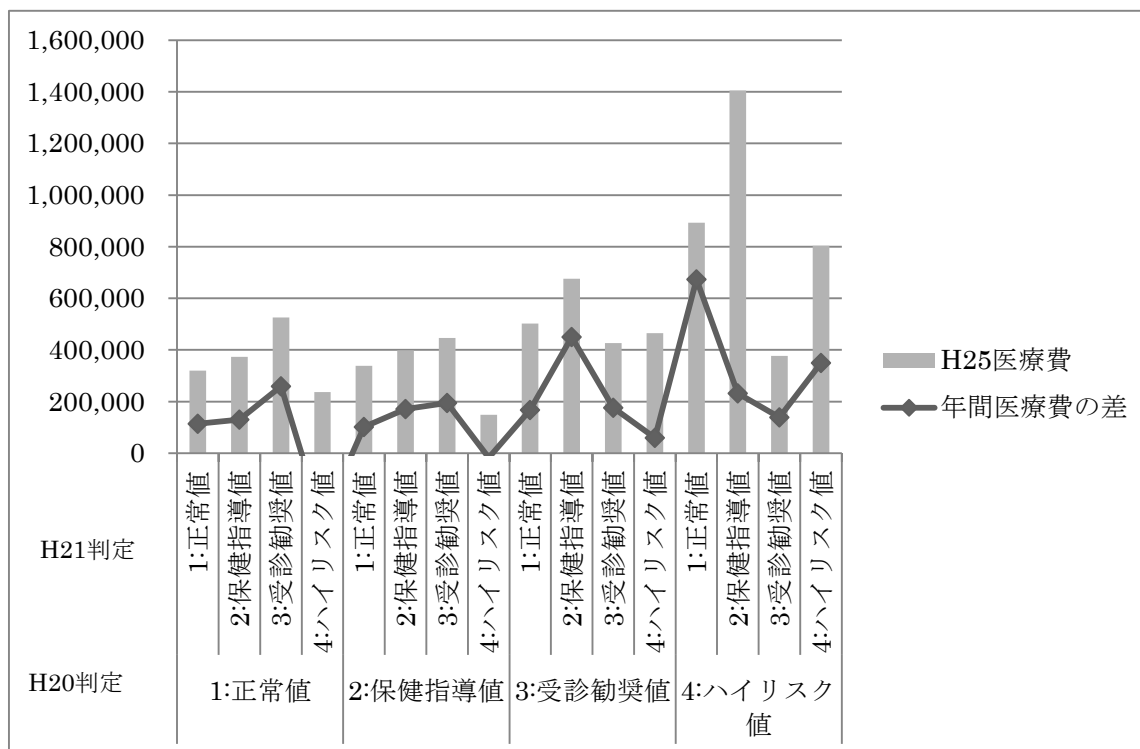
平成 20 年度受診勧奨値かつ平成 21 年度正常値である場合に平成 25 年度の医療費は最も大きくなっています。



H20判定	H21判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
1:正常値	1:正常値	1,426	225,339	347,514	125,451	56%
	2:保健指導値	449	240,992	392,976	159,908	66%
	3:受診勧奨値	95	233,672	326,406	98,609	42%
	4:ハイリスク値	14	241,624	258,249	16,625	7%
	5:未受診等	458	257,626	398,291	142,456	55%
2:保健指導値	1:正常値	514	257,272	352,791	99,225	39%
	2:保健指導値	976	226,072	364,540	142,727	63%
	3:受診勧奨値	478	220,305	388,085	176,350	80%
	4:ハイリスク値	30	383,904	358,388	4,390	1%
	5:未受診等	474	221,030	408,390	182,815	83%
3:受診勧奨値	1:正常値	163	274,605	443,977	149,702	55%
	2:保健指導値	577	194,794	327,432	140,107	72%
	3:受診勧奨値	1,018	197,333	328,754	133,242	68%
	4:ハイリスク値	97	154,820	241,312	84,916	55%
	5:未受診等	491	198,595	487,690	296,633	149%
4:ハイリスク値	1:正常値	34	250,787	221,655	-29,132	-12%
	2:保健指導値	48	193,520	307,773	123,713	64%
	3:受診勧奨値	131	277,456	400,548	135,385	49%
	4:ハイリスク値	112	211,647	297,438	98,978	47%

○肝機能判定

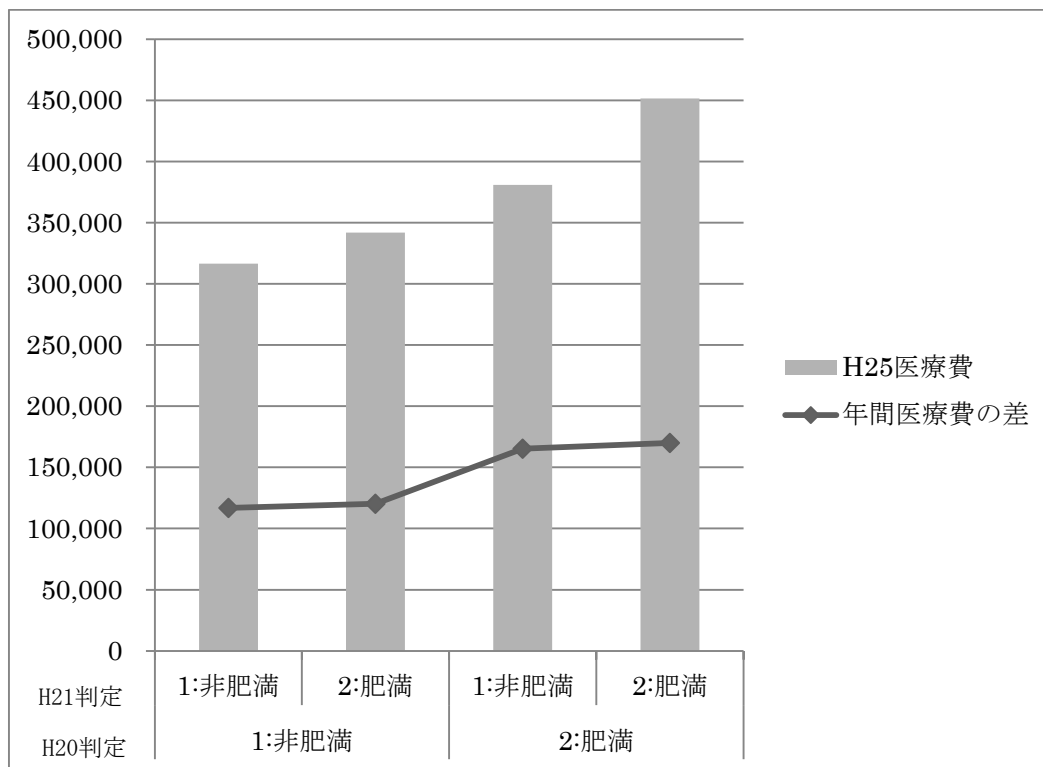
平成 20 年度ハイリスク値かつ平成 21 年度保健指導値である場合に平成 25 年度の医療費は最も大きくなっています。



H20判定	H21判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
1:正常値	1:正常値	4,043	209,181	319,441	114,452	55%
	2:保健指導値	408	249,502	373,314	130,142	52%
	3:受診勧奨値	39	262,278	525,636	259,086	99%
	4:ハイリスク値	5	501,632	236,760	-264,872	-53%
	5:未受診等	1,052	214,840	413,817	200,198	93%
2:保健指導値	1:正常値	453	242,749	338,876	101,305	42%
	2:保健指導値	655	232,833	397,348	170,547	73%
	3:受診勧奨値	122	254,848	445,863	194,432	76%
	4:ハイリスク値	5	165,670	148,250	-17,420	-11%
	5:未受診等	328	225,619	495,888	290,153	129%
3:受診勧奨値	1:正常値	46	335,065	502,140	167,074	50%
	2:保健指導値	118	244,305	676,292	450,371	184%
	3:受診勧奨値	180	230,400	426,828	176,307	77%
	4:ハイリスク値	20	428,411	465,363	59,602	14%
	5:未受診等	117	324,318	386,527	31,702	10%
4:ハイリスク値	1:正常値	4	219,763	892,713	672,950	306%
	2:保健指導値	6	1,173,760	1,405,493	231,733	20%
	3:受診勧奨値	31	244,392	376,629	138,177	57%
	4:ハイリスク値	20	454,183	804,131	349,948	77%

○肥満判定

平成 20 年度ならびに平成 21 年度保健指導値である場合に平成 25 年度の医療費は最も大きくなっています。

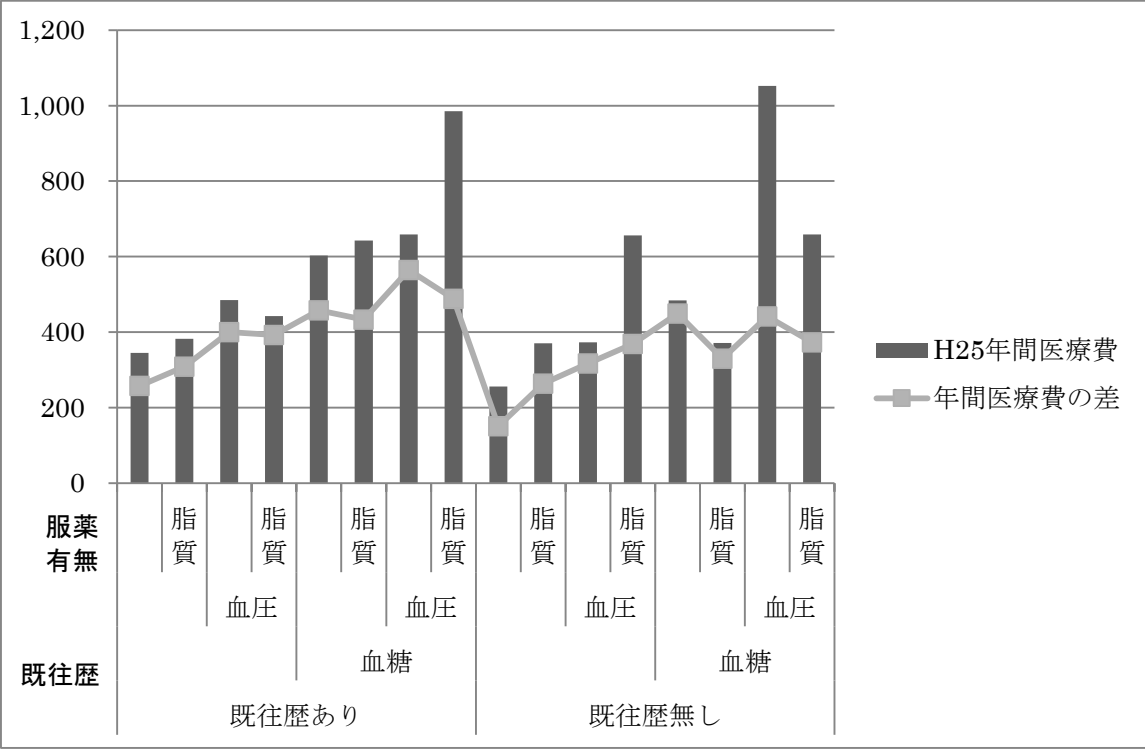


H20判定	H21判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
1:非肥満	1:非肥満	4,110	202,738	316,529	116,788	58%
	2:肥満	185	220,044	341,903	120,192	55%
2:肥満	1:非肥満	590	224,738	380,829	165,178	73%
	2:肥満	1,277	286,904	451,514	170,031	59%

全体では既往歴有（服薬なし）が30%、次いで既往歴有（服薬あり）が29%、既往歴有（血圧の服薬あり）が18%となっています。



医療費では血糖・血圧の服薬あり群の医療費が高くなっています。



				H25年間医療費				年間医療費の差			
既往歴有無	服薬(血糖)	服薬(血圧)	服薬(脂質)	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計
H20	H20	H20	H20								
あり	なし	なし	なし	224	1,390	0	345	199	308	339	257
			あり	292	1,257	0	382	268	270	377	308
		あり	なし	306	1,729	0	485	302	470	502	400
			あり	296	1,560	0	443	307	320	485	392
	あり	なし	なし	381	1,920	0	603	295	325	664	458
			あり	401	1,449	0	643	326	370	573	433
		あり	なし	357	1,788	0	659	339	708	716	565
			あり	395	2,678	0	985	395	671	512	489
なし	なし	なし	なし	160	1,381	0	256	129	202	187	151
			あり	227	1,525	0	371	206	291	327	264
		あり	なし	251	1,388	0	373	244	252	432	317
			あり	273	2,572	0	656	244	305	506	368
	あり	なし	なし	435	1,046	0	484	377	90	1,043	449
			あり	370	379	0	371	290	353	400	330
		あり	なし	633	2,728	0	1,052	254	1,541	348	442
			あり	342	1,165	0	659	327	449	369	373

既往歴の記載内容について既往歴のコメントの中での出現数を計算し、対象者の多い既往歴について人数と医療費を分析しました。

人数では高血圧症・高脂血症・糖尿病が上位ですが、年間医療費の差では大腸ポリープ、心臓病、肺炎の既往等の方の医療費は高くなっています。

医療費区分 既往歴明細	人数				年間医療費の差(千円)				医療費の変化率				H25医療費			
	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計	1:外来のみ	2:入院あり	レセプトなし	合計
高血圧症	1,412	197	1,266	2,875	19	1,304		175	6%	259%		44%	310	1,796		492
高脂血症	971	116	686	1,773	21	954		82	8%	273%		25%	272	1,560		409
糖尿病	407	80	366	853	36	1,161		173	11%	180%		37%	353	1,714		577
胃・十二指腸潰瘍	360	44	264	668	-27	983		67	-10%	191%		21%	253	1,654		405
心臓病	218	46	269	533	60	1,493		307	19%	362%		65%	347	1,986		633
がん	222	27	210	459	-72	819		7	-19%	146%		1%	306	1,789		467
その他	202	27	152	381	69	1,336		216	29%	245%		68%	293	2,024		498
肝臓病	131	30	127	288	-38	1,104		154	-14%	240%		39%	243	1,747		523
結核	106	8	96	210	154	1,397		267	62%	548%		88%	357	1,494		437
脳卒中	80	17	99	196	84	975		220	25%	276%		45%	317	1,070		449
腎臓病	86	16	74	176	34	1,755		178	11%	92%		27%	402	3,858		944
貧血	97	6	71	174	13	2,924		155	8%	306%		60%	195	3,795		405
子宮筋腫	105	11	57	173	54	955		135	36%	398%		46%	183	1,382		296
虫垂炎	70	14	56	140	38	1,077		269	16%	660%		88%	317	1,125		451
大腸ポリープ	53	15	40	108	107	1,169		319	33%	246%		88%	279	993		437
胆石	46	2	27	75	-0			-0	0%			0%	208	483		219
血尿	43	1	30	74	-90			-90	-38%			-38%	227	1,138		247
痛風	37	8	26	71	-15	121		12	-6%	62%		5%	291	626		351
肺炎	31	6	14	51	37	1,270		305	13%	1001%		111%	260	1,429		450

(オ) メタボリックシンドローム基準と医療費の推移

メタボリックシンドローム該当者の医療費の推移を調査しました。

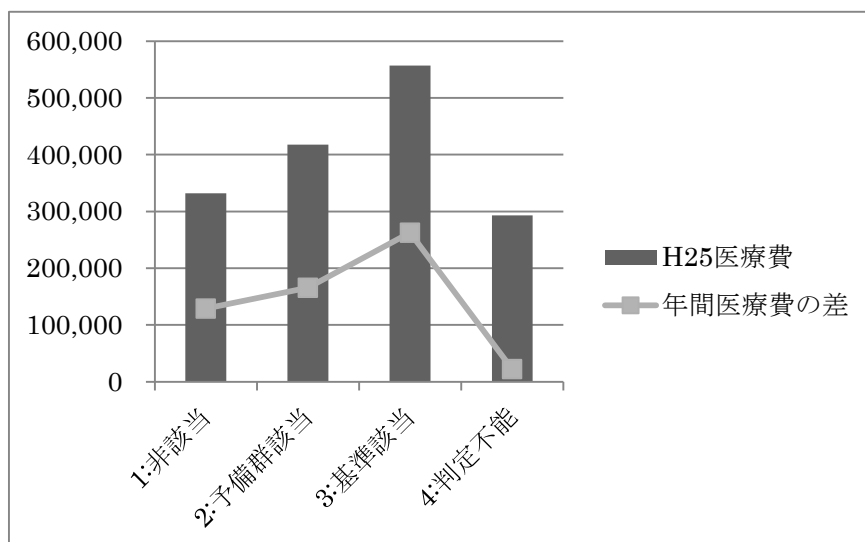
メタボリックシンドローム対象者については参考2「メタボリックシンドローム判定基準」で分類されます。

参考2：メタボリックシンドロームの判定基準

必須項目	(内臓脂肪蓄積)		男性 ≥ 85cm
	ウエスト周囲径*		女性 ≥ 90cm
選択項目 3項目のうち2項目以上	1	TG	≥ 150mg/dL
		または	
		HDL コレステロール	< 40mg/dL
	2	収縮期血圧	≥ 130mmHg
		または	
		拡張期血圧	≥ 85mmHg
	3	空腹時血糖	≥ 110mg/dL
		空腹時血糖の値が適切に得られない場合は以下	
		HbA1c (NGSP)	≥ 6.0
		HbA1c (JDS)	≥ 5.5

○医療費の推移

メタボリックシンドロームの基準該当者の医療費は他と比べても高くなっています。

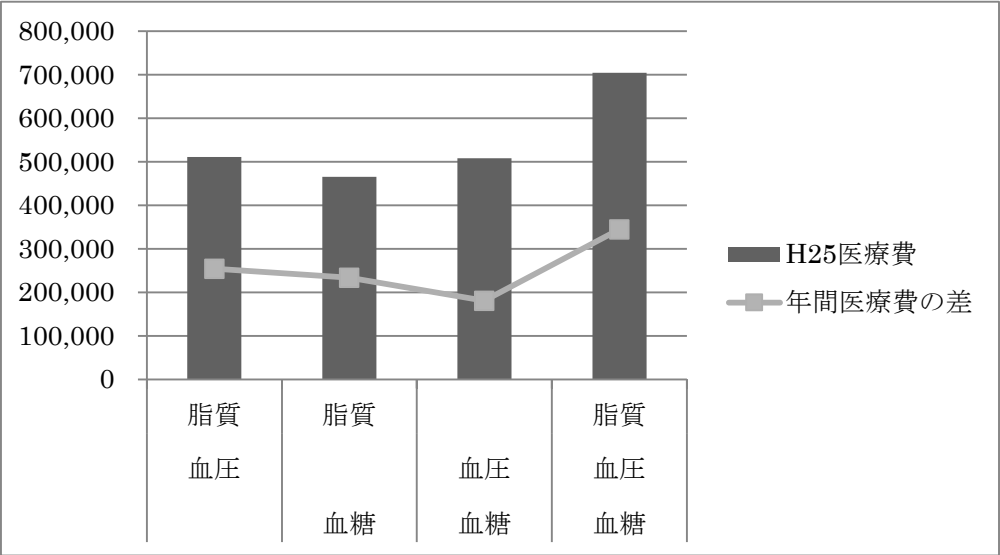


H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
1:非該当	5,876	206,399	332,274	129,188	63%
2:予備群該当	786	260,589	417,968	165,546	64%
3:基準該当	925	298,878	556,902	262,719	88%
4:判定不能	102	234,122	293,317	22,481	10%
合計	7,689	223,556	367,813	147,883	66%

○平成 20 年度のメタボ区分と平成 25 年度の人数推移

人数						
H25判定 H20判定	1:非該当	2:予備群 該当	3:基準該当	4:判定不能	レセプトなし	合計
1:非該当	3,974	200	227	107	4,536	9,044
2:予備群該当	215	194	146	40	689	1,284
3:基準該当	153	77	425	10	994	1,659
4:判定不能	45	0	1	35	69	150
合計	4,387	471	799	192	6,288	12,137
割合						
H25判定 H20判定	1:非該当	2:予備群 該当	3:基準該当	4:判定不能	レセプトなし	合計
1:非該当	43.9%	2.2%	2.5%	1.2%	50.2%	100%
2:予備群該当	16.7%	15.1%	11.4%	3.1%	53.7%	100%
3:基準該当	9.2%	4.6%	25.6%	0.6%	59.9%	100%
4:判定不能	30.0%	0.0%	0.7%	23.3%	46.0%	100%
合計	36.1%	3.9%	6.6%	1.6%	51.8%	100%

なお、メタボ該当者のなかでメタボ該当項目の内訳別の比較は以下になります。
 メタボリックシンドロームの構成要素である血圧血糖脂質のリスクをすべてもっている方が最も医療費が高くなります。



血糖リスク	血圧リスク	脂質リスク	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率	構成割合(%)
なし	あり	あり	464	259,692	511,415	254,269	98%	50%
あり	なし	あり	56	239,196	465,845	234,240	98%	6%
あり	あり	なし	172	334,770	508,118	181,026	54%	19%
あり	あり	あり	233	362,125	704,406	345,103	95%	25%
合計			925	298,878	556,902	262,719	88%	100%

○平成 20 年度のメタボ区分と平成 25 年度の人数推移

H20判定			人数					
血糖リスク	血圧リスク	脂質リスク	1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	レセプトなし	合計
なし	あり	あり	89	42	196	4	133	464
あり	なし	あり	20	19	86	3	44	172
あり	あり	なし	14	5	21	1	15	56
あり	あり	あり	30	11	122	2	68	233
合計			153	77	425	10	260	925
			割合					
血糖リスク	血圧リスク	脂質リスク	1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	レセプトなし	合計
なし	あり	あり	19%	9%	42%	1%	29%	100%
あり	なし	あり	12%	11%	50%	2%	26%	100%
あり	あり	なし	25%	9%	38%	2%	27%	100%
あり	あり	あり	13%	5%	52%	1%	29%	100%
合計			17%	8%	46%	1%	28%	100%

○対象者の性年代別の内訳は以下

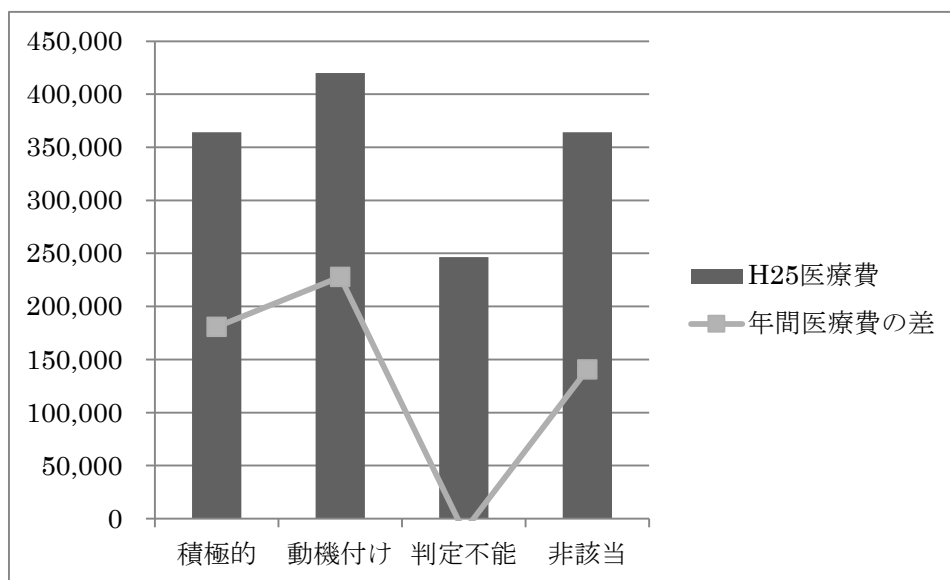
H20判定	H20年度末年齢	人数					割合				
		1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	合計	1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	合計
男	40-44	81	18	19	0	118	68.6%	15.3%	16.1%	0.0%	100%
	45-49	83	20	20	0	123	67.5%	16.3%	16.3%	0.0%	100%
	50-54	68	19	24	0	111	61.3%	17.1%	21.6%	0.0%	100%
	55-59	153	32	53	1	239	64.0%	13.4%	22.2%	0.4%	100%
	60-64	381	116	154	3	654	58.3%	17.7%	23.5%	0.5%	100%
	65-69	904	258	328	7	1,497	60.4%	17.2%	21.9%	0.5%	100%
女	70-	179	47	51	1	278	64.4%	16.9%	18.3%	0.4%	100%
	40-44	113	7	1	2	123	91.9%	5.7%	0.8%	1.6%	100%
	45-49	123	2	2	7	134	91.8%	1.5%	1.5%	5.2%	100%
	50-54	185	5	7	5	202	91.6%	2.5%	3.5%	2.5%	100%
	55-59	459	30	24	7	520	88.3%	5.8%	4.6%	1.3%	100%
	60-64	1,164	77	83	20	1,344	86.6%	5.7%	6.2%	1.5%	100%
	65-69	1,729	128	134	42	2,033	85.0%	6.3%	6.6%	2.1%	100%
	70-	254	27	25	7	313	81.2%	8.6%	8.0%	2.2%	100%

H20判定	H20年度末年齢	年間医療費の差					医療費の変化率				
		1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	合計	1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	合計
男	40-44	77,609	-742,319	-3,791	-	-68,368	38%	-86%	-1%	-	-22%
	45-49	154,643	128,948	387,153	-	189,520	64%	130%	108%	-	81%
	50-54	182,165	12,437	-41,170	-	95,449	129%	7%	-9%	-	43%
	55-59	136,663	167,292	186,132	65,890	152,073	70%	71%	105%	180%	77%
	60-64	115,968	242,513	192,319	-11,835	156,155	53%	94%	69%	-17%	65%
	65-69	202,822	212,222	411,908	-54,984	249,242	88%	75%	137%	-20%	97%
女	70-	72,245	397,199	26,613	1,068,430	124,389	27%	159%	8%	496%	46%
	40-44	77,904	6,234	-30,300	-4,150	71,232	49%	4%	-25%	-6%	46%
	45-49	23,918	-20,502	1,976	-2,420	21,219	15%	-7%	1%	-2%	13%
	50-54	127,950	28,551	400,521	-38,618	132,454	84%	17%	174%	-25%	85%
	55-59	114,851	167,642	184,306	16,838	120,983	64%	82%	48%	13%	62%
	60-64	143,530	122,610	258,222	27,731	147,640	64%	46%	88%	7%	63%
	65-69	143,530	122,610	258,222	27,731	147,640	64%	46%	88%	7%	63%
	70-	35,521	32,662	802	35,820	32,488	15%	15%	0%	33%	14%

H20判定	H20年度末年齢	H25医療費					H20医療費				
		1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	合計	1:非該当	2:予備群該当	3:基準該当	4:判定不能	合計
男	40-44	260,730	121,163	521,910	0	281,578	203,122	864,766	308,999	0	314,989
	45-49	359,974	230,370	676,941	0	392,828	240,011	99,033	357,029	0	233,527
	50-54	294,130	191,051	406,033	0	300,990	141,584	178,614	447,203	0	219,627
	55-59	320,217	326,572	362,919	102,520	329,795	196,365	236,048	176,787	36,630	196,244
	60-64	333,624	486,840	466,284	1,483,097	397,756	219,215	258,944	280,532	68,015	240,364
	65-69	429,021	495,409	696,682	224,693	498,532	231,236	284,850	300,092	279,677	255,817
女	70-	336,786	647,784	329,911	1,283,760	391,907	264,681	250,585	313,625	215,330	270,723
	40-44	231,268	154,711	91,150	70,740	222,959	157,412	148,477	121,450	74,890	155,179
	45-49	210,627	252,535	361,872	83,207	206,768	188,340	148,535	127,490	71,409	180,495
	50-54	179,775	265,544	210,096	102,348	181,045	162,529	286,046	208,120	104,768	165,939
	55-59	272,166	190,254	618,495	115,416	281,439	151,915	164,383	230,336	154,033	156,284
	60-64	299,328	368,744	569,420	149,281	318,031	180,201	203,721	385,115	131,048	193,839
	65-69	363,023	382,601	552,085	388,747	377,312	222,607	265,073	293,864	377,451	233,271
	70-	273,352	245,503	280,160	144,184	268,590	237,202	220,293	279,358	108,364	236,277

(カ) 保健指導レベルと医療費の推移

保健指導レベルの場合でも動機付け支援の群の医療費が高くなっています。非該当者には服薬者等も含まれるため注意が必要です。



H20判定	人数	H20医療費	H25医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
積極的	253	181,180	364,222	180,652	100%
動機付け	678	204,995	420,054	227,863	111%
判定不能	84	211,514	246,616	-12,055	-6%
非該当	6,674	227,071	364,158	140,730	62%
合計	7,689	223,556	367,813	147,883	66%

○平成 20 年度の保健指導レベルと平成 25 年度の人数推移

H25判定 H20判定	人数					割合				
	積極的	動機付け	判定不能	非該当	未受診等	合計	積極的	動機付け	判定不能	非該当
積極的	31	43	3	97	150	20.7%	28.7%	2.0%	64.7%	100%
動機付け	4	135	18	326	646	0.6%	20.9%	2.8%	50.5%	100%
判定不能	0	0	23	43	53	0.0%	0.0%	43.4%	81.1%	100%
非該当	25	161	60	4,880	5,439	0.5%	3.0%	1.1%	89.7%	100%
合計	60	339	104	5,346	6,288	1.0%	5.4%	1.7%	85.0%	100%

○性年代別内訳は以下

H20判定	H20年度末年齢	人数					割合				
		積極的	動機付け	判定不能	非該当	合計	積極的	動機付け	判定不能	非該当	合計
男	40-44	24	5	0	89	118	20.3%	4.2%	0.0%	75.4%	100%
	45-49	22	14	0	87	123	17.9%	11.4%	0.0%	70.7%	100%
	50-54	18	11	0	82	111	16.2%	9.9%	0.0%	73.9%	100%
	55-59	42	16	1	180	239	17.6%	6.7%	0.4%	75.3%	100%
	60-64	93	47	2	512	654	14.2%	7.2%	0.3%	78.3%	100%
	65-69	0	265	5	1,227	1,497	0.0%	17.7%	0.3%	82.0%	100%
	70-	0	43	1	234	278	0.0%	15.5%	0.4%	84.2%	100%
女	40-44	3	9	2	109	123	2.4%	7.3%	1.6%	88.6%	100%
	45-49	2	7	7	118	134	1.5%	5.2%	5.2%	88.1%	100%
	50-54	5	6	4	187	202	2.5%	3.0%	2.0%	92.6%	100%
	55-59	13	17	6	484	520	2.5%	3.3%	1.2%	93.1%	100%
	60-64	31	62	19	1,232	1,344	2.3%	4.6%	1.4%	91.7%	100%
	65-69	0	153	32	1,848	2,033	0.0%	7.5%	1.6%	90.9%	100%
	70-	0	23	5	285	313	0.0%	7.3%	1.6%	91.1%	100%

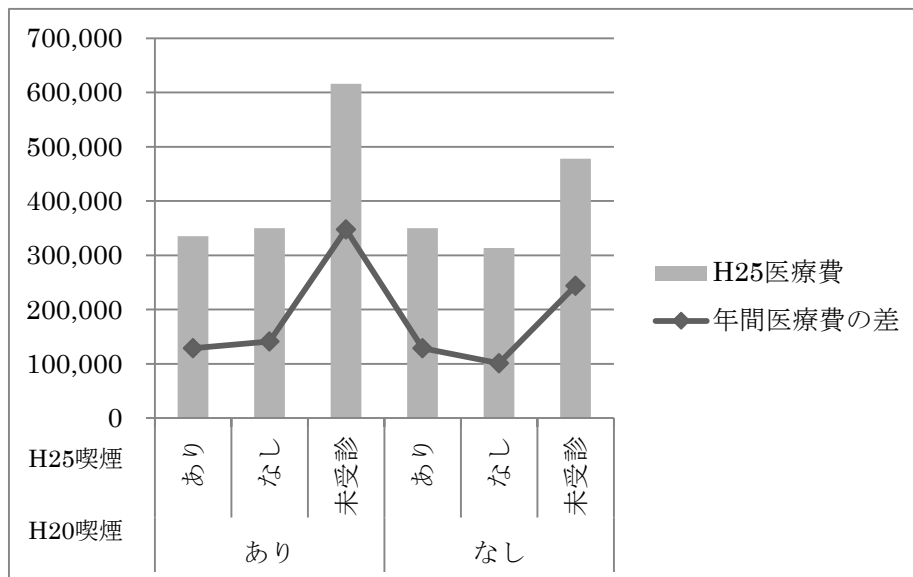
H20判定	H20年度末年齢	年間医療費の差					医療費の変化率				
		積極的	動機付け	判定不能	非該当	合計	積極的	動機付け	判定不能	非該当	合計
男	40-44	-34	345,840	-	-108,002	-68,368	0%	466%	-	-32%	-22%
	45-49	31	218,308	-	222,440	189,520	0%	176%	-	80%	81%
	50-54	20	35,154	-	122,977	95,449	0%	31%	-	49%	43%
	55-59	126	75,905	65,890	164,121	152,073	0%	36%	180%	77%	77%
	60-64	292	285,798	-12,720	121,717	156,155	0%	186%	-47%	48%	65%
	65-69	-	304,141	41,490	238,617	249,242	-	128%	60%	92%	97%
	70-	-	223,099	1,068,430	103,024	124,389	-	101%	496%	37%	46%
女	40-44	-19,133	463,249	-4,150	40,778	71,232	-11%	278%	-6%	26%	46%
	45-49	234,382	102,877	11,799	18,995	26,554	184%	73%	17%	10%	15%
	50-54	137,176	23,242	-11,960	18,565	21,219	337%	26%	-16%	11%	13%
	55-59	22,159	406,955	20,071	127,617	132,454	12%	331%	22%	81%	85%
	60-64	321,680	71,904	-21,843	120,398	120,983	153%	46%	-16%	61%	62%
	65-69	-	197,171	-65,933	147,125	147,640	-	92%	-17%	63%	63%
	70-	-	-102,277	-15,794	43,818	32,488	-	-44%	-13%	18%	14%

H20判定	H20年度末年齢	H25医療費					H20医療費				
		積極的	動機付け	判定不能	非該当	合計	積極的	動機付け	判定不能	非該当	合計
男	40-44	399,067	419,978	0	237,497	281,578	277,795	74,138	0	338,665	314,989
	45-49	146,789	310,959	0	465,054	392,828	120,100	123,757	0	277,481	233,527
	50-54	169,959	158,353	0	349,515	300,990	149,596	112,497	0	252,586	219,627
	55-59	248,549	141,939	102,520	365,566	329,795	127,649	208,682	36,630	212,467	196,244
	60-64	477,715	424,246	2,175,750	373,941	397,756	207,482	153,343	27,290	254,372	240,364
	65-69	0	526,550	111,170	494,068	498,532	0	236,984	69,680	260,528	255,817
	70-	0	423,985	1,283,760	382,117	391,907	0	220,335	215,330	279,727	270,723
女	40-44	150,700	630,058	70,740	193,311	222,959	169,833	166,809	74,890	155,294	155,179
	45-49	361,872	243,067	83,207	209,382	206,768	127,490	140,190	71,409	190,598	180,495
	50-54	177,904	111,627	62,520	185,944	181,045	40,728	88,385	74,480	174,266	165,939
	55-59	197,700	474,981	112,868	278,944	281,439	180,713	122,866	92,797	157,598	156,284
	60-64	537,568	228,095	117,558	320,157	318,031	209,725	156,063	135,780	196,157	193,839
	65-69	0	410,651	308,407	375,756	377,312	0	213,597	390,898	232,272	233,271
	70-	0	127,200	107,838	282,871	268,590	0	232,907	123,632	238,521	236,277

(キ) 喫煙の有無と医療費の推移

平成 20 年度での喫煙の有無と平成 25 年度での医療費の関係性を把握します。

喫煙の有無ではあまり大きな違いは見られません。



H20喫煙	H25喫煙	人数	H25医療費	H20医療費	年間医療費の差	医療費の変化率
あり	あり	776	335,102	209,453	128,769	38%
	なし	507	349,971	215,997	141,203	40%
	未受診	464	615,923	283,463	347,650	56%
なし	あり	237	350,210	226,285	128,716	37%
	なし	4,328	313,474	214,427	101,174	32%
	未受診	1,373	477,834	242,074	243,494	51%

(参考) 未治療者(治療中断者)について

平成 25 年度に各検査項目値で「4 : ハイリスク値」となっているにもかかわらず、医療機関に訪問していない(医療費が 0 円)の方は以下になります。

ただし、医療費がある方の中でも実際には風邪や花粉症など生活習慣病以外での受診である可能性もあるため実態はこれ以上いることに注意が必要です。

	平成 25 年度 ハイリスク 該当者数	うち受診 あり	受診無し	未受診率
糖尿病判定	758	735	23	3.0%
血圧判定	559	527	32	5.7%
脂質判定	713	672	41	5.8%
肝機能判定	133	126	7	5.3%

また未受診者のうちハイリスク該当項目は以下

対象者	1 項目 該当	2 項目 該当
93	83	10

対象者	うち糖尿	うち血圧	うち脂質	うち肝機能
93	23	32	41	7

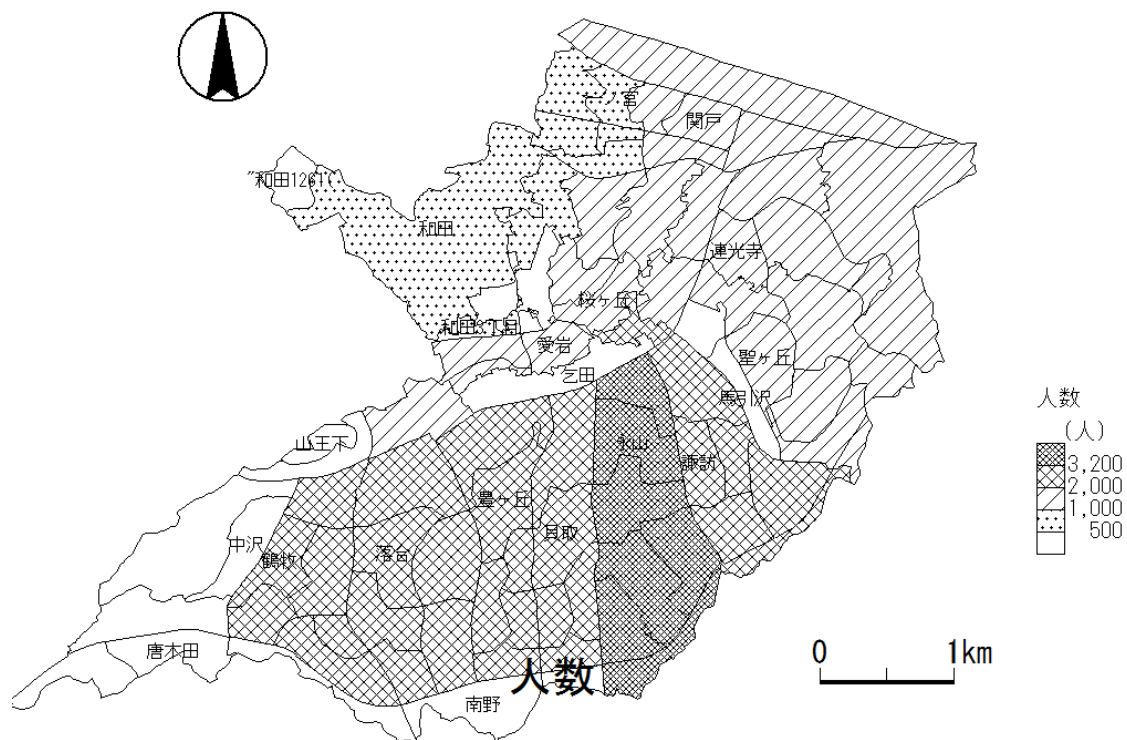
4. 医療圏の分析

(ア) 受診地域別医療費状況

平成 25 年度の医科のレセプト住所地ごとに人数と 1 人当たり医療費を算出しました。

○住所地ごとの基礎数値

人数の分布では 32:永山, 35:落合, 34:豊ヶ丘の順で多くなっています。



○性年代別の内訳は以下になります

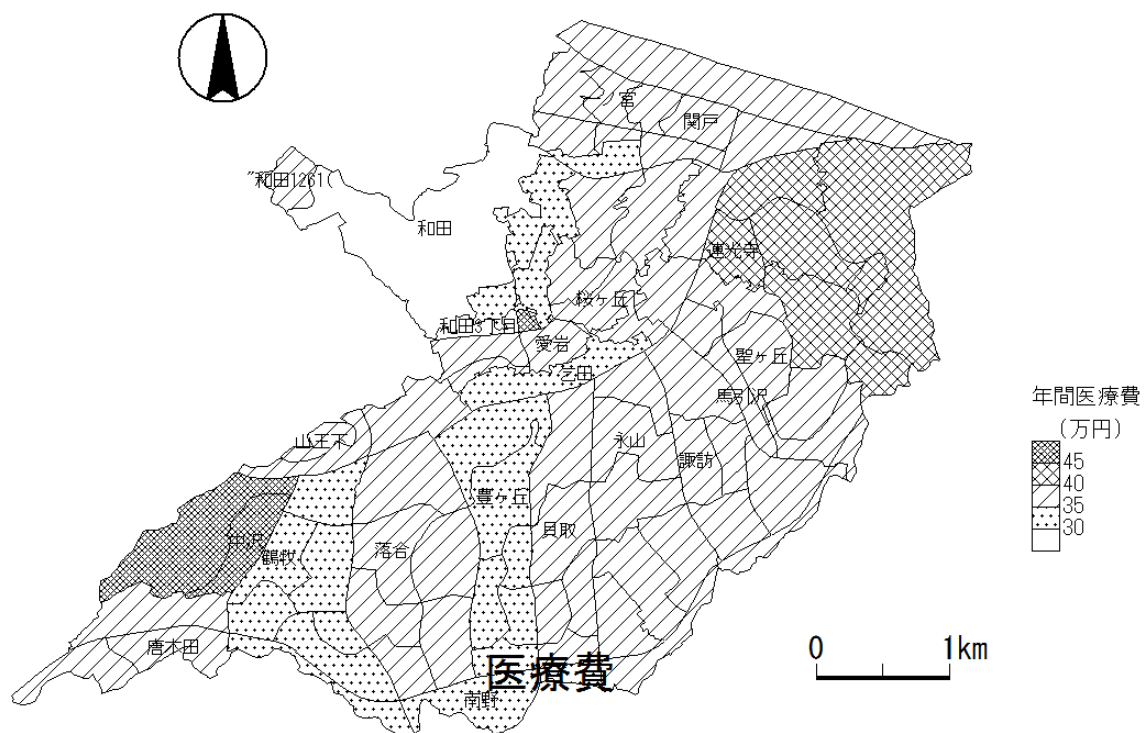
個住所コード	1:関戸	2:連光寺	3:貝取	4:乞田	6:和田	7:百草	8:落川	9:東寺方	10:一ノ宮	11:桜ヶ丘	12:和田 1261(百 草団地)	13:聖ヶ丘	14:馬引 沢	15:山王 下
男:40	78	82	5	23	79	5	14	22	71	28	23	49	29	4
男:45	60	72	7	14	61	6	7	14	37	36	8	31	23	2
男:50	55	48	6	15	58	3	10	21	29	33	2	33	27	4
男:55	53	40	4	17	49	7	3	11	34	39	10	30	22	1
男:60	122	98	10	31	78	13	20	43	70	84	35	123	33	2
男:65	154	159	7	18	105	14	18	68	111	124	50	234	34	7
男:70	141	156	11	20	123	20	26	57	94	147	73	222	33	4
男:75	3	4	-	-	4	-	-	1	4	2	5	6	-	-
女:40	82	77	7	18	69	3	9	19	43	46	17	55	35	7
女:45	62	58	5	11	56	3	11	15	44	35	11	42	23	3
女:50	71	41	4	14	51	7	10	12	34	31	13	38	26	3
女:55	80	64	-	15	71	8	3	20	44	70	13	67	16	2
女:60	189	139	12	32	111	17	14	62	90	149	50	210	37	6
女:65	203	180	13	34	130	22	39	78	120	174	74	288	35	8
女:70	198	187	12	32	152	25	36	64	128	187	102	221	32	12
女:75	8	4	-	1	5	-	2	1	2	5	1	4	1	-
合計	1,559	1,409	103	295	1,202	153	222	508	955	1,190	487	1,653	406	65

個住所コード	16:中沢	17:唐木田	31:諏訪	32:永山	33:貝取	34:豊ヶ丘	35:落合	36:鶴牧	37:南野	38:東寺 方3丁目	39:和田3 丁目	40:愛宕	99:その他
男:40	14	15	89	140	87	75	100	77	27	3	16	40	56
男:45	15	16	66	80	45	66	67	39	8	-	9	39	29
男:50	11	9	56	78	44	55	56	30	10	-	7	30	23
男:55	17	18	66	77	36	46	67	35	14	3	8	31	33
男:60	42	38	147	219	151	204	219	143	23	9	22	95	48
男:65	45	61	256	428	337	314	367	279	36	14	45	157	44
男:70	31	34	355	485	285	353	402	266	27	14	58	176	52
男:75	-	2	4	7	4	5	4	3	-	-	1	4	-
女:40	24	13	103	143	79	111	113	85	13	8	16	63	55
女:45	15	12	82	84	48	73	66	61	21	7	10	44	36
女:50	19	10	68	78	48	52	86	60	9	5	14	29	26
女:55	22	23	87	110	95	118	117	87	13	3	9	55	26
女:60	44	57	247	335	272	287	388	264	28	11	25	140	51
女:65	47	50	379	541	361	408	465	322	38	24	76	211	56
女:70	30	38	414	549	298	366	363	256	35	25	70	265	52
女:75	-	-	9	12	4	8	8	5	1	1	-	11	-
合計	376	396	2,428	3,366	2,194	2,541	2,888	2,012	303	127	386	1,390	587

○対象者の受診者1人当たり医療費の性年代別分布

受診者1人当たり医療費は高い順に 16:中沢 76 万円, 38:東寺方 3 丁目 50 万円、2:連光寺 44 万円となっています。

中沢は 60 歳以下で高額となる対象者がいるため高くなっています。東寺方 3 丁目、連光寺などは 65 歳以上の方で高額な医療費が発生しており状況が異なります。



○性年代別の医療費の内訳は以下になります。

年間医療費(万円)														
個住所コード	1:関戸	2:連光寺	3:貝取	4:乞田	6:和田	7:百草	8:落川	9:東寺方	10:一ノ宮	11:桜ヶ丘	12:和田1261(百草団地)	13:聖ヶ丘	14:馬引沢	15:山王下
女:40	21.2	13.9	66.3	9.0	15.2	4.2	8.0	25.4	16.3	25.6	8.8	10.1	10.6	15.3
女:45	24.1	28.6	37.5	5.6	15.0	4.2	11.9	27.0	19.7	14.0	13.9	23.0	24.2	24.2
女:50	33.3	12.0	20.8	11.9	28.0	10.1	13.1	23.5	46.9	34.1	42.2	37.3	30.7	38.0
女:55	32.0	37.6	-	20.2	28.1	22.0	19.0	9.7	20.8	21.7	41.0	21.2	27.3	22.2
女:60	23.7	34.9	35.1	15.2	31.8	40.4	21.5	21.3	40.8	24.7	23.0	23.4	47.2	70.5
女:65	32.1	53.2	16.0	29.0	31.7	23.7	30.3	24.8	29.3	38.4	37.0	33.0	25.3	10.7
女:70	54.1	54.2	60.4	49.9	35.8	38.9	76.2	58.4	32.4	42.0	38.3	37.2	81.6	53.8
女:75	3.3	3.6	-	9.9	10.4	-	6.6	1.0	1.3	10.4	0.4	2.3	1.6	-
男:40	10.8	16.9	13.5	3.8	14.1	78.7	6.2	16.1	14.1	11.3	33.6	43.4	15.3	4.8
男:45	16.6	19.1	2.2	8.5	19.9	10.8	7.0	27.5	14.5	20.1	10.7	27.2	19.2	5.6
男:50	68.9	26.5	11.5	113.1	42.6	17.0	33.6	9.1	74.8	70.7	5.8	31.3	20.0	9.5
男:55	38.5	41.0	11.7	13.9	13.5	16.4	22.9	68.9	84.0	41.8	14.1	82.9	28.6	3.9
男:60	48.6	39.9	59.8	13.0	55.2	20.2	29.4	29.8	31.5	76.9	35.3	39.5	91.5	20.2
男:65	35.3	62.3	46.2	49.1	38.6	34.6	26.8	34.3	47.3	35.3	41.6	39.6	46.7	118.2
男:70	72.1	79.8	35.6	126.1	49.2	45.5	34.5	47.8	55.4	60.9	58.7	52.7	39.2	31.0
男:75	5.3	4.0	-	-	3.7	-	-	2.6	7.8	2.3	3.5	2.8	-	-
合計	37.9	44.1	35.0	33.0	31.9	30.9	32.2	32.3	36.3	39.7	36.6	35.9	37.8	39.3

年間医療費(万円)														
個住所コード	16:中沢	17:唐木田	31:諏訪	32:永山	33:貝取	34:豊ヶ丘	35:落合	36:鶴牧	37:南野	38:東寺方3丁目	39:和田3丁目	40:愛宕	99:その他	
女:40	132.5	16.3	23.4	17.6	26.5	18.2	23.4	12.2	11.6	37.9	69.1	28.4	8.1	
女:45	45.9	14.8	22.0	15.4	13.7	26.8	25.7	20.5	16.6	4.6	7.8	10.9	7.4	
女:50	196.9	17.3	21.1	35.3	51.8	13.2	18.2	13.4	136.3	11.1	18.7	14.7	26.9	
女:55	134.0	20.8	17.3	26.6	13.0	32.7	20.9	15.7	11.9	104.4	21.1	25.1	61.2	
女:60	50.8	19.6	24.2	24.3	29.6	18.6	26.2	22.3	21.5	42.4	12.8	38.3	14.4	
女:65	24.3	83.6	28.3	35.3	36.0	35.2	32.6	24.3	25.6	32.6	38.2	27.7	19.7	
女:70	26.9	47.4	49.5	41.5	46.2	41.5	45.0	39.4	44.3	75.1	35.2	37.9	34.7	
女:75	-	-	6.2	4.8	2.0	5.1	5.5	3.1	0.7	18.6	-	5.0	-	
男:40	195.2	17.8	17.5	27.9	40.0	16.1	13.6	22.4	7.8	8.4	7.7	41.4	19.5	
男:45	221.4	11.7	33.6	25.6	12.2	15.1	34.9	26.2	6.4	-	11.7	18.6	28.7	
男:50	80.6	13.3	64.2	27.3	48.2	36.0	36.4	23.7	8.7	-	17.4	28.4	19.5	
男:55	132.9	18.6	17.3	47.0	54.7	22.7	40.5	93.8	15.0	6.1	13.4	13.2	42.4	
男:60	46.9	20.1	33.3	38.0	38.2	32.5	33.4	26.9	15.2	17.2	43.5	41.4	13.5	
男:65	24.2	55.8	36.0	38.6	46.2	30.5	50.7	43.7	51.7	137.7	56.6	48.5	19.7	
男:70	51.5	37.5	56.0	58.9	58.9	50.9	58.4	56.7	52.4	31.7	59.0	56.2	34.6	
男:75	-	9.3	6.1	2.8	5.6	3.3	2.3	3.9	-	-	2.7	5.1	-	
合計	76.1	36.6	35.8	37.0	39.9	32.6	37.4	32.9	30.3	50.5	38.1	36.3	23.4	

(イ) 1次医療圏完結率の分析

1次医療圏内、2次医療圏(南多摩)、での医療需要の完結率を入院・外来ごとに分析しました。

○外来(調剤除く)

全体では75.3%が多摩市内で受療されていますが、それ以外に南多摩で7.7%、それ以外で14%となっています。

外来のうち多摩市以外で上位となるのは大学病院や総合病院等の急性期医療を担う病院が多く該当しています。入院等で一度受診をした後も定期的に通院している方がいると想定されます。

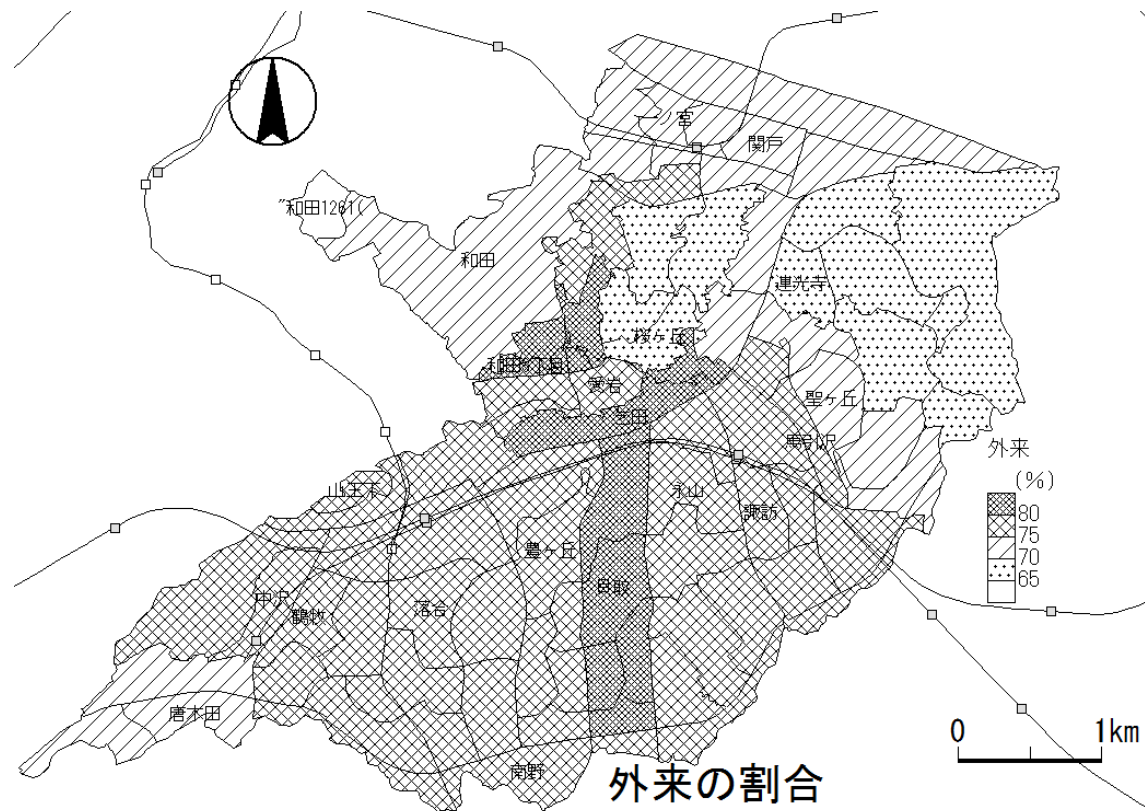
地域別では連光寺、桜ヶ丘、和田 1261(百草団地)などが低くなっています。百草団地に関しては、日野市での受診割合が多摩市と同数となっています。これは多摩市・日野市にまたがる団地の特性によるところも大きいと思われます。

○入院

入院では47.7%と外来に比べ少なくなっています。それ以外に南多摩医療圏(八王子・町田・日野)で18.1%となり、2次医療圏外・もしくは神奈川県等へも一定数の入院が発生しています。

地域別では関戸、一ノ宮、唐木田等市境で割合が少なくなっています。また、多摩市中心部も低いため、悪性新生物(がん)等緊急性を要さない疾患での入院の場合には公共交通機関を利用し、新宿区や渋谷区をはじめその他大学病院等専門病院へ向かっている方がいるためと思われます。

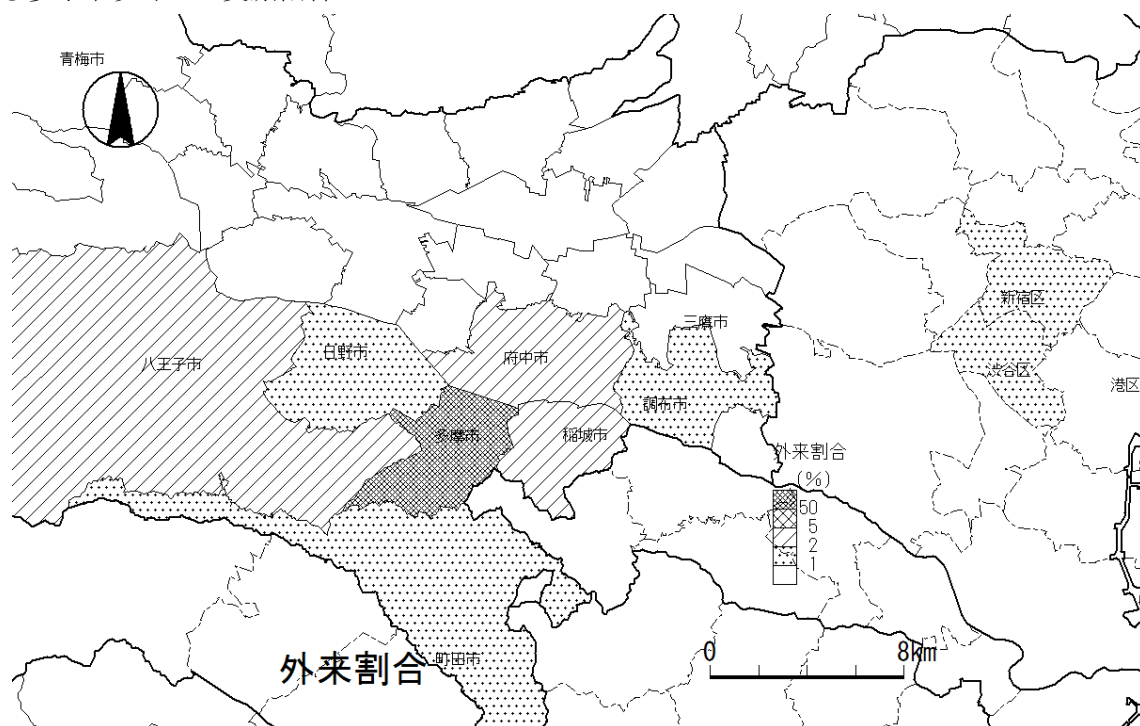
○外来(住所地ごとの多摩市内での診療割合)



	平均 年齢	件数					件数割合					人数				
医療圏	合計	合計	1.多摩市	2.南多摩	3.その他	4.他府県	合計	1.多摩市	2.南多摩	3.その他	4.他府県	合計	1.多摩市	2.南多摩	3.その他	4.他府県
全体	63.5	338,298	254,608	26,084	47,300	10,306	100%	75.3%	7.7%	14.0%	3.0%	29,043	26,312	5,886	8,612	2,446
1.関戸	61.9	17,758	12,402	1,138	3,796	422	100%	69.8%	6.4%	21.4%	2.4%	1,551	1,392	241	618	91
2.連光寺	62.0	14,725	10,188	1,559	2,581	397	100%	69.2%	10.6%	17.5%	2.7%	1,385	1,216	332	493	92
3.貝取	61.0	1,216	963	55	151	47	100%	79.2%	4.5%	12.4%	3.9%	102	91	11	29	8
4.乞田	60.1	2,860	2,315	177	317	51	100%	80.9%	6.2%	11.1%	1.8%	293	260	50	77	16
6.和田	61.0	12,894	9,328	1,564	1,671	331	100%	72.3%	12.1%	13.0%	2.6%	1,197	1,075	328	309	75
7.百草	64.0	1,875	1,546	114	177	38	100%	82.5%	6.1%	9.4%	2.0%	153	143	32	34	14
8.落川	62.6	2,400	1,908	175	289	28	100%	79.5%	7.3%	12.0%	1.2%	220	205	41	63	11
9.東寺方	63.3	5,900	4,497	365	920	118	100%	76.2%	6.2%	15.6%	2.0%	506	459	87	167	29
10.一ノ宮	61.9	11,132	8,037	571	2,323	201	100%	72.2%	5.1%	20.9%	1.8%	950	845	137	375	61
11.桜ヶ丘	64.1	13,920	9,392	1,182	2,918	428	100%	67.5%	8.5%	21.0%	3.1%	1,183	1,056	260	509	101
12.和田1261(百草団地)	65.4	5,673	2,436	2,290	851	96	100%	42.9%	40.4%	15.0%	1.7%	487	323	330	146	26
13.聖ヶ丘	64.6	19,867	14,332	1,925	3,007	603	100%	72.1%	9.7%	15.1%	3.0%	1,648	1,501	409	535	150
14.馬引沢	58.8	3,996	2,980	306	590	120	100%	74.6%	7.7%	14.8%	3.0%	403	365	73	113	37
15.山王下	60.7	719	555	63	78	23	100%	77.2%	8.8%	10.8%	3.2%	65	57	15	12	7
16.中沢	61.4	3,970	3,098	263	483	126	100%	78.0%	6.6%	12.2%	3.2%	375	345	64	89	34
17.唐木田	62.9	4,572	3,234	556	573	209	100%	70.7%	12.2%	12.5%	4.6%	395	362	124	100	45
31.諏訪	64.2	28,328	21,905	1,676	3,887	860	100%	77.3%	5.9%	13.7%	3.0%	2,418	2,183	406	717	227
32.永山	64.5	40,525	31,491	2,341	5,380	1,313	100%	77.7%	5.8%	13.3%	3.2%	3,353	3,060	544	984	324
33.貝取	64.4	27,436	21,991	1,485	3,241	719	100%	80.2%	5.4%	11.8%	2.6%	2,190	2,053	379	580	177
34.聖ヶ丘	64.3	29,981	23,436	1,831	3,658	1,056	100%	78.2%	6.1%	12.2%	3.5%	2,536	2,348	453	667	242
35.落合	64.1	34,708	27,568	2,169	3,950	1,021	100%	79.4%	6.2%	11.4%	2.9%	2,874	2,677	545	730	244
36.鶴牧	64.0	23,406	18,171	1,715	2,787	733	100%	77.6%	7.3%	11.9%	3.1%	2,006	1,864	441	534	167
37.南野	61.1	3,164	2,439	307	320	98	100%	77.1%	9.7%	10.1%	3.1%	300	278	82	71	27
38.東寺方3丁目	64.4	1,646	1,336	69	204	37	100%	81.2%	4.2%	12.4%	2.2%	127	121	14	36	8
39.和田3丁目	64.8	4,943	3,970	476	462	35	100%	80.3%	9.6%	9.3%	0.7%	386	355	111	83	10
40.愛宕	64.5	16,530	12,934	1,209	1,897	490	100%	78.2%	7.3%	11.5%	3.0%	1,388	1,286	272	368	117
99.その他	58.6	4,023	2,130	477	722	694	100%	52.9%	11.9%	17.9%	17.3%	578	416	106	173	104

	医療費(千円)					医療費(割合)				
	合計	1:多摩市	2:南多摩	3:その他	4:他府県	合計	1:多摩市	2:南多摩	3:その他	4:他府県
全体	4,802,576	2,997,090	390,990	1,212,961	201,535	100%	62%	8%	25%	4%
1:関戸	296,629	154,715	14,708	112,123	15,082	100%	52%	5%	38%	5%
2:連光寺	209,673	121,305	23,186	59,236	5,946	100%	58%	11%	28%	3%
3:貝取	18,306	12,190	616	3,812	1,687	100%	67%	3%	21%	9%
4:乞田	41,312	28,110	2,578	10,016	607	100%	68%	6%	24%	1%
6:和田	176,734	111,352	20,851	39,830	4,701	100%	63%	12%	23%	3%
7:百草	24,154	18,388	1,105	3,748	912	100%	76%	5%	16%	4%
8:落川	29,749	19,744	2,820	6,685	500	100%	66%	9%	22%	2%
9:東寺方	78,478	50,378	4,140	22,313	1,647	100%	64%	5%	28%	2%
10:一ノ宮	167,364	98,739	7,707	53,867	7,050	100%	59%	5%	32%	4%
11:桜ヶ丘	233,146	110,637	15,202	101,693	5,613	100%	47%	7%	44%	2%
12:和田1261(百草団地)	69,415	27,592	24,196	16,797	831	100%	40%	35%	24%	1%
13:聖ヶ丘	286,000	181,947	23,604	65,958	14,491	100%	64%	8%	23%	5%
14:馬引沢	66,469	40,028	2,869	20,982	2,590	100%	60%	4%	32%	4%
15:山王下	10,693	8,877	524	867	426	100%	83%	5%	8%	4%
16:中沢	64,289	38,340	3,998	20,296	1,655	100%	60%	6%	32%	3%
17:唐木田	64,969	37,096	6,075	18,988	2,810	100%	57%	9%	29%	4%
31:諏訪	372,903	230,465	33,987	90,932	17,519	100%	62%	9%	24%	5%
32:永山	555,931	367,501	34,572	128,352	25,506	100%	66%	6%	23%	5%
33:貝取	410,793	288,492	23,404	84,968	13,928	100%	70%	6%	21%	3%
34:豊ヶ丘	409,073	274,486	27,705	87,111	19,770	100%	67%	7%	21%	5%
35:落合	500,172	306,349	44,318	129,267	20,239	100%	61%	9%	26%	4%
36:鶴牧	305,614	197,238	32,495	61,200	14,681	100%	65%	11%	20%	5%
37:南野	44,577	32,445	5,328	5,113	1,692	100%	73%	12%	11%	4%
38:東寺方3丁目	21,356	14,547	1,406	5,038	365	100%	68%	7%	24%	2%
39:和田3丁目	76,919	46,718	11,295	18,382	525	100%	61%	15%	24%	1%
40:愛宕	215,135	152,597	17,376	34,500	10,663	100%	71%	8%	16%	5%
99:その他	49,900	25,255	4,808	9,927	9,910	100%	51%	10%	20%	20%

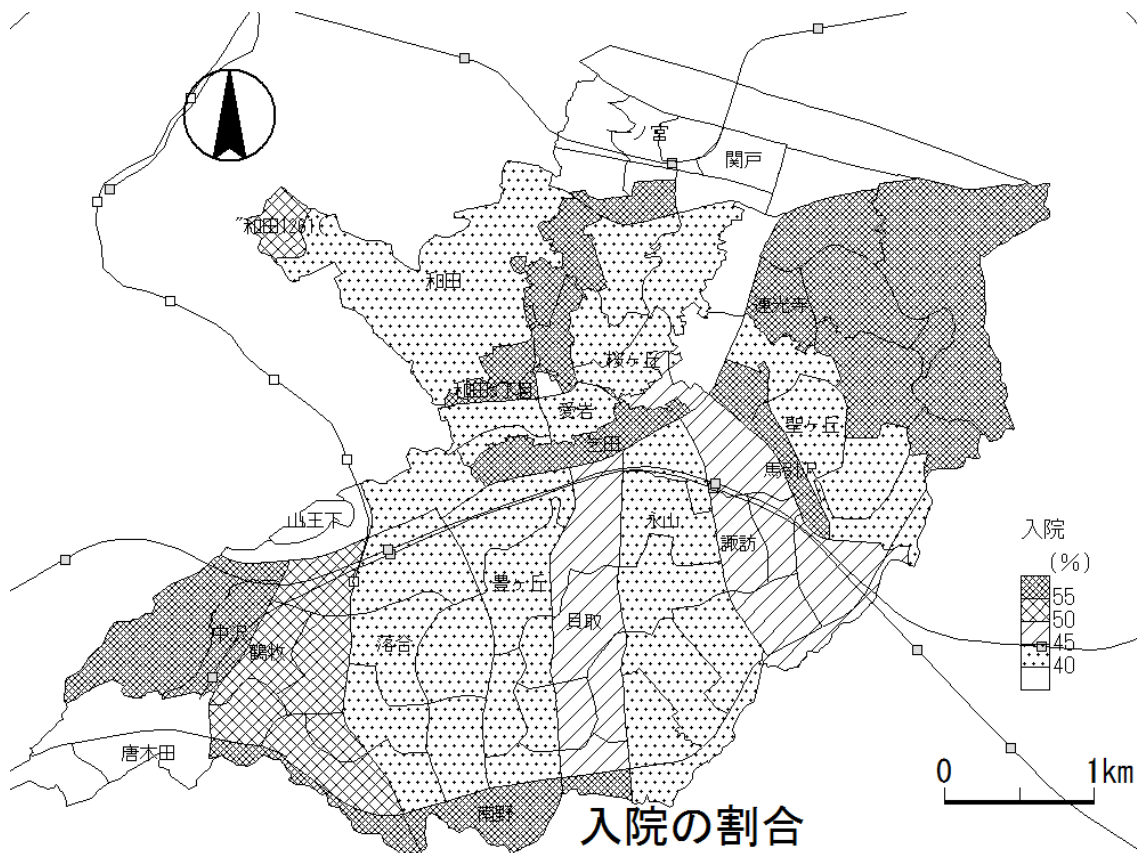
○多摩市以外での受療割合



件数割合 1%以上の市区町村は以下のようになります。

医療圏	2次医療圏	市区町村名	件数	人数	件数割合	医療費(千円)	平均年齢
合計			338,298	29,043	100.0%	4,802,576	63.5
1:多摩市			254,608	26,312	75.3%	2,997,090	63.8
2:南多摩	合計		26,084	5,886	7.7%	390,990	62.9
	南多摩	29:八王子市	13,125	3,327	2.7%	211,966	64.2
		32:町田市	8,300	1,927	1.5%	176,568	65.6
		35:日野市	8,062	1,504	1.6%	89,936	65.9
		51:稲城市	10,462	2,002	2.0%	127,524	65.1
3:その他	合計		47,300	8,612	14.0%	1,212,961	62.8
	区西部	04:新宿区	5,259	1,163	1.6%	123,812	63.0
	区西南部	13:渋谷区	3,398	894	1.0%	56,886	61.4
	北多摩南部	38:府中市	9,374	2,259	2.8%	179,305	63.2
	北多摩南部	42:調布市	3,986	864	1.2%	69,197	62.4
4:他府県	合計		10,306	2,446	3.0%	201,535	61.8

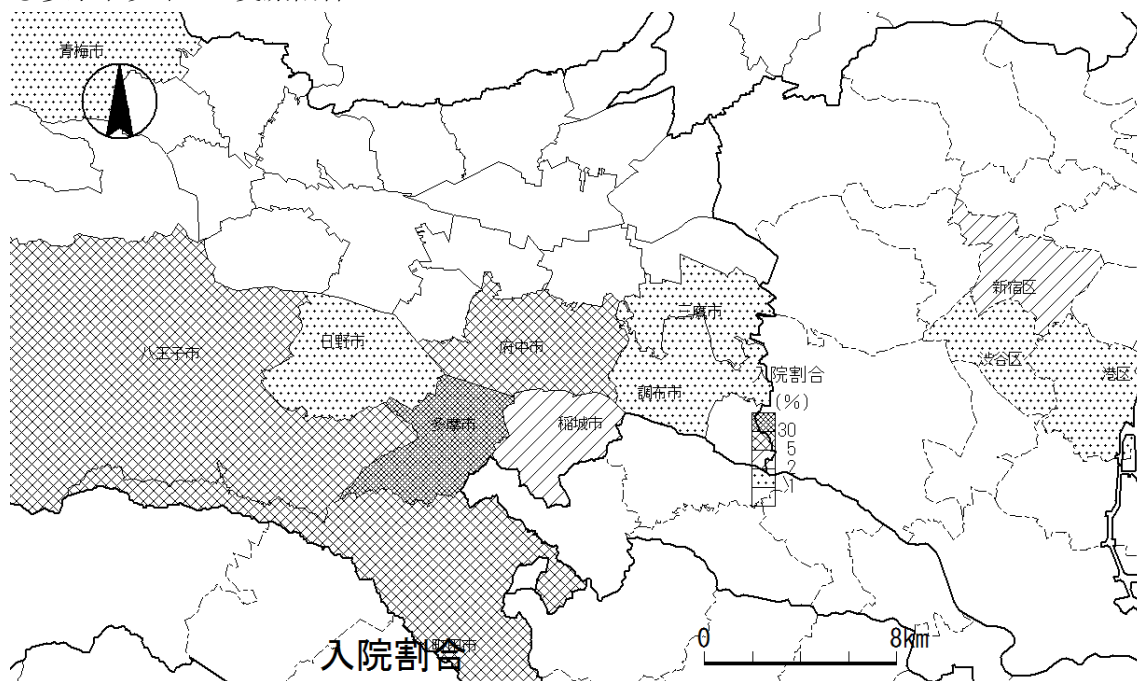
○入院(住所地ごとの多摩市内での診療割合)



医療圏	平均 年齢	件数					件数割合					人数				
		合計	1.多摩市	2.南多摩	3.その他	4.他府県	合計	1.多摩市	2.南多摩	3.その他	4.他府県	合計	1.多摩市	2.南多摩	3.その他	4.他府県
全体	66.2	6,924	3,303	1,252	1,848	521	100%	47.7%	18.1%	26.7%	7.5%	2,874	1,492	472	905	221
1.関戸	64.8	360	110	74	157	19	100%	30.6%	21%	44%	5%	150	60	25	66	6
2.連光寺	66.4	712	446	113	129	24	100%	62.6%	16%	18%	3%	185	98	37	61	12
3.貝取	58.9	22	14	7	1	0	100%	63.6%	32%	5%	0%	8	5	2	1	0
4.乞田	67.9	64	42	5	16	1	100%	65.6%	8%	25%	2%	31	22	4	7	1
6.和田	62.5	255	105	70	70	10	100%	41.2%	27%	27%	4%	103	52	17	35	6
7.百草	67.8	23	16	0	7	0	100%	69.6%	0%	30%	0%	11	8	0	3	0
8.落川	68.5	59	34	10	11	4	100%	57.6%	17%	19%	7%	26	15	4	7	1
9.東寺方	65.5	97	62	5	24	6	100%	63.9%	5%	25%	6%	51	30	3	16	3
10.一ノ宮	64.3	203	57	27	104	15	100%	28.1%	13%	51%	7%	85	30	11	46	4
11.桜ヶ丘	67.2	281	113	41	96	31	100%	40.2%	15%	34%	11%	108	49	11	47	10
12.和田126(百草団地)	68.0	107	54	30	19	4	100%	50.5%	28%	18%	4%	57	31	12	12	4
13.聖ヶ丘	66.0	373	157	81	120	15	100%	42.1%	22%	32%	4%	168	76	30	67	9
14.馬引沢	64.8	82	50	13	12	7	100%	61.0%	16%	15%	9%	26	14	6	7	1
15.山王下	66.2	20	5	6	0	9	100%	25.0%	30%	0%	45%	5	2	2	0	1
16.中沢	57.6	326	277	30	14	5	100%	85.0%	9%	4%	2%	54	38	7	7	2
17.唐木田	65.2	86	26	24	26	10	100%	30.2%	28%	30%	12%	43	16	11	11	7
31.諏訪	66.9	568	275	90	156	47	100%	48.4%	16%	27%	8%	258	141	38	80	22
32.永山	66.9	810	360	148	228	74	100%	44.4%	18%	28%	9%	358	191	46	112	31
33.貝取	66.8	488	236	90	117	45	100%	48.4%	18%	24%	9%	215	120	34	59	17
34.聖ヶ丘	66.8	456	195	73	155	33	100%	42.8%	16%	34%	7%	222	117	34	70	18
35.落合	67.0	551	229	130	116	76	100%	41.6%	24%	21%	14%	259	131	55	64	27
36.鶴牧	67.1	375	188	75	82	30	100%	50.1%	20%	22%	8%	185	105	36	47	15
37.南野	66.4	58	33	10	13	2	100%	56.9%	17%	22%	3%	31	15	7	9	2
38.東寺方3丁目	66.6	36	10	0	22	4	100%	27.8%	0%	61%	11%	16	8	0	7	1
39.和田3丁目	68.7	83	49	14	18	2	100%	59.0%	17%	22%	2%	41	29	9	9	2
40.愛宕	67.3	281	118	40	102	21	100%	42.0%	14%	36%	7%	125	70	18	39	12
99.その他	61.0	128	34	37	33	24	100%	26.6%	29%	26%	19%	51	18	12	16	6

	医療費(千円)					医療費(割合)				
	合計	1:多摩市	2:南多摩	3:その他	4:他府県	合計	1:多摩市	2:南多摩	3:その他	4:他府県
全体	3,770,692	1,593,650	591,309	1,185,459	400,275	100%	42%	16%	31%	11%
1:関戸	178,880	46,595	29,909	93,332	9,044	100%	26%	17%	52%	5%
2:連光寺	308,502	166,367	53,052	70,161	18,921	100%	54%	17%	23%	6%
3:貝取	8,256	5,255	2,433	568	0	100%	64%	29%	7%	0%
4:乞田	38,361	25,904	2,062	7,631	2,763	100%	68%	5%	20%	7%
6:和田	136,103	51,453	34,188	35,707	14,755	100%	38%	25%	26%	11%
7:百草	10,910	7,806	0	3,105	0	100%	72%	0%	28%	0%
8:落川	28,767	12,578	3,559	6,396	6,235	100%	44%	12%	22%	22%
9:東寺方	51,114	27,056	1,361	19,074	3,623	100%	53%	3%	37%	7%
10:一ノ宮	107,030	27,307	8,887	64,406	6,429	100%	26%	8%	60%	6%
11:桜ヶ丘	147,171	47,502	16,179	51,488	32,001	100%	32%	11%	35%	22%
12:和田1261(百草団地)	74,841	35,474	20,463	14,469	4,435	100%	47%	27%	19%	6%
13:聖ヶ丘	183,291	67,184	41,036	68,479	6,593	100%	37%	22%	37%	4%
14:馬引沢	58,957	24,752	13,656	13,274	7,275	100%	42%	23%	23%	12%
15:山王下	9,276	3,237	2,751	0	3,288	100%	35%	30%	0%	35%
16:中沢	199,369	171,478	12,256	10,911	4,724	100%	86%	6%	5%	2%
17:唐木田	52,030	8,279	8,763	27,656	7,332	100%	16%	17%	53%	14%
31:諏訪	310,828	133,938	43,273	100,589	33,027	100%	43%	14%	32%	11%
32:永山	428,422	161,250	67,951	153,802	45,419	100%	38%	16%	36%	11%
33:貝取	286,863	129,501	34,326	94,433	28,603	100%	45%	12%	33%	10%
34:豊ヶ丘	228,043	86,731	34,936	85,071	21,305	100%	38%	15%	37%	9%
35:落合	361,234	122,113	79,999	87,265	71,858	100%	34%	22%	24%	20%
36:鶴牧	215,438	102,539	35,805	43,601	33,493	100%	48%	17%	20%	16%
37:南野	27,113	14,421	4,297	6,948	1,447	100%	53%	16%	26%	5%
38:東寺方3丁目	32,512	2,888	0	27,062	2,562	100%	9%	0%	83%	8%
39:和田3丁目	42,671	22,343	9,069	8,644	2,616	100%	52%	21%	20%	6%
40:愛宕	181,731	72,184	14,939	77,858	16,750	100%	40%	8%	43%	9%
99:その他	54,747	14,990	11,632	13,530	14,595	100%	27%	21%	25%	27%

○多摩市以外での受療割合



件数割合 1%以上の市区町村は以下になります。

医療圏	2次医療圏	市区町村名	件数	人数	件数割合	医療費(千円)	平均年齢
合計			6,924	2,874	100.0%	3,770,692	66.2
1:多摩市			3,303	1,492	47.7%	1,593,650	66.7
2:南多摩	合計		1,252	472	18.1%	591,309	65.6
	南多摩	29:八王子市	447	164	6.5%	216,007	64.9
		32:町田市	400	170	5.8%	207,822	66
		35:日野市	112	25	1.6%	48,608	69.4
		51:稲城市	293	118	4.2%	118,871	65.2
3:その他	合計		1,848	905	26.7%	1,185,459	66
	区中央部	03:港区・島しょ部	91	60	1.3%	54,613	67.3
	区西部	04:新宿区	139	77	2.0%	86,273	65.5
	区西南部	13:渋谷区	68	36	1.0%	55,397	68
	西多摩	28:青梅市	70	9	1.0%	24,081	68.1
	北多摩南部	36:三鷹市	111	49	1.6%	89,821	63.8
	北多摩南部	38:府中市	670	351	9.7%	449,228	66.5
	北多摩南部	42:調布市	68	32	1.0%	31,830	65
4:他府県	合計		521	221	7.5%	400,275	65.1

5. 考察

今回の分析では多摩市国民健康保険加入者のうち特定健診に該当する40歳以上を対象として分析を行っています。今回の分析では以下のことが傾向としてわかりました。

医療費については年齢とともに医療費は増加しますが、65歳以降は全国と比べて医療費が少なくなっています。疾患別にみると60歳以上では循環器系疾患・新生物等の医療費が高くなっていますが、入院・入院外ともに1人当たり医療費は低く高額な医療費を発生させる方々の割合が全国よりも若干少ないと考えられます。また、多摩市の特徴として65歳以上の世帯では、単身世帯のみで50%、二人暮らしを含めると62%となっており、重篤な疾病を発症した際に多摩市外に流出している可能性も考えられます。

健診の受診状況との関連性については健診を毎年受けている方は他の群と比べて医療費が有意に下がっています。市民への啓発等につなげていくことが必要になります。

毎年同じ診療所等で健診を受けている状態は一般的には「かかりつけ医」とよばれる医療機関を作ることとなります。かかりつけ医を作ること、無駄な検査をしない等医療の効率化を図ることができます。さらに、かかりつけ医を持ち、毎年健診を受けることで些細な体調の変化等でも相談できる体制が整えられるため、重篤な疾患の早期発見等につながると考えられます。

健診結果については各検査項目と検査値の推移では糖尿病判定、血圧判定、肝機能判定、肥満等のリスクが上がることで5年後の医療費が有意に上昇することがわかりました。

また、脂質は有意差はありませんでしたが、中性脂肪の医療費とその伸びはメタボリックシンドロームを構成するリスク要素であり、重症化等へ推移しやすいことが考えられます。また、糖尿病等HbA1c（NGSP）が6.9以上となるようなハイリスク者については5年後にも59%がハイリスクのままであり、また、医療費の増加額が医療費が他の場合と比べて有意に異なっていることがわかりました。糖尿病は重症化することでインスリン注射や糖尿病性の神経障害等合併症の発症に加え、糖尿病性腎症等さらなる医療費の増加となるため、重症化予防に早期に取り組むことが必要となります。

また、平成20年と平成21年で検査値が変化した場合、糖尿病判定ではハイリスク者は平成20年当初から医療費はある程度既に投与されており、翌年の検査結果にかかわらず、それがさらに伸びることがわかります。それ以外についてはあまり明確な特徴はみられませんでした。

さらにメタボリックシンドロームに対象者についてはメタボリックシンドローム該当者はそれ以外に比べて有意に医療費が増えるといったことがわかりました。その中でもすべ

てのリスク要因をもっている方は特に医療費が増えています。そのため、複数のリスク保有者についてはより積極的な関与が必要になってきます。

医療圏の分析では外来では件数ベースで 75.3%が多摩市内で受療されていますが、入院では 47.8%と外来に比べ少なくなっています。入院に関しては 2 次医療圏外もしくは神奈川県等へも 30%以上と一定数の入院が発生しており、外来でも多摩市以外で上位となる医療機関は大学病院や総合病院等の急性期医療を担う病院が多く該当しています。これは入院等で一度受診をした後も定期的に通院している方がいると想定されます。

現在入院者の平均年齢は 66.2 歳となっていますが、これらの対象者について今後の急性増悪等の発生時に多摩市内並びに南多摩医療圏内等の医療機関にてスムーズに対応ができるよう連携を取っていく必要があると思われます。

今後は、医療費のデータには検査や医薬品等のデータも含まれており、在宅医療の現状把握（在宅療養の実態調査）や国の後発医薬品の使用割合（数量ベースでの目標 60%への到達状況等）の調査など医療費適正化の視点も含めより詳細な分析を行うことを検討したい。

また、糖尿病重症化予防については人工透析の重症化予防の視点から、糖尿病性腎症の診断指標として利用されている eGFR という指標を利用することができる。この項目はクレアチニンと年齢から計算されるため、今後はこういった項目も調査項目に追加し、医療費データとの組み合わせにてより正確に未治療者についての実態についての分析を行うことを検討していきたいと考えております。

多摩市国民健康保険の現状と本事業について

多摩市健康福祉部保険年金課長 伊野 勲

平成 27 年 1 月 1 日現在の多摩市の人口は 147,486 人、65 歳以上は 37,517 人、高齢化率は 25.4%です。1 年前と比較して 1.3 ポイント増加しています。高齢化率の全国平均は、平成 25 年 10 月 1 日現在で 25.1%です。65～74 歳までの人口は 22,150 人で、総人口に占める割合は 15.0%、全国平均は 12.8%です。多摩市の特性としては、人口に占める 65 歳～74 歳までの方の割合が全国平均と比較して高く、75 歳以上の方の割合は低いということがあります。しかし、65 歳～74 歳までの人口は現在がピークであり、今後は、この方々が 75 歳を迎えることとなります。

平成 27 年 1 月 1 日現在の多摩市国民健康保険の被保険者数は 41,034 人、加入率は 27.8%です。その内、65 歳～74 歳までの方は 16,958 人、割合は 41.3%になります。また、特定健康診査の対象である 40 歳以上の方は、30,223 人です。

多摩市国民健康保険の特定健康診査の受診率は、平成 20 年度 43%から、平成 25 年度 45.8%とわずかながら増加しました。受診率は、全国市町村の平均受診率よりは高いですが、東京 26 市の受診率より低い状況です。第 2 期特定健康診査等実施計画の平成 29 年度目標値は、60%です。多摩市国民健康保険では、特定健康診査の受診率の向上は大きな課題となっています。

平成 25 年度の「介護予防における疾病リスク調査分析」は多摩市国民健康保険の特定健康診査データのみで分析をしましたが、今回はレセプトデータの医療費も使用して分析を行いました。

今回の分析では、毎年健診を受診している方の医療費が、そうでない方と比較して低いという結果が出ています。かかりつけ医のいる方は、特定健康診査の受診率が高くなっていますので、今後も多摩市医師会とともに、かかりつけ医の推進、受診率の向上を図っていきたいと考えます。

また、HbA1c が高かった方は、5 年後も 60%近くの方が高い状態が続いており、さらに医療費もそうでない方より増加しています。糖尿病性腎症が重症化して人工透析が必要になると、医療費は年間で約 500 万円になります。多摩市国民健康保険では、平成 25 年度から糖尿病重症化予防事業を多摩市医師会の先生方にもご協力いただいて実施しています。今後は、修了者の追跡調査も行う予定です。

多摩市では、先ほど示した数値のとおり、75 歳以上の人口が今後急速に増加しますので、医療費の適正化や介護予防への取り組みがさらに重要になります。

今後も医療機関（医師会）と保険者（多摩市）が連携を図って、生活習慣病予防、介護予防に取り組んでいく所存であります。

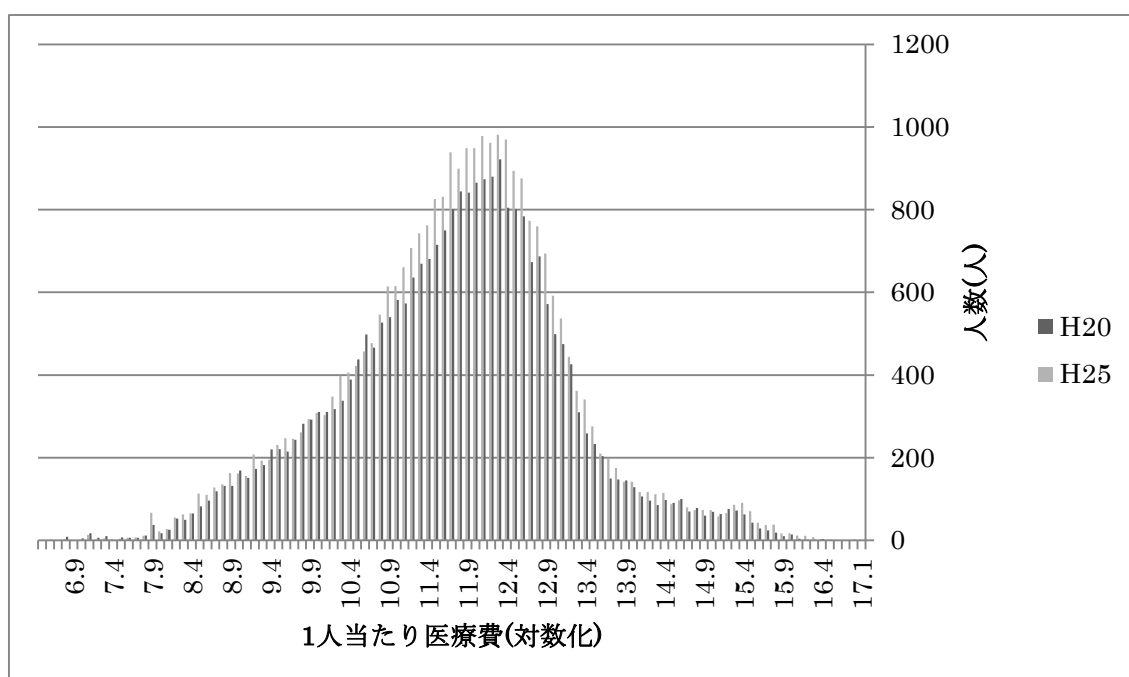
6. 資料編

(1) 分析結果補足（検定結果等）

各種検定の実施に当たり

○対象者の年間医療費(対数化)分布

1人当たりの年間医療費について対数を取ると正規性を持つため、以後の検定等は対数化したもので有意差検定を実施します。



(参考) 1 - 1 平成 20 年度と平成 25 年度の医療費の差について

*有意差あり

平成 20 年度と平成 25 年度の医療費について t-検定を行いました。

(医療費は対数化して検定)

グループ統計量

レセプト年度	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
医療費対数化 H20	26391	11.7193	1.41852	.00873
H25	29175	11.7686	1.42402	.00834

独立サンプルの検定

	等分散性のための Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
	F	有意確率	t	df	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤差	差の 95% 信頼区間	
医療費対数化 等分散が仮定されている 等分散が仮定されていない	.260	.610	-4.083	55564	.000	-.04930	.01208	-.07297	-.02563
			-4.083	55051.660	.000	-.04930	.01207	-.07296	-.02564

(参考) 1 - 2 平成 20 年度と平成 25 年度の男女での医療費の差について

*有意差あり

○男女での有意差検定(t-検定)

グループ統計量

性別CD	度数	平均値	標準偏差	平均値の標準誤差
医療費の差(対数化) 1	6572	12.11428	1.427534	.017609
2	9109	11.94230	1.280461	.013416

独立サンプルの検定

	等分散性のための Levene の検定		2 つの母平均の差の検定						
	F	有意確率	t	df	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤差	下限	上限
医療費の差(対数化) 等分散が仮定されている 等分散が仮定されていない	55.241	.000	7.906	15679	.000	.171988	.021753	.129349	.214626
			7.769	13203.940	.000	.171988	.022138	.128595	.215381

(参考) 1 - 3 平成 20 年度と平成 25 年度の医療費の差について

*有意差あり

年齢階層の有意差について有意水準 $\alpha = 0.05$ にて一元配置分散分析 (ANOVA) ならび

Tukey-b 検定を行ったところ、

45 歳から 49 歳 ならびに 50 歳から 54 歳

55 歳から 59 歳と 70 歳から 75 歳は同じグループに分けることができるが、それ以外はそれぞれ別のグループとなっています。

記述統計

医療費の差(対数化)

	度数	平均	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間		最小	最大
					下限	上限		
40	1085	11.25771	1.493274	.045334	11.16875	11.34666	6.536	16.233
45	838	11.56377	1.520529	.052526	11.46068	11.66687	7.894	16.464
50	985	11.59634	1.473346	.046945	11.50422	11.68846	7.130	16.181
55	2128	11.77631	1.359322	.029467	11.71852	11.83410	7.787	16.430
60	4124	12.02103	1.276212	.019873	11.98207	12.06000	6.519	16.750
65	5903	12.39523	1.174022	.015281	12.36528	12.42519	7.314	16.374
70	618	11.75765	1.387078	.055796	11.64808	11.86723	6.991	15.484
合計	15681	12.01438	1.346693	.010754	11.99330	12.03546	6.519	16.750

分散分析

医療費の差(対数化)

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	1981.255	6	330.209	195.636	.000
グループ内	26455.711	15674	1.688		
合計	28436.966	15680			

医療費の差(対数化)

Tukey B

個年齢H20	度数	$\alpha = 0.05$ のサブグループ				
		1	2	3	4	5
40	1085	11.25771				
45	838		11.56377			
50	985		11.59634			
70	618			11.75765		
55	2128			11.77631		
60	4124				12.02103	
65	5903					12.39523

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 1243.308 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

(参考) 1 - 4 年度と年齢階層別の有意差について

*有意差あり

年度と年齢の組み合わせ(平成 20 年度 or 平成 25 年度 ならびに年齢階層)にて

Tukey-b 検定を行ったところ、65 歳から 69 歳並びに 70 歳から 75 歳には平成 20 年度と平成 25 年度で医療費の変化については有意に差があることがわかる。

記述統計

医療費対数化

	度数	平均	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間		最小	最大
					下限	上限		
2040	1030	10.95527	1.393493	.043420	10.87007	11.04047	7.115	16.697
2045	764	11.03271	1.386955	.050178	10.93420	11.13121	7.796	15.949
2050	903	11.18995	1.417044	.047156	11.09740	11.28250	6.551	16.269
2055	1934	11.24870	1.295518	.029459	11.19092	11.30647	6.551	15.914
2060	3599	11.46309	1.291259	.021524	11.42089	11.50529	6.397	16.479
2065	4936	11.69570	1.231249	.017525	11.66134	11.73006	6.565	16.041
2070	518	11.72573	1.151846	.050609	11.62630	11.82515	7.901	15.260
2540	965	10.93400	1.280334	.041215	10.85311	11.01488	6.551	15.790
2545	695	11.11544	1.231472	.046712	11.02373	11.20716	7.897	15.941
2550	823	11.17231	1.225440	.042716	11.08847	11.25616	7.139	15.540
2555	1716	11.36479	1.139415	.027506	11.31084	11.41874	7.792	15.578
2560	3095	11.58845	1.080763	.019427	11.55036	11.62654	6.537	15.697
2565	3815	11.87923	1.029433	.016667	11.84656	11.91191	7.107	16.169
2570	484	11.32378	1.192823	.054219	11.21725	11.43032	7.003	14.837
合計	25277	11.48362	1.244372	.007827	11.46828	11.49896	6.397	16.697

分散分析

医療費対数化

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	2014.546	13	154.965	105.453	.000
グループ内	37124.394	25263	1.470		
合計	39138.940	25276			

医療費対数化

TukeyB

年度年齢	度数	α= 0.05 のサブグループ								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
2540	965	10.93400								
2040	1030	10.95527								
2045	764	11.03271	11.03271							
2545	695		11.11544	11.11544						
2550	823		11.17231	11.17231	11.17231					
2050	903			11.18995	11.18995					
2055	1934			11.24870	11.24870	11.24870				
2570	484				11.32378	11.32378	11.32378			
2555	1716					11.36479	11.36479			
2060	3599						11.46309	11.46309		
2560	3095							11.58845	11.58845	
2065	4936								11.69570	
2070	518								11.72573	
2565	3815									11.87923

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 1057.443 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

(参考) 1－5 性年代別の有意差について

*有意差あり

性別&年齢の組み合わせ(性別(1:男性、2:女性)+年齢階層)

Tukey-b 検定を行ったところ、60 歳から 64 歳においては男性と女性で医療費の変化については有意に差があることがわかる。

記述統計

医療費対数化

	度数	平均	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間		最小	最大
					下限	上限		
140	1533	11.0218	1.56108	.03987	10.9436	11.1000	6.55	16.70
145	1089	11.2293	1.56075	.04730	11.1365	11.3221	7.34	16.46
150	1084	11.4509	1.62015	.04921	11.3544	11.5475	6.55	16.39
155	1896	11.6418	1.53520	.03526	11.5727	11.7110	6.57	16.43
160	3610	11.9426	1.46020	.02430	11.8950	11.9903	6.40	16.85
165	5920	12.2007	1.33582	.01736	12.1667	12.2348	6.57	16.23
170	3100	12.2323	1.29268	.02322	12.1867	12.2778	6.38	16.22
175	181	11.8934	1.21216	.09010	11.7156	12.0712	8.41	15.35
240	1564	10.9851	1.43131	.03619	10.9141	11.0561	6.55	15.65
245	1188	11.2460	1.44614	.04196	11.1637	11.3283	7.10	16.15
250	1510	11.3167	1.40283	.03610	11.2459	11.3875	6.55	16.18
255	3216	11.4812	1.32635	.02339	11.4353	11.5270	6.55	16.06
260	5668	11.7335	1.29220	.01716	11.6998	11.7671	5.99	16.75
265	7029	12.0614	1.21451	.01449	12.0330	12.0898	6.55	16.37
270	3536	12.2316	1.17753	.01980	12.1928	12.2705	7.00	16.75
275	188	11.8688	1.27538	.09302	11.6853	12.0523	7.11	14.96
合計	42312	11.8251	1.40082	.00681	11.8118	11.8385	5.99	16.85

分散分析

医療費対数化

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	6288.984	15	419.266	231.090	.000
グループ内	76737.373	42296	1.814		
合計	83026.358	42311			

医療費対数化

TukeyB

性年齢	度数	α= 0.05 のサブグループ								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
240	1564	10.9851								
140	1533	11.0218								
145	1089		11.2293							
245	1188		11.2460							
250	1510		11.3167	11.3167						
150	1084			11.4509						
255	3216			11.4812	11.4812					
155	1896				11.6418	11.6418				
260	5668					11.7335				
275	188						11.7335			
175	181						11.8688	11.8688		
160	3610						11.8934	11.8934	11.8934	
265	7029							11.9426	11.9426	
165	5920								12.0614	12.0614
270	3536									12.2007
170	3100									12.2316
										12.2323

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 904.523 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

(参考) 2-1 医療費の差について

*有意差あり

グループ1：未受診、グループ2：隔年以下、グループ3：3回以上受診者、グループ4：毎年受診者について医療費の変化率並びに医療費の差(対数化)について有意水準 $\alpha=0.05$ で一元配置分散分析(ANOVA) 平均値の差の検定を行ったところ平均値について差があることが分かった。

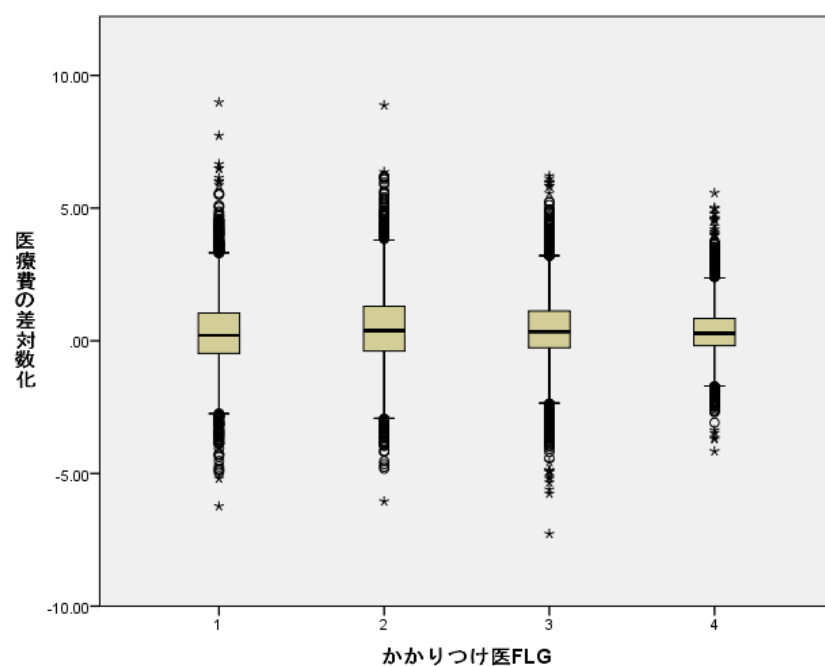
さらに Tukey-b 検定を行ったところ医療費の変化については4：健診を毎年受診しているほう4つの群それぞれに有意に差があることが分かりました。また、医療費の変化については1：未受診が最も標準偏差が大きくなり、逆に毎年健診を受けているほうが標準偏差が少なくなっています。

記述統計

		度数	平均	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間		最小	最大
						下限	上限		
医療費の変化率	1	4060	7.3634	136.09657	2.13592	3.1758	11.5510	-1.00	8012.56
	2	2810	8.2555	137.65816	2.59686	3.1636	13.3475	-1.00	7140.70
	3	5825	3.4333	17.47824	.22901	2.9844	3.8823	-1.00	497.14
	4	2903	1.9151	8.99922	.16702	1.5876	2.2426	-.98	261.68
	合計	15598	5.0424	91.47841	.73246	3.6067	6.4781	-1.00	8012.56
医療費の差対数化	1	4029	.3020	1.44113	.02270	.2575	.3466	-6.23	8.99
	2	2810	.4662	1.51683	.02861	.4101	.5223	-6.05	8.87
	3	5825	.4361	1.29902	.01702	.4027	.4695	-7.27	6.21
	4	2903	.3685	1.00561	.01866	.3319	.4051	-4.16	5.57
	合計	15567	.3942	1.33282	.01068	.3733	.4152	-7.27	8.99

分散分析

		平方和	df	平均平方	F	有意確率
医療費の変化率	グループ間	94354.784	3	31451.595	3.760	.010
	グループ内	130426002.6	15594	8363.858		
	合計	130520357.4	15597			
医療費の差対数化	グループ間	60.927	3	20.309	11.456	.000
	グループ内	27590.747	15563	1.773		
	合計	27651.674	15566			



多重比較

Scheffe(C)

従属変数	(I) かかりつけ医FLG	(J) かかりつけ医FLG	平均差 (I-J)	標準誤差	有意確率	95% 信頼区間	
						下限	上限
医療費の変化率	1	2	-.89212	2.24422	.984	-7.1665	5.3822
		3	3.93006	1.86974	.220	-1.2973	9.1574
		4	5.44830	2.22287	.111	-.7664	11.6630
	2	1	.89212	2.24422	.984	-5.3822	7.1665
		3	4.82218	2.10055	.153	-1.0505	10.6949
		4	6.34041	2.42024	.076	-.4261	13.1069
	3	1	-3.93006	1.86974	.220	-9.1574	1.2973
		2	-4.82218	2.10055	.153	-10.6949	1.0505
		4	1.51824	2.07773	.911	-4.2907	7.3271
	4	1	-5.44830	2.22287	.111	-11.6630	.7664
		2	-6.34041	2.42024	.076	-13.1069	.4261
		3	-1.51824	2.07773	.911	-7.3271	4.2907
医療費の差(対数化)	1	2	-.094*	.032	.038	-.19	.00
		3	-.272*	.027	.000	-.35	-.20
		4	-.360*	.032	.000	-.45	-.27
	2	1	.094*	.032	.038	.00	.19
		3	-.178*	.030	.000	-.26	-.09
		4	-.266*	.035	.000	-.36	-.17
	3	1	.272*	.027	.000	.20	.35
		2	.178*	.030	.000	.09	.26
		4	-.088*	.030	.037	-.17	.00
	4	1	.360*	.032	.000	.27	.45
		2	.266*	.035	.000	.17	.36
		3	.088*	.030	.037	.00	.17

*. 平均の差は 0.05 水準で有意です。

(参考) 3-1 各検査値の有意差検定について

○糖尿病判定の場合

有意水準 $\alpha=0.05\%$ で一元配置分散分析 (ANOVA) を実施したところ、

4:ハイリスクと 3:受診勧奨とそれ以外で 25 年度の医療費が有意に差があることが分かりました。

分散分析

H25医療費対数

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	384.409	3	128.136	91.737	.000
グループ内	10602.985	7591	1.397		
合計	10987.395	7594			

H25医療費対数

Tukey B

H20糖尿病判定	度数	$\alpha=0.05$ のサブグループ		
		1	2	3
1	3704	11.9534		
2	3199	12.0868		
3	270		12.5194	
4	422			12.8840

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 600.966 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

○血圧判定

分散分析

H25医療費対数

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	135.065	3	45.022	31.493	.000
グループ内	10851.823	7591	1.430		
合計	10986.888	7594			

H25医療費対数

Tukey B

H20血圧	度数	α= 0.05 のサブグループ	
		1	2
1	3852	11.9519	
2	1826		12.1869
3	1537		12.2323
4	380		12.2808

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

- a. 調和平均サンプルサイズ = 978.127 を使用
- b. グループ サイズが等しくありません。グループ サイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

○脂質判定

分散分析

H25医療費対数

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	.219	3	.073	.050	.985
グループ内	10987.146	7591	1.447		
合計	10987.364	7594			

○肝機能判定

分散分析

H25医療費対数

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	58.204	3	19.401	13.491	.000
グループ内	10897.884	7578	1.438		
合計	10956.088	7581			

H25医療費対数

Tukey B

H20肝機能	度数	α= 0.05 のサブグループ	
		1	2
1	5477	12.0327	12.2812 12.4664
2	1546	12.1759	
3	475	12.2812	
4	84		

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

- a. 調和平均サンプルサイズ = 269.552 を使用
- b. グループ サイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

○腹囲判定

記述統計

H25医療費対数

	度数	平均	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間		最小	最大
					下限	上限		
1	5532	11.9958	1.19465	.01606	11.9643	12.0273	6.54	16.21
2	1963	12.3350	1.19258	.02692	12.2822	12.3878	7.11	16.14
合計	7495	12.0847	1.20331	.01390	12.0574	12.1119	6.54	16.21

分散分析

H25医療費対数

	平方和	df	平均平方	F	有意確率
グループ間	166.710	1	166.710	116.915	.000
グループ内	10684.287	7493	1.426		
合計	10850.997	7494			

(参考) 3-2 各検査値の推移の検定

平成 20 年度と平成 25 年度の検査値の推移パターンごとの医療費の平均の検定を一元配置分散分析 (ANOVA) にて実施を行いました。

○糖尿病判定

- ・ 1 : 正常値 → 1 : 正常値並びに、2 : 保健指導値 → 1 : 正常値
- ・ 4 : ハイリスク → 2 : 保健指導値 が有意に異なっています。

分散分析

		平方和	df	平均平方	F	有意確率
年間医療費の差	グループ間	9.457E+12	14	6.755E+11	2.692	.001
	グループ内	1.401E+15	5581	2.510E+11		
	合計	1.410E+15	5595			
医療費の変化率	グループ間	595.344	14	42.525	.600	.867
	グループ内	395498.097	5581	70.865		
	合計	396093.441	5595			
H25医療費対数	グループ間	320.937	14	22.924	20.755	.000
	グループ内	6338.703	5739	1.104		
	合計	6659.640	5753			

H25医療費対数

		度数	α= 0.05 のサブグループ	
糖尿H20H25			1	2
Tukey B ^{a,b}	11	2227	11.9619	
	21	627	12.0596	
	14	7	12.0887	12.0887
	12	598	12.0900	12.0900
	22	1592	12.1295	12.1295
	24	73	12.2254	12.2254
	23	129	12.5032	12.5032
	31	6	12.5161	12.5161
	32	63	12.5402	12.5402
	33	58	12.7139	12.7139
	34	63	12.7888	12.7888
	13	11	12.7900	12.7900
	43	76	12.8396	12.8396
	44	169	12.8694	12.8694
	42	55		13.0003

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 29.270 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

○血圧判定

- ・ 1 : 正常値→ 1 : 正常値と、 3 : 受診勧奨値→ 4 : ハイリスク
- ・ 4 : ハイリスク→ 2 : 保健指導値

が有意に異なっています。

分散分析

		平方和	df	平均平方	F	有意確率
年間医療費の差	グループ間	8.039E+12	15	5.359E+11	2.133	.007
	グループ内	1.402E+15	5580	2.513E+11		
	合計	1.410E+15	5595			
医療費の変化率	グループ間	3015.761	15	201.051	2.854	.000
	グループ内	393074.046	5580	70.443		
	合計	396089.807	5595			
H25医療費対数	グループ間	102.135	15	6.809	5.957	.000
	グループ内	6558.622	5738	1.143		
	合計	6660.757	5753			

H25医療費対数

		度数	α= 0.05 のサブグループ	
			1	2
Tukey B ^{a,b}	34	70	11.9505	
	11	2123	11.9865	
	13	276	12.0503	12.0503
	24	48	12.0605	12.0605
	12	513	12.1023	12.1023
	23	326	12.1165	12.1165
	41	49	12.1785	12.1785
	32	321	12.1939	12.1939
	43	98	12.2084	12.2084
	44	49	12.2128	12.2128
	33	352	12.2138	12.2138
	21	605	12.2227	12.2227
	22	436	12.2830	12.2830
	14	24	12.3283	12.3283
	31	403	12.3684	12.3684
	42	61	12.5359	

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 96.563 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

○脂質判定

- ・ 4 : ハイリスク→4 : ハイリスク、 3 : 受診勧奨値→4 : ハイリスク と
 - ・ 4 : ハイリスク→1 : 正常値、 2 : 保健指導値→1 : 正常値、
3 : 受診勧奨値→1 : 正常値、 4 : ハイリスク→2 : 保健指導値 等が有意に異なっている。
- これにより脂質もハイリスク状態を放置することで正常にコントロールした群と医療費に差が出ています。

分散分析

		平方和	df	平均平方	F	有意確率
年間医療費の差	グループ間	7.966E+12	15	5.311E+11	2.114	.007
	グループ内	1.402E+15	5582	2.512E+11		
	合計	1.410E+15	5597			
医療費の変化率	グループ間	841.670	15	56.111	.792	.688
	グループ内	395256.852	5582	70.809		
	合計	396098.522	5597			
H25医療費対数	グループ間	154.904	15	10.327	9.110	.000
	グループ内	6506.603	5740	1.134		
	合計	6661.507	5755			

H25医療費対数

脂質H20H25	度数	α= 0.05 のサブグループ			
		1	2	3	4
Tukey B ^{a,b}	44	11.7283			
	34	11.8002			
	33	763	11.9202		
	14	26	12.0015		
	23	518	12.0320	12.0320	
	22	776	12.0863	12.0863	12.0863
	13	161	12.1095	12.1095	12.1095
	11	1120	12.1109	12.1109	12.1109
	12	519	12.1123	12.1123	12.1123
	43	103	12.1176	12.1176	12.1176
	32	549	12.1682	12.1682	12.1682
	24	34	12.2138	12.2138	12.2138
	21	537	12.3363	12.3363	12.3363
	41	55	12.3503	12.3503	12.3503
	31	341		12.5198	12.5198
	42	58			12.5537

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 103.575 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

○肝機能判定

有意差はなし

分散分析

		平方和	df	平均平方	F	有意確率
年間医療費の差	グループ間	8.373E+12	15	5.582E+11	2.225	.004
	グループ内	1.398E+15	5574	2.508E+11		
	合計	1.406E+15	5589			
医療費の変化率	グループ間	1134.614	15	75.641	1.068	.381
	グループ内	394746.953	5574	70.819		
	合計	395881.566	5589			
H25医療費対数	グループ間	58.810	15	3.921	3.410	.000
	グループ内	6591.202	5732	1.150		
	合計	6650.012	5747			

H25医療費対数

		度数	α= 0.05 のサブグループ
肝機能H20H25			1
Tukey B ^{a,b}	41	5	12.0166
	11	3760	12.0693
	44	16	12.0809
	24	12	12.1195
	12	380	12.1269
	21	563	12.1548
	22	459	12.1931
	14	13	12.2513
	33	121	12.2840
	23	115	12.2885
	32	141	12.3184
	34	9	12.3453
	31	73	12.5424
	43	19	12.5649
	13	55	12.5689
	42	7	12.9901

等質なサブグループのグループ平均値が表示されています。

a. 調和平均サンプルサイズ = 20.198 を使用

b. グループサイズが等しくありません。グループサイズの調和平均が使用されます。タイプ I エラー 有意水準 0.05 は保証されません。

(2) 委員名簿・検討経過

■多摩市医師会在宅療養推進検討会委員名簿

◎田村 豊	多摩市医師会 会長
佐々部 一	多摩市医師会 副会長
中村 弘之	多摩市医師会 副会長
○藤井 仁美	多摩市医師会 理事
○亀谷 学	あいクリニック中沢 院長
明石のぞみ	多摩市医師会 理事
新垣美郁代	多摩市医師会 理事
白井 弘三	多摩歯科医会 会長
白澤 政和	桜美林大学大学院 老年学研究科 教授
芳賀 博	桜美林大学大学院 老年学研究科 研究科長・教授
伊野 勲	多摩市 健康福祉部 保険年金課長
伊藤 重夫	多摩市 健康福祉部 高齢支援課長
上村 茂	多摩市 健康福祉部 介護保険課長
中村 満	多摩市社会福祉協議会 常務理事
堀田 聡子	労働政策研究・研修機構研究員 専門社会調査士

敬称略 ◎検討会会長

○各部会長

■特定健診調査分析部会委員名簿

○藤井 仁美	多摩市医師会理事（多摩センタークリニックみらい院長）
田村 豊	多摩市医師会会長
伊野 勲	多摩市健康福祉部保険年金課長

敬称略 ○は部会長

【事務局】

実施主体	多摩市医師会（事務長 立川慎一）
研究委託	桜美林大学 加齢・発達研究所
業務委託	株式会社エストコーポレーション

■検討経過

特定健診調査分析部会

○第1回部会

日時：平成26年9月19日（金）19時30分～21時30分

場所：多摩市医師会館

- 議題：（1）平成26年度在宅療養推進のための地域包括ケアにおける医療・介護・予防の
重層的連携の調査研究事業について
（2）特定健診調査分析部会の検討内容について
（3）事業スケジュールについて

○第2回部会

日時：平成26年9月24日（水）19時30分～21時30分

場所：桜美林大学大学院四ツ谷校舎会議室

- 議題：（1）特定健診結果と医療費突合分析のための基本方針について
（2）国保レセプト情報の分析対象について
（3）特定健診データと全国健診結果データとの比較について

○第3回部会

日時：平成26年12月11日（木）18時30分～20時

場所：多摩センタークリニックみらい会議室

- 議題：（1）レセプト情報の突合分析の方向性について
（2）特定健診結果データ等の各集計数値について

○第4回部会

日時：平成27年1月9日（金）18時～19時30分

場所：多摩センタークリニックみらい会議室

- 議題：（1）疾病リスク重複による医療費の影響について
（2）調査分析報告書のグラフ表示・数値等について

○第5回部会

日時：平成27年2月10日（火）17時～18時30分

場所：多摩センタークリニックみらい会議室

- 議題：（1）各分析項目の検定・有意差の検討について
（2）突合分析結果と課題の検討について

○第6回部会

日時：平成27年3月6日（金）17時30分～19時

場所：多摩センタークリニックみらい会議室

議題：（1）突合分析結果と課題の検討について

（2）調査報告書の最終確認について

平成 26 年度東京都在宅療養推進区市町村支援事業
「在宅療養推進のための地域包括ケアにおける
医療・介護・予防の重層的連携の調査研究事業」

特定健診結果と医療費突合分析報告書

発 行 平成 27 年 3 月
編集発行 一般社団法人多摩市医師会
東京都多摩市永山 5 - 1 5
電話 042-372-3488